定價十錢

無産階級戦闘雑誌

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年五月一日發行　昭和二年四月二十七日印刷納本

第五年　五月号　第五号

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

あれ、あれ！皐月の空に

鯉や、幟や、三越の旗！

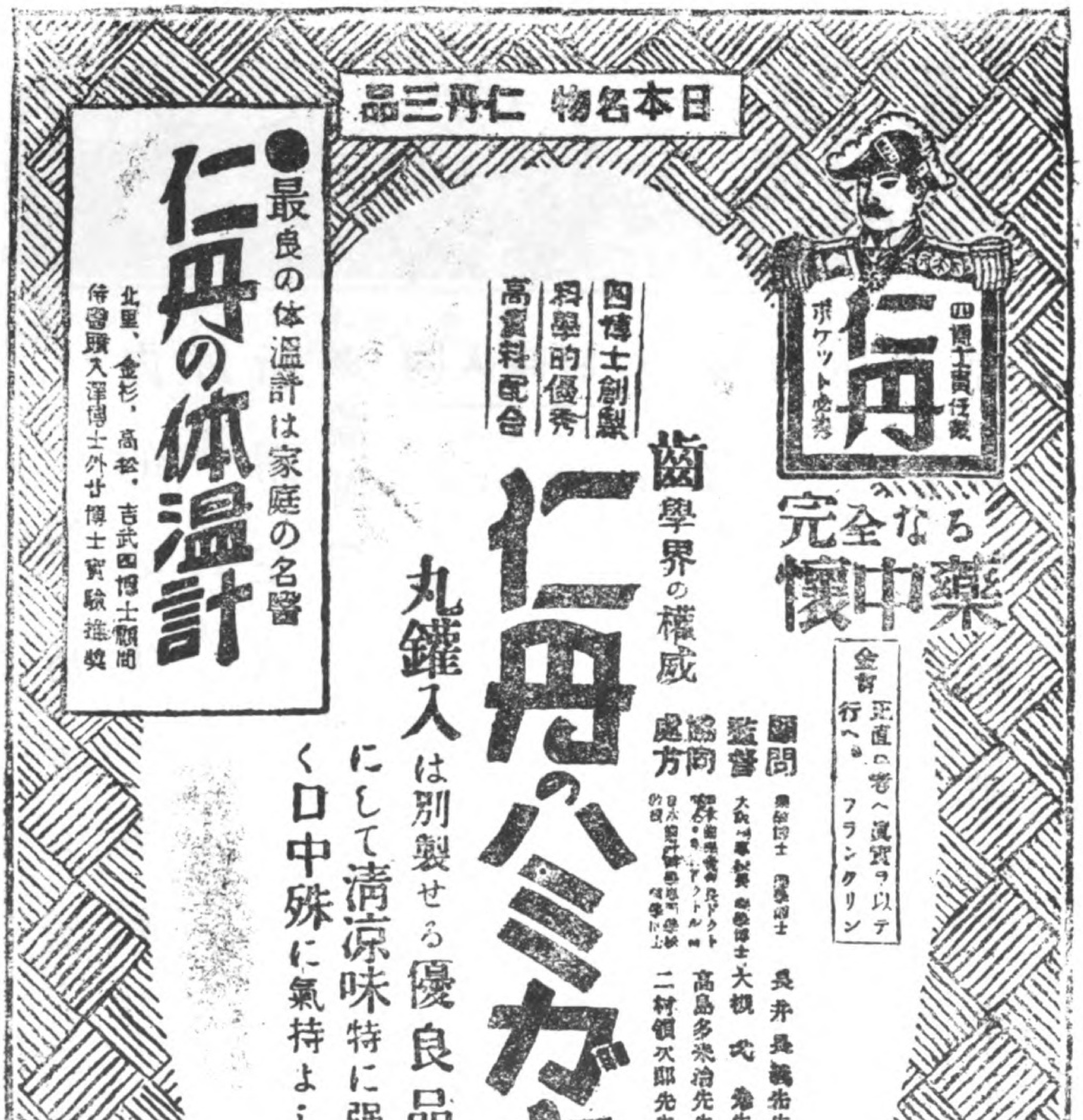
さて、この月の店内はまた、菖蒲薫る五月人形の陳列に、恒例の夏物大賣出しも一日より――。こゝあらゆるものに初夏の爽やかさを湛えまゐります。

大阪

三越呉服店

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め・五月號・目次

□内的鬪爭と戰鬪力……卷頭言（五）
□鮮血の日メーデー來たる……同人（六）
□所謂左翼の概念(一)……石川準十郎（八）
□理論鬪爭の抽象的遊離……本莊可宗（一三）

同人時評

△南京事件 △政友會の黨首公選論 △北伐軍の內紛 △戴天仇去る △清瀨殿打事件 △メーデーをして意義あらしめよ △磐城炭坑の坑夫虐殺 △再び目的意識に就いて △反福本イズムの擡頭 △農民の進出 △白熱化す郵船爭議……（一四）

□高畠氏に質す……向軍治（二三）
□マルクスと剽竊問題……淺野研眞（二六）
□カール・マルクス(2)……カハン・コーテス（二九）
□植民政策裏面研究(六)……金熙明（三五）
□勞働運動講座 獨逸の勞働運動……淺野研眞（四二）
□現實を打破せよ……赤木龍（四九）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□メーデーは最後の目標を凝視て祝へ……吉田源藏（五〇）
□吾等の威力を示せ！……長濱說（五二）
□メーデーを祝へ！……鄭重（五三）
□臺灣二林騷擾事件と蔗作問題……布施辰治（五四）
□闘力赤沸問題……戸谷白羽（五六）
□勞働教育運動の轉化……小森善逸（五八）
□駁彈……（六一）
□無産青年運動の意義及目的……澤井龍之助（六二）
□メーデー（漫畫）……天野生（六六）

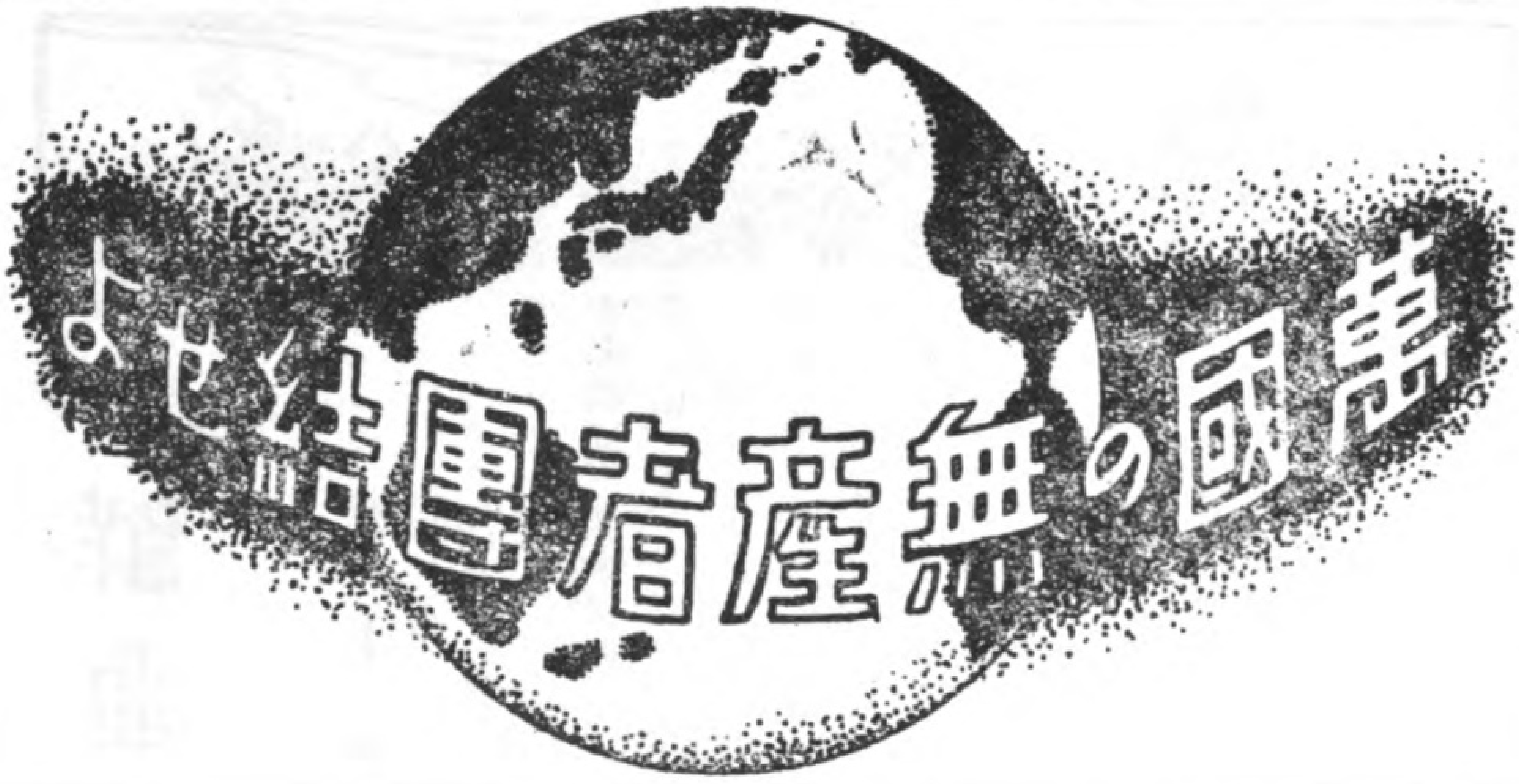
全土戰報
△正義の闘ひだ……木下正
△恐るべき搾取……岡村俊明
△共同戰線へ……小松道俊
△憎むべき專賣局……川田紅葉
△農村の現狀……佐根泰郎
△農民黨を撲滅せよ……吉田一郎
△闘ふ女工……田澤逸子
△搾取と支配……栗原潔
△罪人は惡徒か？……k・0生
△大衆の友社會主義……三木田善太郎
△山陰の戰陣……服部芳象
△殺人會社を屠れ……伊藤誠一
△鑛毒問題……北村陽之助
△タイムスに與ふ……中島安太郎
△農民は戰へ！……北野秋鳥
△市電値上反對……加藤一郎
（七六）

□我が國農民運動の考察……平野吉三郎（六七）
□「小作料の合理化」運動とは何か……神庭仲之介（六九）
□メーデー（詩）……田中政義（七二）
□組合同盟全國大會記……利根榮（七五）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店

大阪市西區立賣堀



第五年・進め・第五號

内的闘争と戰闘力

■戰闘的結合體は内的闘争に依りて戰闘力を減殺する。小なる一部は大なる全體に、全線に波及する。

■外的闘争の傷害は多大なりと雖も反つて攻撃精神を充實せしめ其の結合體自體の生命を延長せしむる。

■内的闘争は其れ自體を構成する細胞個々の傷害となり、其の細胞の結合に依る戰闘機能を失つて了ふ。

■戰闘的結合體は戰闘を目的意識する個々の細胞の戰闘的結合である。故に細胞の分離、傷害は其の社會性と戰闘性を失つて了ふのである。

■われらは近時、戰闘的集合體の内的闘争に依りて其の力の脆弱なるを見る。

■たとへば支那の革命軍の内的闘争は全線に渉りて志氣を沮喪せしめ、全體の結合統一を缺ぎ、これ迄百戰百勝の革命軍も甚だしく戰闘力を減殺されて居る。世界の資本主義倒壞を目的意識する革命軍が事半ばにして早くも内的闘争を惹き起こしたのは悲しむ可き事である。

■吾等は××は大なる破壞と大なる建設を要すると思ふ。外部闘争は偉大なる破壞力を有する蔣介石に任して、内部建設はロシア派に任して支那革命を完成したいと思ふ。

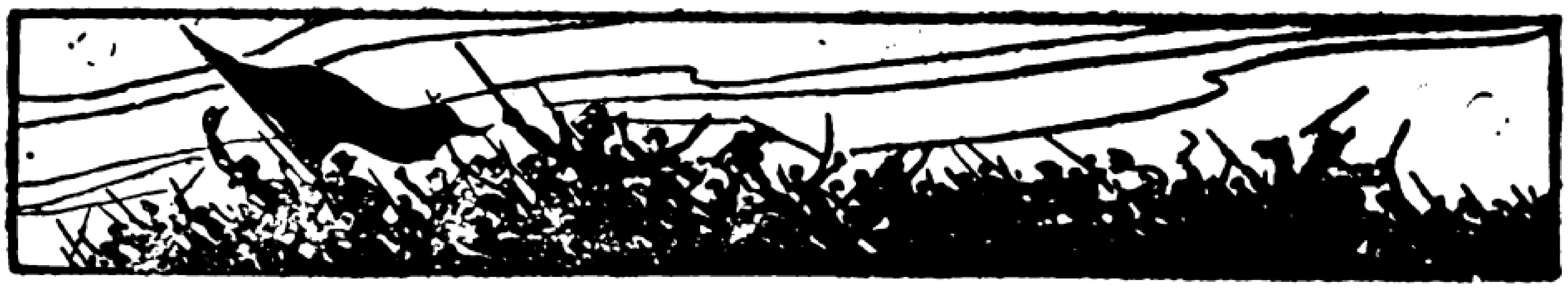
■更らに吾等は日本に於て勞働諸團體の内的闘争を知る。而して其の傷害の多きを憂ふる。

■その何れも皆、戰闘の目的を意識せず敵を前にして相爭ふ。

■われらはこれを嘆く。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



鮮血の日メーデー來たる

同人

メーデーの起原

一八八六年五月一日、全米國あらゆる部門の勞働者は、八時間勞働の即時實施を要求して一齊に街頭へ溢れ出し、ブルジョアジーに對する一大示威運動を斷行した。その結果、遂に勞働者の要求が貫徹され、八時間勞働制は、全米國に亙つて實施された。これ今日、全世界の勞働者が、資本家に對する定期の警告日として歡喜祝福せる、勞働祭の起源である。

其後一八九〇年、巴里に於ける第二インターナショナルの第一回大會は、毎年五月一日を以て、勞働者の國際的祭日となすべきことを決議した。斯くて同年五月一日、全世界の勞働者は、自らの團結の威力を示すべく、一齊に休業して、各都市においてデモンストレーションを行ひ、凱歌を揚げてメーデーを祝福した。爾來三十六年、全世界の勞働者は此の日を期して、階級戰への勢揃ひをなしてきた。

日本に於けるメーデーの歷史は淺い。大正九年初めてデモンストレーションを行ひ、今年を以て第八回を數ふに過ぎない。而も毎年々々官憲の暴壓に依つて散々に蹂躙されつゝある。

メーデーの意義

メーデーは、常に資本家の虐殺的搾取に苦しめられつゝある勞働者の祭日である。而して勞働者が資本の國際的團結に對する、勞働者の國際的總動員を以て階級戰へ驀進する勢揃ひの日である。萬國の勞働者は此の日を期して資本の××へ階級鬪爭の××を宣言するの日である。全世界のブルジョアジーは此の日を前にして戰慄し、全世界の勞働者は此の日を前にして其の隆々たる鐵腕を鳴らしてゐる。街頭に於ける勞働者の喊聲は、資本の根幹を搖がすであらう。此の日こそは、默々たる勞働者が、資本の搾取に對する積極的鬪爭宣言の日だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國際的労働者の團結力の如何に偉大なものであるかを知らしむべく、より尖鋭なる闘争的行動と、より抗争的たる積極的態度を以て吾等の日、メーデーを祝福しなければならぬ。

メーデーに参加せよ

労働者の祭日である此の日は、あらゆる産業部門にある労働者の國際的總動員日であらねばならぬ。組織労働者の掲ぐるメーデー旗の下に、一切の労働者を参集せしめなければならぬ。全労働者の國際的團結を以て資本の牙城へ肉迫しなければならぬ。此の日一日、あらゆる産業に従へる労働者はハンマーを捨て、鶴嘴を捨て、鋤鍬を捨てゝメーデー旗の下へ参集せよ！資本の暴虐に抗争すべく工場を捨て、田園を離れ、街頭に出てメーデーに参加せよ！此の日一日、如何なる仕事をもしてはならない。資本主義滅亡の弔鐘を打ち鳴らすべく彼等の牙城へ突撃せよ！労働者の國際的團結の前には、恐るべき何者もない。メーデー旗の靡く所何者も近寄せるな。萬國の労働者は資本の鐵鎖を断ち切り、最後の勝利を獲得すべく街頭に出て、我等の旗、メーデー旗の下へ集れ！労働者はメーデーに参加せよ。

メーデーの前に資本主義を倒滅せよ

春風駘蕩、碧天の下に我等の旗、メーデー旗は飜へる。我等の勢揃日メーデーの前に敵資本主義を倒滅せよ。我等の祝祭日メーデーをして意義あらしめよ。此の日、萬國の労働者は、敵資本主義を×××の××××××××ならぬ。[illegible]の使命を有す[illegible]としてのメーデーをして最も意義あらしめよ。世界の隅々にまで我々の叫びを傳へ、労働階級の完全なる國際的共同戦線へ進出し、資本主義を一擧に×××××××マルクスの「萬國の労働者團結せよ」の語を實現して進むべきだ。異郷にある労働者の叫びを、直ちに日本へ反響せしむべきだ。日本の労働者の喊聲をも世界隅々の労働者の耳へ反響せしめねばならぬ。全世界の資本家をしてメーデーの前に慴伏せしめずんば止まない氣慨を以て此のメーデーのデモンストレーションを擧行しなければならぬ。××××××××××。×××燃ゆる×××押し立てゝ、勇敢に彼等の牙城をつくべきである。メーデーをして資本家の一大厄日たらしめよ。メーデーをして資本主義×××××たらしめよ。我等の旗、××をして×××××。労働者は此の日を記念すべく、一切の労働を休止し、メーデーを祝福せよ！

所謂左翼の概念（一）

石川準十郎

一

今日日本無產階級運動は所謂「左翼」「右翼」「中間」に分れたと言ふことになり、「左翼」「右翼」「中間」なる言葉は殆んど一般的通用語となつた觀がある。だがそれは一體どこから見た左であり、右であり、中であるのか？ 若しそれ所謂資本主義と無政府主義とを二つの府極にあるものと觀念し、無政府主義を以つて何か最も「進んだ思想」乃至最も「過激なもの」の如く考へ、かうした觀念から今日の所謂共產主義派を以つて比較的左とし、所謂現實主義派を以つて比較的右とし、その屬せざるものを以つて中間とするならば、それは低能的概念である。

資本主義と無政府主義とは所謂個人自由主義乃至分散主義を基調として居る點に於て共通して居るものであると共に所謂社會主義（今日の所謂共產主義をも含めて）と所謂國家主義とは集中主義を基調として居る點に於て共通して居るものである。科學的に嚴密に言つて、決してそれは對極的に觀念されるものではない。この樣な見方乃至言ひ表し方は——敢へてお念佛マルキシスト諸君の神聖犯すべからざるマルクス及び「マルクスを一つの聖書の如く取扱いて居た」エンゲルス及びディーツゲンの言ひ方を以つてするならば——「頗る便宜なものではあるが、決して事物の本質を表はすものではない。」のだ。

斯く言つたならば人或は言ふであらう。左、右、中間と云ふ言ひ表はしは、無產階級的度合を示すものであると。即ち、左はより無產階級的であり、右はより非無產階級的であると。だが私は言ふ。たわけたこと申すな。誰が一體そんなことに定めたのだ？ 何れが眞に無產階級的であり、何れがより無產階級的であるかは、主として全く今後の理論的實踐的立證に掛つて居るものだ。それはこれから來たさる可き結論である。假構の結論を以つて前提とすることは出來ない。我々は、その正しと信ずる所の見解を異にすればこそ、立場を異にして爭ふではないか。今日日本無產階級運動内部の俗論となつて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所の所謂コンムユニズムの信奉者諸君乃至そのファン諸君からすれば、共産黨（勞農黨・評議會も含めて）がより若しくは唯一眞に無産階級的なものであらうが、私から見れば今日の所謂日本共産主義運動なるものこそが、ペティ・ブルジョア的乃至現代的悧巧なインテリゲンチャ的觀念の現はれであり、實踐塗炭の生活苦の中にある、眞の日本無産階級とは關係のないものである。それは本來所謂「モダン・ボーイ」や「モダン・ガール」に相應しいものであり、福本和夫や關鑑子（性的インタナショナリストの樣に新聞に出て居た樣に記憶するが）に相應しいものである。

之を要するに、左だとか右だとか言ふ言ひ表はしは、決して今日の分立諸勢力の本領を示すものではなく、嚴密にはそれは便宜上の意味しか有しないものである。所謂右翼は右翼と言はれて結構であらう。だが言ふ者も言はれる者も、一應は篤と事の意味を反省して見るが宜からう。

二

然らば先づ、今日の所謂左翼は何を以つてその特質とするのであるか

此處に左翼と云ふ時の左翼はアナキストを含まないことは勿論である。一體今日社會を改造せんとする（多かれ少かれ）主義は、社會政策（進歩的資本主義とも云ふ）と社會主義とに大分される。而して社會主義は更に無政府主義と社會主義（狹義に於ける）とに分たれる。而して我々の問題として居る所の左翼右翼、中間なるものは、共に無政府主義と區別されたる意味に於ての社會主義に屬するのである。

賀川豊彦氏に依ると、所謂左翼即ち共産主義者とは「第一、無産者專制を主張する」ものであり（因に、無産者專制でなくて無産者專制の名に依る共産黨内部少數者の專制を主張するものであらう）、「第二に言論の自山を暴力に依つて拘束する」ものであり（因に、言論の自由を暴力に依つて拘束するものは何も共産主義に限つたことではあるまい。苟も權力を認める社會主義たる以上は、社會に有害と認める限り、當然暴力を以つて言論の自由を拘束しなければならない）、「第三に少數者の意見を重んじない」ものであり（因に、共産主義でなくても多數者のための政治を本位とする以上は當然少數者の意見を重んずる譯には行くまい）、「第四に議會政策を認めない」ものである（因に所謂議會利用策は議會政策と言ひ得ないか）。而してこれも一つの言ひ表はしではあらう。だがそれは、今日の所謂左翼の左翼たる所以、共産黨の共産黨たる所以を、總括的によく言ひ表はして居るものでなからう。今日に於ける日本の共産主義運動の特質乃至本質は何處にあるか？ それは如何に觀念さるべきであるか？

私は、それは次の如く觀念さるべきものであると考へる。即ちそれは先づ、第一に理論上正敎マルキシズムを奉ずるものであり、第二に實際運動上ロシヤ國家の援助（指令をも含めて）を受けて居るものであると。

共產主義派の諸君は、よく自分達以外の者に對して「墮落だ」とか「協調的」だとか「反動」だとか「日和見」だとかと云ふ特質を押し付けるが、敢へてそう云ふ言ひ方をするならば、私も尙共產黨の第三の本質乃至特質として附け加ふ可きものがある。それは、今日の共產主義運動少くとも日本の共產主義運動なるものは、民衆を踏臺にして新たなる支配階級を志す所の一群のお悧巧にして狡猾陰險剽悍なる知識人の共通意志の上に立つて居るものである、と云ふことである。

今日左翼即ち共產黨と總稱される所のものが、ロシヤ國家からその運動資金を仰いで居ると云ふことは、公然の秘密とされて居る所である。それが年に二十萬圓であるか三十萬圓であるか、而してそれが如何に使はれて居るかは、我々の知る所ではない。又日本の無產階級解放運動のためにロシヤ國家から金を貰ふことが宜いか惡いかと云ふことも、此處には別問題である。只此處に問題とする所は、今日の所謂左翼はその特色としてその背後にロシヤ國家を背負つて居ると云ふこと、そしてその點に於て殆んど無盡藏の運動資金力を有すると云ふことである。これが彼等の特色乃至特質の一つなのである。

最近都下新聞の傳ふる所に依れば、評議會の東京北郊の二支部が聲明書を發して評議會を脫退した。その理由書に依ると評議會の幹部は「出所不明の黃金を撒布し」、「月給三十圓」のものが「王者の如き豪奢な生活」をして居り、その指導は「危險なる小兒病的指導」であるさうだ。

次に、私は先に今日の共產主義運動なるものは、先づ第一に理論上正敎マルキシズムを奉ずるものであると言つたが、その正敎マルキシズムとは如何なる意味のものであるか。私は何が故に正統マルキシズムと言はないで敢へて正敎マルキシズムと言ふのであるか？

それには先づ今日所謂共產主義運動が、特に他から區別されて共產主義と稱されるに至つた由來、否特に自ら他と區別して共產主義と稱するに至つた由來、並びにそのマルキシズムとの關係を一應顧みる必要がある。

一體コンムユニズム即ち共產主義と言ふ言葉は歷史的にその使用上種々の變遷を經て來て居り、從來必ずしも一定した意味に用ひられて來て居ない。今日經濟學では一般に、生產財の共有のみを主張するものを社會主義若しくは集產主義と言ひそれに對して生產財のみならす消費財の共有までも主張するものを稱して共產主義と呼んで居り、而してこの意味に於ては共產主義は今日無政府主義のみが（少く共第一次的には）採るものとされる。だが我々が此處に問題として

居る所の、而して今日特に問題とされて居る所の共産主義なるものはそれとも異る觀點より來れるものである。

三

始めマルクス－エンゲルスは自分達の社會主義を自分達の前の社會主義（主としてオーエン、サンシモン、フーリエ等の）と區別して自ら共産主義と稱した。（尤も、これより先既に共産主義と稱されるものが存在して居り、最も幼稚單純なる社會主義、即ちオーエンやサシシモンやフーリエのそれよりも幼稚單純なるトーマス・モーアのそれの如きを意味して居た。）然るにその後マルクス－エンゲルス以前の社會主義は殆んど消滅し、敢へて區別立てするの必要がなくなつたので、マルキシズム自らも社會主義と稱し、又一般にもさう稱せられるに至つた。而して歐洲戰爭前までは、マルクス－エンゲルスの最高弟であり、遺著編纂者たるカウツキーの理論的に代表するドイツ社會民主黨が正統マルキシズムとして自他共に許し、一般に又それで通つて來た。然るにたま／＼歐洲戰爭が勃發し、社會民主黨が戰爭に賛成したことからして、レーニン一派は社會民主主義を以つてマルキシズムの僞造せるもの、骨拔きにせるものなりとして攻撃し初め、自らを稱して眞にマルキシズムの衣鉢を傳ふるものなりとした。これが即ちボルシエビズムであつて、このボルシエビズムは一九一七年のロシヤ革命の成功、一九一八年のドイツ革命に於けるごた／＼等と相俟つて、一時、全世界の所謂社會主義者を風靡し、モスコー禮讃の聲はアムステルダムに本部を置く第二インタナシヨナルに對する、モスコーに本部を置く第三インタナシヨナルの結成となつた。而してこのモスコー、インタナシヨナル大會は、彼等が從來の俗惡化されたる社會主義と絶縁し、眞正マルキシズムに復歸し社會民主主義流の僞造化されたるマルキシズムと自らを區別せんが爲にマルクス－エンゲルスの最初用ひた共産主義なる名稱に復歸することを宣言したのであつた。即ち復歸コンムユニズムなのである。

然らばこの兩者の差異點は何處にあつたか？即ち復歸コンムユニストが昔の名稱コンムユニズムに復歸せねばならぬと稱する所以のものは何處にあつたか？而して今日第三インタナシヨナルの雨後の竹の子の如く輩出されつゝあるマルキシスト連が、敢へて「マルキシズムを復興する」と稱する所の所以は那邊に在るのであるか？私は以號に於て（或は次號以下に於て）この點を明らかにし、更に進んでそれと本來のマルキシズムとの關係――果してそれは彼等の稱するが如く唯一無二の正統マルキシズムであるかどうか――を明らかにし、以つて今日の所謂左翼なるものゝ概念を一般に明らかにするに資する所ありたいと思ふ。それは所謂左翼の共産主義運動――正統マルキシズム運動――を超克して進まなければならない今後の無産階級運動のために、先づ必要な一前提事である。（未完）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理論闘爭の抽象的遊離

――無産運動途上の一つの危險――

本荘可宗

一

唯物辯證法といふのは飽くまでもの、、（現象）を具體的、關係的、變化的、歷史的に把握してゆく路であります」でありますから、之れは社會の現實性と乖離しては意義を爲しません、從てその國の特殊事情に應じて、戰術的に政策的に自由自在に變貌して、（レーニン、唯物辯證法）その（唯物辯證的方法の精神であるところの）變革的行動的意志的思惟を徹底させなければならないのであります。社會現象を具體的に歷史的に把握するとは總て社會變革的の實行的意志の實現化に外ならないからであります。

若し夫れ、唯物辯證法がたゞ單なる理論のための理論闘爭の用具になるならば、それは「唯物辯證法」の精神を遠くに逸法して了つて、唯物辯證法といふ一つの觀念論的思辨の遊戯に陷ちたと言はなければなりません。勿論、理論闘爭といふものは、無產階級イデオロギイの本質を徹底的に闡明する爲めに必要な一つの闘爭過程ではあります。であるから之れが無產階級運動の本質を宣揚して、（大同團結して有產階級的政治への抗拮の爲めに）一つの意志に集結する爲めの過程でなければなりません。この理論闘爭といふ一つの過程の內に含まれてゐる內在的意圖を忘却するならば、理論闘爭は、無產運動を生かし、生長してゆく爲めの道程ではなくして、反つて之れを殺し、之れを混亂せしめるものになり終へるのです。

二

私は、諸君と共に、理論闘爭が避くべからざる過程であつて、そのお影で吾々無產階級が層一層にその觀念的基底を、目的內容を明確に把持してゆくことが出來てゆくのであることを承認したく思つてゐます。私達はそれによつて一層に深い變化した意識と覺悟とに立つことが出來るのを信じてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ところで、その有難い筈の理論が、反つて行動的意志の透徹を邪魔するのは何ういふところから起きてくるのでせうか。それはものを考へるのに抽象的、觀念的、非論理的になつて、唯物辯證法の本來の精神であるところの、具體的、現實的、社會的生活的である確實な把捉をしなくなるところから起きてくるのです。即ち一つの論理體系を相手にして（一つの社會的現實を相手にせずに）新しい論理體系が生れるときには爾うなるのです。

現前に横はる一切の現實的具體を、一つの無產階級的意志で把へ來り、之れを解剖分析し、意志で思惟してゆくことから離れてゆくからです。知識で思惟してゆき、一つの論理を相手にして考へてゆくと、如何なる場合でも例へ之れが唯物辯證法の名を以てするにしても、之れは決して唯物辯證法ではなくして、一つの觀念論に墮ちてゐるのであります。一つの、オロギイ（學問）の興味に陷ちてゐるのであります。

知的抽象的な觀念論的態度で、「理論」の追求をやつては理論鬪爭は死にます。それは飽くまで（唯物辯證法の精神が持つところの）行動的具體的な意志で、考へられたものでなければなりません。變革的な意志で現象を把捉し片附けてゆくのでなければなりません。理論鬪爭とはその意志的思惟の淳化と、整理との爲めに行はれて、始めて無產階級的意義を有してくるものであります。

意志で考へる。意志で把捉し消化する。行動的具體的認識とは之れに外なりません。

三

理論鬪爭は、――福本君に感謝せねばならない――多くの中間的觀念の爽唯物を芟除する仕事をしてくれました。併しまた唯物史觀や、經濟的見地は一の（鬪爭としては）無用に近い位の無駄も少し殘したやうに思はれます。それは鬪爭といふよりか友誼的補正位で宜かつたらうやうに思はれます。

レーニンはプレハノフやボグダノフを難じました。併しそれは大衆的行動の邪魔にならない位に濟んだやうに考へられます。私は願はくは理論鬪爭の理論の爲めに、――意志と生活とを離れて――社會と現實とから遊離した理論的徹底へ（といふやうな虛構的幻影）に惑溺せずに、飽くまで唯物辯證法といふ一つの方法が内包してゐる精神（具體的、變化的、歷史的、關係的に見てゆく精神）に遵つて、一般無產大衆は社會改變的意志の精洗をするやうに希望する者であります。

理論鬪爭が、社會的現實から遊離して、それ自身ひとりでに發展してゆく墮落に今日、無產大衆が面逢してゐる危期のやうに思へます。無產大衆にとつて「プロレタリア啓蒙」以上の理論は珍糞カンプンで、大衆からは邪道―知識階級的閑葛藤―ではないでせうか。（四、八）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評

南京事件

南京事件は一大センセーションを惹起した。吾々はいづれの場合に於いても味方を賞讃するものではない。今日の暴行、掠奪は勿論、北伐軍の幹部の命によつて行れたものではなく、單なる暴民の行動であつたが、しかし北伐軍の面目の爲めに、その成功を祈る上からして、悲しまざるを得ない出來事であつた。しかし、戰爭の如き非常時に於いては、人心も極度に狂的になつてくるのは止むを得ない事である。この事は、日清日露の戰爭において我が國の軍隊が經驗してゐるところであらう。

殊に最近の支那にあつては、何十年來鬱積してゐた資本主義列强國に對する怨恨かほとばしり出でた結果であつて寧ろ吾人はその輕微なりしを幸なりとする者である。

吾人は數回支那に遊んで、支那人が奴隷の如くあつかはれ、例へば其の婢僕を使ふ時は鐵拳をもつてし、工場に於いては鞭をもつて勞役を强制し、商人から物を奪ふなど、强國の面をかざして無理無體な行動をしつゝある狀態を目擊し、弱小國民の悲しむべき事にひそかに暗涙にむせんだ事幾度ぞ。

日本人たる者、七十年の昔に歸つて、未だ我が國權の伸長せられざりし時を回顧せよ、かの生麥事件は如何。これ外國が兵力をもつて日本を威赫せしを憤つた勢の結果ではなかりしや。

國際的差別の結果はかくの如き悲劇を生む。史上に於いてもその例、乏しとせない。

我が社同人にして北伐軍前敵司令部附きのM氏に書を寄せて曰く、南京事件はロシヤ派が蔣介石派の功をねたみ彼を陷入れんとしてなせりと。もし、ロシヤ派がかくの如き陰謀を企てし事實ありとせば、飽くまで彼を內敵として葬

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らざるべからず。かつて我が社もロシヤ帝國主義一派の爲めに、官憲に密告され投獄された同志あり。いやしくも、大衆の先驅者をもつて任づべき社會主義者の、爲すべからざる卑怯なる行動ではないか。同志を陷入れ、友を賣り、功を盜まんとするは、資本主義的精神に近づくものにあらずや、と。

政友會の黨首公選論

既成政黨に確たる黨員のない事は吾々の喋々を要しない所である。よし、黨員ありと稱するともその黨員たりや、黃金の力にて動いて來たる者であつて、一朝黃金の力他黨に比して劣る事ありとせんか、たゞちに雲散霧消して行く性質のものである。之に反して、新興無產政黨は一般大衆の間に確固たる黨員を有し、その黨員たりや亦强き信念の下に結合せる者であり、更に黨員は既成政黨と異り自ら黨費を負擔する。こゝに無產政黨の强味があり、亦それだけの苦惱もある譯である。

既成政黨は黃金の力によつて自らを維持するものであるからして、選擧及び常時においても、彼の縣會議員より國會議員、進んで一黨の首領の黃金を要する事莫大なるものである。されば彼等の間に種々なる不正手段の行はれる事は當然であつた。或ひは侵略主義を利用し、或ひは政商と結託する。

既成政黨の首領となる爲めには不正なる黃金を授受するの手段に優れ、奸智に長じてゐなければならない。その技に長ぜざる輩は直ちに葬り去られるのである。

こゝに殊勝にも黨首公選の主張を揭げる者に政友會がある。それは政界の廓淸を期する者であるといふ。然らば如何なる方法にて公選せんとするかと云へばたゞちに疑問湧かざるを得ない。何故なら既成政黨には臨時雇ひはあつても黨員なる者なければなり。强いて黨員ありとせば縣會議員級ぐらひの所ならん。もし、かゝるを黨員なりとして公選せしめんとしても結果は現在と同一なるべし。何故なればその黨員なる者は一選擧區においては選出代議士の取卷き連中に過ぎざればなり。今更殊勝らしく云ふに及ばず。不正なる黃金を授受するの智に長じたるもののみ黨首の適任者なれば、公選制になすとも結果において同一、亦その事實を離れて公選せんとせば既成政黨の本質に副はざるべし。

反之、無產黨の黨首は公選するの可能あり。亦爲さゞるべからず。無產黨にあつては、黨費は黨員全般の負擔する所であれば、黨首の人物の詮衡方法も既成政黨と異らざるを得ないのである。

之れを要するに、既成ブルジョア政黨と、プロレタリアの政黨が、其の黨首の詮衡に於いて、如何に甚だしき相違を有してゐるかと云ふ事を物語るものでなければならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北伐軍の內紛

何事を爲すに當つても、事業半にして內紛ある時は、著しく志氣を阻失し所期の目的を達する事能はざるに至る事がある。新聞紙の報ずる如きを眞なりとせば正に支那北伐軍の危險迫れりと云はねばならぬ。一朝この孕まれたる危險爆發せんか、幾多の人命を失ひ犧牲を忍びて、一途に支那の爲めに戰ひ來つた北伐軍の運命は風前の燈の如き狀態となり、民志空しく破れねばならぬ。さあらずとも、あれかしと祈りつゝある各國資本主義の爪牙は再び支那を不幸に陷入らしめずにはおかないであらう。此を思ひ、彼を思へば支那革命軍の兩派け今は內紛の時代にあらざる事を考へるであらう。よし兩派に見解の相異はありとしても恐らく帝國主義と握手せんとするが如き分子はあり得ないであらう。支那革命軍の任務は民族運動であり、社會主義運動である。思ふに兩派の見解の相異は後者の實現に關するものであらう。されば、支那の時局の安定する迄は、兩者提携の可能性がある。何故ならば社會主義的實現は、支那にあつては民族的安定あつてのみ初めて可能なり得るであらうから。民族的解放とは各國帝國主義を打破する事である。今はこの敵に當るべき時であり、亦それが最も重大なる時期でもある。支那革命軍は先づ民族運動として進め。

それが支那に光をもたらす最初の一段であるからだ。現在北伐軍內にある思想上の爭ひは、即ち建設思想の問題である。しかし、その問題を問題とする事は、たゞに時宜に適せざるのみならず、一歩進んで分裂の恐怖を實現するものではないか。かゝる爭ひは早晩くるべきものではあらうが、今はその時期ではないと主張する者である。現在の支那革命軍は民族運動であつて、それ以外に出でゝ社會主義的建設に關する爭ひをする事は、反つて社會主義を亡ほす結果となる。革命軍の一の任務である民族運動の成功は二の使命である社會主義に成功する事である。現在に於いて、二の問題に狂奔する事は二を亡ほし、一も亡ほす事である。一に成功した後において、二の問題に爭ふ事は極めて順序正しき自然であつて、健實なる支那はその爭ひの中から生れ出づるであらう。

戴天仇去る

戴天仇來つて一月餘。彼は何を爲せしや。そもそも何の爲めに來たりしや。

日本の大官と反動主義者と會はんが爲めに來たりしや。果して日本の朝野を擧げてこれを歡迎した。彼は北伐軍の代表にあらずしてたゞこれを讃稱せるに過ぎないのである。こゝに奇怪なるは、彼が日本の紡績業者から、上海陷

落の際は罷工をなさずと稱して二百五十萬圓を握つた事であつた。かくの如きは多少の誤傳ならんも煙のある所必ず火あり。彼が反動主義者を秘書とした事實無しとせず。

大阪に於ける紡績業者の集合において講演したる所を見ると、彼にこの野心のあつた事がうかゞはれる。彼は昔日本大學商科に學び支那語よりも日本語の方がうまくなつた。歸國して孫文の秘書となつたのは彼が日本語に巧みなる爲めであつた。孫文在世中十數年つひに秘書以上に出でず、第二第三革命に於いて同志を裏切り、ブローカー的行爲多く、今尙國民黨內に於いて勢力無く冷飯食ひに過ぎないのである。この點日本の紡績業者安心して可なりだ。

日本の無產階級中にも、彼を誇大に考へてゐた者もあつたが、彼の正體や正にかくの如しである。吾人は數回支那に遊んで、彼の人格識見を知り拔き、且つ彼の身邊にある一同志よりの通信によつて彼の行動が北伐軍の精神とやゝもすれば離れんとしつゝあるを知つてゐる。吾人は戴天仇をもつて、偉大なる北伐軍の代表と尊敬しつゝあるが如き日本國民に向つて、彼が決して北伐軍の眞の代表者にあらざる事を報づる。

清瀨毆打事件

五十二議會正に終らんとする頃清瀨代議士が散々になぐりつけられた一場の亂鬪騷ぎがあつた。政友會の代議士に云はしむれば、清瀨をなぐりつけたのは赤誠の發露の然らしむる所であつて、如何ともする能はざりしと云ふ。然るに政友會の赤誠や、反つて一般國民の嫌惡するところとなり、同情は一人清瀨のみ獨占する形となつたのは、政友會の爲めにおしまざるを得ない。彼等の云ふ赤誠とは、實に彼等の非を蔽はんとする行動に過ぎぬ。

清瀨代議士の爲したる演說の要旨は、即ち問題の金塊事件である。金塊事件とは、我が陸軍のサガレン出兵當時大正七年九月十六日及び十月五日アレキセフスクにて占領せる金塊三十萬圓內外を、ひそかに私せる者あるらしきとの疑ひより進んで、大井成元幕下の者が保管し我が國に輸送した所の、カルムイコウ將軍がハバロウスク國立銀行より押收した市價百六萬圓の金塊を、大正十二年三月カルムイコウ將軍の委任狀を有する者から金塊の返却を求められた時、當時の陸相山梨半造は市價十四萬圓位の金塊を交附し、殘部の百萬圓が何處にあるやを公にせざりし事實を摘發し、次いで機密費事件に及んで二千六百萬圓中千七百萬圓が田中義一の陸相たりし時代において、その使途が極めて疑はしい點ありとしてそれを解剖せんとしたのであつた。

清瀨の言論が、誤謬に滿ちるものであるなら、何故に理をもつて說服せしめぬであらうか。議會は言論の府であつて、スペインの鬪牛場ではない。理をもつて應酬せずして、暴力をもつて應酬せんとする事それ自身すでに自ら內部に

やましき點を有してゐる證據であるまいか。軍機の秘密を漏洩すると云ふ。軍隊は國民の軍隊であつて、一部軍閥の奴隷ではない。國民の膏血よりなる軍事費の、使途極めて怪しきと爲す、瀬氏の演說に國民の同情をひいたるは何等故なき事ではない。況んや、既成政黨と出所不明の怪しげなる黄金とは密接不可離の關係にあり、殊に政友會の黨首と黄金との風說紛々たる物議をかもしつゝある時においてをや。砂田某は清瀬は赤化思想の持主なりと云ふ。一般國民はすでに目覺めつゝあり。何處までも腐敗せる既成政黨に信賴する者にあらず。否單に既成政黨に止まらず、資本主義社會に甚だしき嫌惡を感じつゝあり。清瀬の赤化や國民の信賴を得るに至らん。

メーデーをして意義あらしめよ

我等の日、メーデーは來た。此の日我等勞働者は一日勞働を休止して、××××なるブルジョア階級に我等の團結の威力を示さねばならぬ。日本に於ける第八回のメーデーは來た。我等は此の日の前に吾等の團結力と[illegible]、街頭に於ける××××に依つて示さねばならぬ。

我等が榮ある××××の進軍ラッパ勇ましく、吾等が唯一の誇りとする××の××を××して歩武堂々と、足音高く、資本の牙城へ肉迫しなければならぬ。

萬國の勞働者は此の日を記念すべくメーデー旗の下に參集して、彼等ブルジョア階級をして我等の××の前に戰慄せしめよ。行進の喊聲物凄く、天地を震憾せしめずんば止まざる堂々の足並を以て彼等を脅威せしめよ！

五月一日、我等の日メーデー來たる。我等は此の日を期して勞働者の國際的團結へ進出するのだ。日本の勞働者も萬國の勞働者と共に、×××の[illegible]しく進軍するの日だ。資本の國際的團結の前に萬國の勞働者も國際的團結を以て共同戰線の陣を敷き、彼等と抗爭するの日だ。

我等の兄弟は、東京に於いて、大阪に於いて、凱歌を揭げてゐる時は、米國の勞働者も、英國の勞働者も共に凱歌を揭げてゐるのだ。

吾等の日、メーデー、五月一日は來た。全國の勞働者は此の日をして意義あらしむべく、街頭に立つて、自らの權利を主張し、自らの勞働の誇りを天下に宣明せよ。

メーデーは來た。國際的總動員の前に全國の勞働者は團結せよ！メーデーをして意義あらしめよ！

磐城炭坑の坑夫虐殺

三月二十七日、磐城炭坑内に於ける坑夫百餘名の慘死事件が新聞に報ぜられた。

原因は警備小屋から發した火は毒瓦斯を呼んで、全坑內に充滿した爲めであると報ぜられてゐるが、茲に唯、一つ我等の默許すべからざる、坑夫を故意に慘死せしめた磐城炭坑會社の、人道を無視せる大事件がある。

それは毒瓦斯充滿して氣息奄々たる勞働者が地下何百尺の坑內より救を求めるベルを數回に亙つて鳴らした。而も此のベルの響きを目前に聞きつゝも何等救助の方法を講ぜざるのみでなく、却つて入坑者の逃るべき唯一の道たる堅坑を密閉して、遂に百餘名の勞働者を死に至らしめたる磐城炭坑會社の、殺人行爲である。

抑々地下何百尺の坑內に働ける勞働者の生命を預つてゐるものは實に地上にある番人であらねばならない。此の番人の意志の如何によつて坑內に働ける勞働者の生命は左右されるのである。然るに何ぞ。坑內よりは救を求める信號のベルは數回に亙つて鳴り響けるにも拘らず、恬然之れを看過した責任者は、當然、慘死坑夫を殺したものであると云はれても斷じて言明の辭がないであらう。

而も茲に最も奇怪とすべきは、死坑夫の死體捜索に關する會社の態度である。坑夫の同僚は、必死となつて、而も未だ毒瓦斯消えやらず危險云はん方なき坑內へ死を以て入つて、同僚の死體を搬出しつゝあるのに對し、社側は、積極的に之れが援助をしないと云ふ事は何と迄冷酷な者のみ揃つた會社であるかと、吾等は獨り、切齒扼腕せざるを得ないのである。

彼等にとつては勞働者の百人や二百人の命は問題視するに足らないであらう　然し吾等は、吾が兄弟の死に對しては、心から嘆かざるを得ない。しかも其の死に對して迄、尚冷酷氷の如き態度を持してゐる會社側の慘忍なる措置を憤慨せざるを得ない。全國の勞働階級は此の殺人會社、磐城炭坑を葬れ！

再び目的意識に就いて

前號に於て、文藝戰線一派の所謂「目的意識」に對して完膚なき迄に彼の無智と錯亂を剔抉して置いたが、其後彼等は、相變らず目的意識を高唱して恥ずる所がない模樣であるから、再び茲に謂ふ所の「目的意識」を檢討して見る事にする。

抑々彼の目的意識論を高唱した張本人は青野季吉であるが、彼は今日迄、プロレタリア文士を以て自任し、而して文學運動を以て社會運動の一舞臺だと誤信して彼の目的意識論を執筆したのである。そして其の意識を基調とせる小說を作つて獨り悦に入つてゐるのである。又文藝戰線の山田清三郎、葉山嘉樹等の連中と共に、眞面目になつて此の原則論を振り廻してゐるのである。

目的論、社會主義作品のみに限らず、其他一切の作品には、目的意識が無ければ其の作の價値のゼロである事は確だ。

然した。文士如き者が社會主義を目的意識とした所で何の役立つ處がある。無産階級の實際生活と甚だしくかけ離れた文士が社會主義者がどうの、こうのと云ひ出すに至つては實に笑止、憤飯に堪へない次第である。

而かも彼の目的意識論たるや、極めて抽象的であり、恐ろしく杜選なものであるに於て吾等は其れを讀む度に、思はず笑ひがコミ上げて來るのを知る。而して其後文藝戰線誌上に表はれた訂正文？の如きも、何れ劣らぬ下らない文士連中の弄さみである事を痛切に感じた。

要するに彼等は、自らの原稿料の高くならんが爲め、自らの名前が多く活字にならんが爲めに、威張つて發表した此の目的意識論は殆んど三文の價値もなく、寧ろ彼等の嘖々たる？名聲を下落せしめる以外の何ものでもなかつた。藝術に社會主義的要素を結び付けるとか、藝術を社會主義運動に迄進展させねばならぬとか、文戰的文藝闘爭の意義だとかの兒戲に類するタワ言を並べて獨り喜んでゐるプチ・ブル心理の把持者よ！汝そも何處へ行かんとするか！杜撰、朦朧殆んど度すべからざる目的意識の概念論者！速に消えて無くなれ！

反福本イズムの擡頭

辯證法的唯物論を唯一の身上として、我が社會運動界を席捲しつゝある福本和夫は、爾來、凡ゆる團體、組合を乘取らんと虎視耽々たる有樣であつたが、最近漸くにして擡頭し出したアンチ福本イズム熱の爲め、早くも其の陰影を沒せんとしてゐる。彼の理論たるや、一面より見れば成程と首肯出來得るやうであるが、其の眞底を分析究明して見れば、何ぞ知らん。一片取るに足らざる揑ち上げんが爲のダンゴ理屈であらうとは！

そして社會運動をも辯證法的に發展せしめようとする彼等の戰術に對して、今や漸く全國にアンチ福本イズム熱が勃興してきた。

勿論彼等の出現は一時的の現象であつて、早晩消滅して了ふであらうと言ふことは、吾々は最初これを看破してゐた所である。今その現れが、目前の事實となつてきつゝあるのは、亦、當然の事であると思はれる。

農民の進出

今月全國各府縣に於ける町村農會の役員選擧が行はれた。農會は、農民の副利増進を計り、農業の改良と共れが發達を期することを以て目的としてゐる。然るに今日迄の農會の成しつゝあつた事を省るに、一部の地主階級の利益を保護し、それが利益の積極的援助をするが如きことのみをなして來てゐる。勿論幾何かの例外はあるとしても大體

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於て、全國各町村を通じて、農會は地主の機關となり、小作人が何等これに關心する所がなかつたのである。會の役員は凡て地主を以て充たされ、殆んど小作人には何の關係もないものゝ如くであつた。

然るに本年の選擧に於ては——目下の處では確乎たる統計は取れないが——新聞に報ずる所に依ると、小作人が之れに參與し、進んで自らの利益增進の爲めに、努めるべく役員となつたものが多數あると云ふ事である。

例へば新潟縣、山口縣の如き役員の三分の一以上は小作農民を以て占められてゐるが如き、無産農民の意を強ふして可なる成績を示してゐる。其他の府縣町村に於ても、何れ、此れと大差ない程度の役員を小作人側から出し得たであらう事は信じて疑はない所である。

今日迄、小作人が此の農會を閑却して地主のみに任せて置いた事に對して地方の社會運動家は、極力之れを利用する樣奬勵した事は、今日漸にして實現された譯である。此の新らしき現象は、最近の農民運動の進展と、無産政黨運動の展開とが、農民に與へた影響の具現化に外ならない。即ち今日迄、地主階級に服從することを美德とし、反逆することを村の平和を亂すものとして排斥してゐた農民は、今や新らしき社會現象に當面して、猛然、起つたことの反映でなければならない。

地主階級のみに利用され、小作農民を度外視してゐた農會の職分に初めて目覺めた小作人が、自らの利益の保護、獲得に向つて積極的進出を敢えてした事の、而して闘爭へ進出しつゝある事の直接反映であると見ても斷じて誤りではない。

全國の農民は、農會を自らの階級の利益保護機關とせよ、農會より地主を放逐せよ、農會をして社會進化の途上に於ける吾等の陣營たらしめよ。

白熱化す郵船爭議

郵船司厨部員の爭議は今や白熱化し、爭議團員の結束、強固斷じて彼等に屈せざる威力を示しつゝあるのは、勞働階級の共に等しく、喜びとせざるを得ない所である。

横暴なる郵船會社は、今尚要求を容れそうもなく、密かに裏切り的行爲を奬勵して一日も早く船を海外へ出帆せしめん事を焦つてゐるが、爭議團員の強固なる結束力の前には一溜りもなく、跳ね返されつゝある。

總同盟の鈴木文治氏はゼネバの勞働會議へ赴くべく、乘船した事は、餘り感心した事ではないが、然し、勞働會議へ出席して勞働者の權利を主張する爲めに行くのであるから、必ずしも其れを非なりとして責めるべきでもない。要は一、二の船の動く事ではなく、萬國の勞働者の共通利害を考慮して、此の爭議をして意義あらしめなければならないのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究

高畠氏に質す

向軍治

前號にも既に陳べて置いた通り予は本年一月三十日の東京日々新聞第三面に「譯本第一卷三七一頁から三七八頁の處」毎頁皆違つてゐます。また六七九頁、六八三頁手當り次第に開いて見ると皆間違つてゐます」と明瞭、誤譯の箇處を指摘して置いたのである。高畠氏は其の返事として二月五日の同新聞に

「小生もと／＼これを完全なものとしては吹聴してゐない。誤譯、不充分な處、拙劣な點があるといふ事は小生自身くどいほど公言してゐるところで、誤譯があれば何時でも改める。いづれ向氏もア、いはれたからは立入つて誤植の點を指摘して下さることと思ふが、それが確められゝば喜んで御教示に從ふつもりです。若しまたそれが單なる漫罵に過ぎなかつたとすれば、タダでは濟まされない」云々

と謂つて居られる。此高畠氏の言に答へる前に高畠氏に尋ねて見たい。

（一）「誤譯があれば」と云ふ日本語は誤譯が有るか無いか判然しない時に用ゐる言葉である。「何頁から何頁迄、毎頁違つてゐる。何々頁と手當り次第開いて見ると皆違つてゐる」と明言した後に高畠氏が此言葉を用ゐて居るのを見ると高畠氏には予が指摘したペイヂの譯が何處が間違つてゐるか判然しないのであらう。ウツカリ誤譯すると云ふ事は誰にでもある。予も善くやる。研究した上で誤譯だか誤譯でないか判然しないとすると中學生以下だ讀者は常に讀むに當つて筆者の心理狀態を推測しつゝ讀まなくては本當に本が讀めるものではない。高畠氏の心理を解剖すると、「小生自身くどいほど公言してゐる」と如何にも晴な度胸を示してゐる後に「誤譯があれば」はマサカ負惜しの言葉ではあるまい。予がペイヂも何も指摘しないで「漫然」誤譯があると謂つたのなら、「誤譯

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はない積りだ然し誤譯があれば何時でも改める」が聞こえてゐる。何頁と判然指摘した上で「誤譯があれば」は態々エラ相に體裁を繕つた卑屈の言葉でなければ昂然と意張つた「誤譯があると謂ふなら指摘して見ろ、眼に物見せて呉れるから」と力んだ言葉でなければならない。高畠氏の確答が聽きたい。前の方か後の方か。書物の本當に讀める人なら指摘してある頁を一寸啓いて見さへすれば其誤譯が直に分明になる筈から「誤譯があれば」と云ふ不得要領の言葉が遣へる理由がない。

（二）

「立入つて誤植の點を指摘して下さること〻思ふ」とは一體何の意だ。予は高畠氏の校正掛ではない。「誤植」の二字は新聞社で誤植したのか、高畠氏の原稿に此二字が確に用ゐてあつたのか伺いたい。此處は心理的に解剖すると、世人の愚昧なのに乘じて、一向の指摘して居るのは誤植の指摘に過ぎない」と豪語する目的があつての事か新聞社の誤植に違ない。何うだ。或は「あれは誤植であつた」と言拔する前觸とも讀める。マサカそんな卑しい根性でもあるまい。「誤植」と云ふ言拔が出來ない樣に指摘して御眼に懸ける。

（三）

何ペイヂと指摘した後に「それが單なる漫罵に過ぎなかつたとすれば、タダでは濟まされない」とは何たる暴言だらう。「漫罵」だか「漫罵」でないか自分で指摘してあるペイヂを開いて見たらよいではないか。

（四）

本年　月　三十日の予の投書には「殊にその誤譯が英譯の受賣であることも判明してゐます」の次に「併し英譯の正しい處も高畠譯には間違つたのがあります」と云ふ文句が挿まつてゐたのであるが、餘り長くなるからか、新聞社でそれを略したのである。其種類の誤譯は高畠氏が英語も獨逸語も讀めない人と云ふことの確證である。

以上で概括すると高畠氏が漫罵と謂ふに違ないから、面倒ではあるが、稲田君の場合と同じ樣に、實例を掲げて漫罵でない事を證明して見せる。併し其前に一寸反問して見たい事がある。高畠氏譯第五ペイヂ（前の四頁は表紙であるから、本來此頁が開卷第一の頁である）に高畠氏が原文の意味を眞實了解してゐるのでないと思はれる個處がある併し是れは口頭で聽糺さなければ言拔の出來る文句であるから其分は擧げて言はない事にする。第六頁即ち第二頁目に丸で意味の取れてゐない個處がある。第七頁即ち第三頁目には許すべからざる誤譯がある。全く中學程度である。右第六頁と第七頁との誤譯が何處に在るか高畠氏に質問して見たい。本當に本が讀めるのなら「成程あれは誤譯であつた。斯の如く訂正する」と訂正文を公表して貰ひたい。其誤譯が發見が出來ない、即ち自身が了解し得たのか了解し得ないのかが自分で判斷が出來ないと云ふ程度であるか否かを明瞭にして頂きたい。

日々新聞へ投書した時は嚴密に原書と譯書とを比較して見たのではない。唯先づ書を手當り次第開いて二、三行讀んで見て、此んな處は屹度間違つて居るだらうと見當を付

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けて其場處の飜譯を開いて見ると、果して間違つて居たのである。高畠氏や福田君が誤譯を明示しろと迫まられたから此度開卷第一から原文及び英譯と比較して見た。矢張手當り次第開いた處が皆間違つてゐると謂つて少しも差支ない。

手當り次第開いて誤譯を發見すると云ふ事を世人は不思議に思ふかも知れない。不思議でも何でもない。先年或る文學者が飜譯出版の見本としてドストイエウスキの飜譯を一部公にしたのを一寸讀んで見て「是れは誤譯である。原文を見ないから善くは判らないが多分原文に斯々の文句の使つてあつたのを此譯の通りに誤譯したのであらう」と思ふと謂つた事がある。此事はローマ字雜誌で發表した。すると何とか云ふ文學士が「向はヒドイ事を言ふ男だ。原文も見ないで誤譯呼ばわりをすると」批難した。其んな批評をする男が書物が讀めないのである。予等は飜譯を三四行讀んで見た丈で其人の學力を直に看破することが出來る。其譯も、後に獨逸譯と較べて見たら果して原文が予の推量通りで、全く誤譯であつた。其文學士は予等に其んな眼力のあることを知らなかつたのである。其後或場處で（予の方では殆んど忘れてゐた時に）顏も名も知らなかつた文學士の方から「あれは私でした。今更先生に對して濟まない事を謂つたと思つてゐます」と詫の言葉を聽いた事がある。其文學士は何と云ふ方であつたか、今は或官立大學教授であるが、御名前を忘れた。此話の出た時慶應の先生方から「それでは某氏の哲學書の飜譯は如何ですか」と尋ねられた事がある。「其方の飜譯は見た事がありませんから御返事が出來ません」と答へると「此處に其飜譯書があります。一寸讀んで見て下さい」と云ふ事であつた。早速其飜譯の開卷第一頁を三行程讀んで「駄目です。此人は哲學書の讀める人ではありません」と答へると慶應の先生方が眼を圓くした。「それでは何か證據が擧げられるかも知れません。其本を今一度見せて下さい」と謂つて再び手に執つて見ると原著者から譯者へ送つた手紙が卷頭に全部飜譯して揭げてあつて、其手紙の一部が寫眞版にして原文の儘載せてあつた。是れは屈竟な材料と其寫眞版の原文と飜譯とを比較して見た。果して直に誤譯が發見せられて、慶應の先生方が驚いた事がある。其誤譯は獨逸語のリヒトウングと云ふ字である。原文には「此書を著すに當つて著者は種々の學派の說を參照した」と書いてあつたのである。處が其飜譯には「此書を著すに當つて著者は種々の方向の說を參照した」と譯してあつた。成程此字は中學生なら「方向」と譯す字である。哲學書に此字が用ゐてあれば、それは「方向」ではなくて「學派」の事である。福田君の「影響」とソックリ同じだ。是れは字を一字譯し損ねたのではない。哲學書を讀みこなした頭でない事の確證である。大學教授だの博士だのと云ふのが其實皆テンプラ式である事の確證でなくて何だ。

レンシングの作にミス、セラ、サムスンと云ふ劇がある。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の飜譯が岩波書店から出てゐる事を新聞で知つた。廣告にミス、サラ、サンプソンと出てゐた。劇の主人公の名前さへ知らないのであるから、其筋の飲込めて居ない事判り切つてゐる。此譯者は博士級ではないと思ふが、帝大が如何にボンクラの揃であるかは此一事でも善く判る。

此稿を草するに當つて始て發見した事は高畠譯が高畠氏一人の手で出來たのでない事である。多分高畠氏が自分で出來ないので他人に頼んだのであらう。其他人が間違つた譯をしたのを高畠氏が其儘自分の誤譯の中へ挿入したのである。從て誤譯が更に増加してゐるのであることを斷言して憚らない。前の質問に加へて此點も返事が聽きたい。

（四月二日稿）

×　×　×　×　×　×　×　×

兩極端

日本一の富豪と借金王を生んだのは土佐である。これが新聞紙御自慢、一ツ他國への誇りだ相だ。時代に順應し掠奪し搾取蓄積を全ふした岩崎家や惡辣の限を極め、胡魔化のハタが剝げて、一躍借金王として石井定七ソコノケの鈴木の直である。此の兩端いづれも政府が援助し否政治家を自己の思惑通り操る手並又金力も大したものだ。國家と云ふ後盾を得て打つ芝居には國民だの輿論だのてものは寸毫もない。觀覽料を拂つた觀衆には自由はないのである[illegible]村先は[illegible]だ。「通過させ樣と否と君等の知つたことぢやない。」他の容喙を許さない。

岩崎鈴木の懐も、[illegible]の財政も皆奴等は一鍋だ。儲けも損も相見互だ。[illegible]國家が存續する限り岩崎、鈴木家又然りだ。これが半面には慘忍な悲劇が數限り無く重なる。彼等が儲けの手段として操業短縮、工場閉鎖、銀行休業等々。依りてプロレタリアは失業、飢死に沈淪する。思へ、我等が借金には裁判所が冷酷な眼を向けるではないか。總べて多く盜む者程現社會は寛容であり、かへつて成功者として賞揚する。小細工に對しては刑務所が酷烈に制裁を加へる。何たる皮肉な逆の世の中だ。

―（佐根生）―

研究

マルクスと剽窃問題

淺野研眞

一

『私の著述は、私の周圍に居る馬鹿とか悧巧とか、老人とか青年とか、男子とか女子とかの合作に成るもので、それにゲーテといふ名前を附したに過ぎない。』(ゲーテ)

× × ×

『人間は一人も孤立して生存してゐる者はない。我々の身の周圍にある日用品を見よ。一物も自分で作つたものはないではないか。更に進んで我等の知識を見よ。一物として我等が作り出したものはないのだ。我々は之を母より、父より、兄弟より、朋友より、書籍より、雜誌より、遂ひには外國のたれかれより得たものでないものは無いのだ』(レオン・ブルジョア)

二

剽窃問題は泥仕合である。

而かも徒らに名をなさしむるものたるに過ぎない。尚ほ其れは力の動くところに起る。玆に吾々はマルクスに關聯する剽窃問題の二三を上げやう。

三

第一に擧ぐべきは、マルクスがマルサスの『人口論』に對して放つた剽窃呼はりである。

即ちマルクスは、マルサスの著作『人口論』(一七九八年刊)を評して、單なる一個の剽窃に外ならないとしてゐる。

彼れ曰く、

『此書(人口論)は、デ・フォーや、サー・ジェームス・ステュアートや、タウンセンドや、フランクリンや、ワレースなどからの――淺薄なことは書生論のやうな、又その修辭は坊主の説教のやうな――一個の剽窃に外ならないものであつて、一つの獨創的命題をも含んでゐない。……』(『資本論』高畠氏譯、第一卷、八一九―八二〇頁)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

要するにマルクスも、「人口論」は多くの著者からの剽窃物であることを認めてゐるのだから、それをマルサスが、一つに纒めた所の力作(?)であることには變りはない。

四

次にはマルクス自身が剽窃呼はりをされた事件である。

その第一はロードベルッスからの抗辯である。

云ふまでもなく、ロードベルッスは當時の獨逸に於いて、有力なる社會思想家であつて、そして彼は、彼の新學說をマルクスが剽窃したのだと主張した。即ちマルクスの徒らに名をなしてゐるのがシヤクに觸つた譯でもあつた。

これに對しては、マルクスの死後、エンゲルスが總決算を企ててる。即ち「哲學の貧困」への一八八四年の序文中に於て、次の如く述べてゐる。

「ロオドベルッスがマルクスは私の說を剽窃したものであり、且つ其の「資本論」は何等の承認なくして私の著作「我等の國の經濟狀態の認識のために」を多く利用したものだと公言したとき、マルクスは損はれた一天才の必然的嫉妬によつて說明された中傷に過ぎないものとして默殺し、且つ彼は全くプロシア以外に[illegible]つて居たこと、並に社會主義及び經濟學的文獻の著名なるものに就ては何等知る所のなかつたことを述べてゐた……の

「ロオドベルッスは、その一八四二年の發見(前出著作)が、果して眞に新發見であつたか如何かを確める機會が充分あつたのだ。所が其をせずに、彼は彼の新發見を比類なきものと信じ、マルクスも亦、その結論をロードベルッス自身と同樣に、單獨にリカルドオから演繹し得た筈だと云ふことに曾つて思ひ及ばないのだ。そんな筈はない。マルクスは彼を「剽窃した」のだ。――即ち此の結論が、少くとも猶ほロオドベルッスに於て見る如き粗雜な形式に於て、彼等二人よりも遙かの以前に、既に英國に於て發表されてゐる(リカルドオ派社會主義文獻を指す)と云ふことを確かめ得るために凡ゆる機會を彼に提供した(主としてマルクス「哲學の貧困」を指す)所の其の同じマルクスを彼が剽窃したのだ!」

かくエンゲルスは逆說的にロオドベルッスの剽窃呼はりの意義なきを述べ、マルクスはロオドベルッスとは全く別に直接リカルドオから演繹したものであると說き、尚ほ進んではロオドベルッスの前掲著書の不備な點や、そのユトピアン式なる論理を攻擊してゐる。

五

ロオドベルッスの右の剽窃問題は、その後餘り問題にもされぬやうであるが、茲に述べんとする「共產宣言」の剽窃問題に至つては、ことが實際運動に直接關係を持つ點からしても、時々むし返しがある。

元來、この問題は、ロシアのアナーキストたるチェルケソフによつて提起され、一時は可なりの大問題となつたも

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。即ち彼が、その一八九六年に公刊した著作「社會主義史研究」の第十章（此の部分は延島英一氏によつて「共産黨宣言の秘本」として邦譯された）に於て、マルクス及びエンゲルスの「共産黨宣言」は之に先立つヴィクトル・コンシデランの著作「社會主義の原理、第十九世紀民主主義宣言」（一八四三年初版、一八四七年再版）の換骨奪胎たるものであり、剽窃たるに過ぎないことを剔抉糺彈したのに初まつてゐる。

而して此に對しては、相當のマルクス主義者もアナーキストの前に降參したやうな狀勢になつたが、最後にカウツキイは「ノイエ・ツアイト」の誌上に「共産宣言は剽窃なりや」なる一文を掲げて、此の問題の總決算をした。即ちカウツキーは其の一文を「共産宣言はコンシデランの學說を剽窃したどころか、却つて反對にコンシデランの「社會主義の原理」に對する反駁者たるの感がある」と結んでゐる。然し其後とても此の問題は、時々アナーキスト側から、むし返しを試みられてゐる。（尙ほ此の問題に關する殆んど唯一のまとまつた邦文文獻として、平井新氏「共産黨宣言剽窃問題」——「三田學界雜誌」大正十四年六月號——がある）。

六

ラッサールが、マルクスを剽窃したと云ふ問題は、よく知られてゐることだから、玆には多言を用ゐない。

七

之を要するに、比較的名著には、多く難ぐせが附加される。好事魔多しの類があつて、剽窃問題も直ちにからませられる。

然しどんな著作からでも、雜誌からでも、思想なり、事實なり、辭句なりを引き來ることは、たとひ其が如何あらうとも、善用されて、且つ體系化されてゐるのであるならば、何んの剽窃であらうか。

これ以上に於ては、剽窃問題は泥仕合である。また忽然然起が實證し得ない所のドグマである以上、ゲーテの前引の言葉こそは、眞に味ふべきものである。吾々は玆にも生存鬪爭と相互扶助とのアンチノミーを見る。（完）

メーデー小景

蜿々長蛇の如き行列中より、突如××歌が歌ひ出された。警戒してゐた巡査數名早くも行列中に飛込んできて、歌つた者を檢束せんとした、此の時再び行列中より歌聲揚がる。曰く、

「巡査さす樣なヒラけた親は　ヨイヨイ
　何故に乞食をさせなんだ　ヨーイヨーイ　デカンショ

檢束せんとしてゐた巡査連中「?・?・?」恰も腦天に一擊を喰つたが如し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

カール・マルクス（2）

—その生涯と學説—

カハン・コーテス

六、共産同盟

ブルッセルに於て、マルクスとエンゲルスとは「義人同盟」に加入した。この「義人同盟」は、各國に於て各種の形態を有してゐたが、遂に共産同盟にまで發展して、公然たる宣傳團體となつた。一八四七年十一月、彼等はその同盟の完全な、實際的な、且つ理論的な黨の綱領を起草することを委託された。かくて出來上つたのが「共産宣言」であつた。その當時の歴史的産物として、此の宣言は未だに近世の國際的社會民主主義の根本的著作をなしてゐる。共産宣言は、古典的な形態に於て、マルクス及びエンゲルスの理論的及び實際的業績の結果を展覽してゐる。其のブルジヨア社會の鋭き分析にも拘らず、それは其が現れたよりも少しでも早く現れると云ふ譯には行かなかつた。然し其の當時に書かれて暫くにして忘れられて行つた所の其他の無數の將來社會に關する組織及び綱領とは違つて、共産宣言のみは今日も尚は生き殘つて、實際に益々全世界の勞働者の光りとなりつゝある。而して、マルクス及びエンゲルスによつて起草された此の綱領は、存續して居り、且つ其の出版七十年後に至つても尚ほ眞理であると云ふことは、當時未だその幼稚期にあつた所の制度の不可避的な結果を確實に把握してゐた所の著者たちの驚くべき直觀と理解とに負ふ所のものである。

此の小さな著作が吾々の運動に重要であればあるだけ、また其がマルクスの學説の精神を良く展覽して居れば居るだけ、其を分析するために茲で暫く止まることが、よりよく價値あることであるだらう。

七、共産宣言

「共産宣言」は史的唯物論に立脚してゐる。その根本觀念は、如何なる歴史的時期の政治的及び知識的發達も、その時代の經濟的生産及び交換の一般的樣式、及び其によつて

結果づけられたる社會構成の上に立脚し、また其れからのみ說明され得るものであると云ふにある。土地を共有したる原始的種族社會（此の人類社會の有史前の時代は、モルガンや、エンゲルスや、其他の人々によつて研究され、大いに唯物史觀に役立つてゐる）の崩壞以來の人類の全史は、階級鬪爭、即ち社會發達の各階段に於ける搾取者と被搾取者と、支配者と被支配者との鬪爭の歴史である。かうした鬪爭の歴史は、進化の一系列を成してゐる。而して今日到達した段階に於ては、被壓迫階級にして被搾取階級である勞働階級は、搾取階級にして支配階級たる資本家階級から、社會全部を一度に且つ全部的に、凡ての搾取、階級分割、及び階級鬪爭から解放することによつて、その解放を遂行し得るのみである。

宣言の第一章は、ブルジョア階級（資本家階級）と、プロレタリア階級（勞働者階級）とを取扱つて、簡單に如何にして近世資本家階級がそれ以前の社會制度から發達し來つたかを述べ、又如何にして交換手段及び商品の增加や、新市場の開發及び新領土の發見が『商業に、航海に、及び產業に、決して今迄知られてゐなかつた刺戟を與へ、爲めにその當時に崩壞しかけてゐた封建社會內の革命的要素により急激なる發達を起させた』かを說く。眞に革命的な役割を演じた所のブルジョア階級の發展に於ける各々の步みは、その階級の之に相應する政治的發達を伴つてゐた。

『ブルジョアジーが、政權を握つた所では、總ての封建的、主從的、牧歌的なる諸關係が破壞された。……之を一言にすれば、宗教的及び政治的の幻影を以て覆はれた搾取の代りは、公然たる恥ぢ知らずの直接な露骨な搾取を設定したのだ。ブルジョアジーは、從來、名譽と尊敬とを博してゐた總ての職業から、その後光を剝ぎ去つてしまつた、醫師も、法律家も、僧侶も、詩人も、學者も、皆な彼等に雇はれる賃金勞働者に變化されてしまつた。そして彼等總ての尊い意見入れられず、また總ての新しい意見は強固なものとならない內に反對せられてしまひ、その結果、人々は遂に現實に直面し、事物に對する明確なる觀察をなさしめられる樣になつた。

資本主義的生產方法は、それが一度び現はるゝに至るや『總ての國民に、若し滅亡を欲しないならば、ブルジョアジー自身の生產方法を採用することを餘儀なくする。而して所謂文明なるものを國內に輸入すること、即ち自らブルジョアとなることを、餘儀なくさせる。之を一言にすれば、ブルジョアジーは自分の影像に從つて世界を作るものである。』資本主義制度は莫大なる人口を大都市に集中し、生產方法を集中的とし、財產を小數者の手に集積した。そして此の必然の結果として、政權の集中及び、前の緩かに結合されてゐた地方制度からの近世國家の成立が起つて來た。それは地方を都會に從屬せしめたと同樣に、未開國及び半未開國を、より文明化された國に、農業國を資本家國に、東洋を西洋に、其れ〳〵從屬せしめた。（勿論、其後、東洋

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は次第に醒めて來て、古いブルジョア的西洋の特色や、氣候や、民族や總ゆるものゝ相違のあるにも拘らず、非常な發達をなし、必然的にそれ自ら急速にブルジョアーとなりつゝある)。

「僅かに百年ばかりの支配の間に、ブルジョアジーは、過去一切の諸時代を合したよりも、一層多量な、一層巨大な生産力を作り出した。……」然るに資本主義的生産の餘地を與へんがために、封建制度の足械を取除かなければならなくなるに從つて、ブルジョア社會は急速なる生産方法の發達とは兩立し難くなり、その結果として社會に於ける總ての社會的、政治的、及び知的關係とも兩立し難くなつて來た。資本主義が封建主義をたほした所の其の武器は、今や己れに向けられたのである。資本主義の暴利を持ち來つた所の生産の一大擴張も、矢張り今やその死滅の原因となるだらう。その一例として、宣言は「生産過剰の週期性を挑發せしむる所の商業危機」が屢々起ることを指摘してゐる。

然るにブルジョアジーは、己れにつきつけられた武器を忘れてゐるのみならず、その武器を振り廻す所の現代の勞働階級、即ちプロレタリア階級を産み出したのである。そこで宣言は、プロレタリア階級の發生、その資本家との關係、及び如何にしてプロレタリア階級が總ゆる階級より補充されて來るかと云ふことを取扱つてゐる。勞働階級はその發生の時から、意識的又は無意識的なる鬪爭を、資本家階級に對して行つて來た。然しブルジョアジー自身も、斷へず鬪爭を爲してゐる。即ち最初には貴族階級と戰ひ、後ちには産業のより以上の發展を阻害する利益を持つ所のブルジョアジーの他の部分と爭ひ、また外國のブルジョアジーと始終戰ふのである。總てかうした戰ひに於て、資本家階級は、自己の利益のために勞働階級の助力を乞はねばならなかつた。而して後ちには、無意識的に、その最も惡い敵と實際に戰つてゐるのである。資本家階級はその發展の行程に於て、決して共同的努力の價値なるものを知らない。かくして政治的戰場に引き入れられて行き、資本家自らによつて自分を傷けるであらう所の武器が供給されたのである。下級中等階級、小製造業者、小資商人、手工業者、及び農民等は、總てブルジョアジーと鬪爭するが、プロレタリアートのみが眞實の革命的な階級である。プロレタリアートは近世産業の特殊にして重要なる産物であり、またプロレタリアを近代の産業的發達に調和せしむるであらう所のかうした新しき社會關係及び政治狀態を持ち來すべく運命づけられてゐる。社會の糟・即ち獨逸語の所謂「ルムペン・プロレタリアート」なるものに就て云へば、それはプロレタリア革命に依つて運動の中に捲き込まれて來るであらうが、然しその全體としての生活狀態は、常に反動の買收の具になるべきものである。そこで宣言は進んで曰ふ「從來の總ての運動は、皆な小數者の運動か、若しくは小數者の利益のためにする運動であつた。プロレタリアの運動は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大多數の利益のためにする大多數の自覺的獨立運動である。(又は、其にならねばならぬ)。現在社會の最下層たる此のプロレタリアートは、外面の正式の社會を構成してゐる×××××××××××××××××××××、自立し自營することが出來ないのだ。……』故に近世產業の發展は、(以上及び其他の理由によつて)、『ブルジョアジーが生產をなし、生產物を領有する所の×××××、×××××××××××××××××××××××。さればブルジョアジーが生產する所のものは、結局、自分自身の墓堀人なのだ。ブルジョアジーの沒落と、プロレタリアートの勝利とは、共に不可避なものである。』

宣言の第二章は、先づ共產主義者（今日では社會主義者と讀まれてゐる）と、プロレタリアートとの關係を摘出してゐる。前者は後者から離れては何の利害もなく、前者は總ての國に於て勞働階級運動の前衞たるに過ぎない。尙ほ、共產主義者の表明する觀念は、そこらあたりに有りふれてゐる改良家の發明したものでもなければ、發見したものでもない。『彼等は唯だ現存せる階級鬪爭の實際的諸關係、即ち吾々の眼前に起りつゝある歷史的運動の、一般的表現に過ぎない。從來の財產關係を廢絕することは、必ずしも共產主義の特徵ではない。あらゆる過去の財產關係は、絕えず歷史的の轉換を受け、また絕えず歷史的の變化を蒙つてゐる。』共產主義は一般財產の廢止を目的とするのでなく、ブルジョア的私有財產の廢止を目的とする。然して現に社會主義に對する一般的な多くの反對を取扱つてゐる。即ち宣言は曰ふ『諸君は我々が私有財產を廢止しやうとするのに驚いてゐる。然し諸君の此の現在の社會に於て、人口の十分の九は、既に私有財產を失つてゐるではないか。そして其が少數者のために存在してゐないからではないか。故に諸君が我々を非難する所の其の財產の廢止と云ふのは、社會全員の大多數の無財產を必要條件とする所のその財產の廢止なのである。要するに、諸君は我々が諸君の財產を廢絕しやうとするのを非難するのである。如何にも我々はそれを欲するのである。……共產主義は何人に對しても、社會的產物を獲得する力を奪ふものではない。只だ其の獲得に依つて他の勞働を屈服させる其の力を奪ふのである。』

共產主義者に對する哲學的論辯に就いて、宣言は云ふ『古來、思想の歷史が示してゐる所のものは、精神的生產が物質的生產と共に變質するといふ事より外に、無いではないか？或ひは時代を支配する思想はいつでも只だ其の支配階級の思想であつた。或る思想が全社會を革命化したと云ふことは、唯だ舊社會の內部に新社會の要素が發育したと云ふ事實、古い生活關係の解體と共に、古い思想の解體が同一の步調を取つたといふ事實を指すに過ぎないのだ。』

然るに自由とか正義とか云ふ總ゆる變化に生き殘つた所の永久不變の眞理があると云ふことが論ぜられ來たり、また現在に於ても繰返し論ぜられてゐる。これは全く事實である――何故であらうか。過去の凡ゆる社會の歷史は、階

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

級反目の發達であつた。而して斯る階級反目は其れ〴〵の時期に其れ〴〵の形體を取つた。然し乍ら、社會の一部が他の一部を搾取してゐたことは、總ての過去の時代に共通のことであつた。故に社會意識又は社會觀念が失はれたとは云へ、共通の根底の流れが、凡ての階級反目の最終的消滅と共にのみ消滅し得る所の、彼等の總ての者の內に流れてゐたことは、疑ひのないことだ。×××××××××××××××、××××××××××××××××××。從つて其の發展が、傳來の思想と根本的に分離するのは、必然的のことだ。」

第三章は單に改良主義的、反動主義的、及び空想的社會主義の各派の巧みな解說である。（むしろ批判である―譯註）。最後の章は共産主義者が勞働階級の直接の目的の達成のために、また一時的利益の强要のために戰つてゐた間にも決して彼等の眞の目的―即ち勞働階級の完全なる解放――の目標を見失はなかつたと云ふことを指示してゐる。そうして宣言は次の如き歷史的な數言を以て終つてゐる。曰く「共産主義者はその主義政見を隱蔽することを恥とする。彼等は公然と宣言する。××。××××××××××××××××××××。プロレタリアは鎖以外に、失ふべき何物をも持たない。彼等の得べきものは全世界だ。萬國の勞働者、團結せよ！」

この宣言は七十年前に書かれたものだ。そして一小部分を除いては、その一言一句が、一八四八年以前に商工業が發達してゐたより以上に素晴らしく發達してゐる所の今日に於ても、多くの眞理を藏してゐる。勞働階級の發展は、加速度的であつた。確然たる階級的政黨への勞働階級の擴大と、その增加しつゝある意識的政治組織とは、資本家階級及び資本家制度に對する半ば意識的な鬪爭をのみ行つてゐるかも知れないが、たとひ其の指導者の多くが口にはマルクスを攻擊してゐやうとも、本質的にはマルクス主義的であつたのだ。一方に於て、それの進步の比較的遲延と誤謬とは、疑ひもなく大部分は一般社會の、特に勞働階級それ自身の發達の理論に無知なることに因るものとされてゐる。それは又、勞働階級の必死的な敵、即ち全世界の資本家階級との現在の戰ひに、全世界の社會主義政黨の各派をして全力を注がしめた所の精神的錯亂にも因るのである。然し乍ら、マルクス自身は、社會の歷史的法則がその論理的結論にまで、容易に彼自身によつて發見されたものとは決して主張しなかつた。此に反して、如何なる社會の奴隷階級でも、幾世代もの間に滲み込ませられた所の支配階級のイデオロギイや、倫理や、思考樣式や、及び意見を、完全に一掃せしむることは幾多の困難と長い間の歲月とを費やさなければならなかつたのだ。然し乍ら、歷史的必然の法則は、たとひ其れが遲々として居やうとも、正確に進んで行く。そして早かれ遲かれ、總ては勞働者がその首の圍りに掛けられてゐる資本主義の磨石から社會を自由にす

る所の日が來らなければならない。そして其と共に每日貧民窟や工場や、また時々は血生臭き戰場で起つた所の、一切の陰慘及び困窮、一切の淫蕩、罪なき者の殺戮などは消滅せしめられるであらう。かくて吾々は、財寶と戰爭との神へ科學を賣淫してゐたことの羞恥から免がれて、遂に大自然の美及び麗光に接し、一切の人類の共有たるべき科學や、文學や、藝術の隆盛すべき完成を爲すであらう。

八、一八四八年の叛亂

一八四八年二月二十二日、即ち「共産宣言」の發表されて數週の後ち、革命が再び巴里で勃發した。そしてその影響は、全歐洲に及び、ブルッセルに於ても騷亂が起つた。そこで以前にはベルギー政府はプロシア政府に賴まれてもマルクスの追放を拒絶してゐたが、今や追放を敢行した。そこでマルクスは巴里に赴き、そこで暫くの間運動に携はつた。それから獨逸に行つた。獨逸では革命が彼を待つてゐた。彼はケルンに行き、そこで「新ライン新聞」を發刊した。この新聞で非常に活躍した所のエンゲルスは曰つてゐる、「この新聞は無産階級の立場を擁護せる當時の民主主義運動の唯一の新聞だつた」と。この新聞は舊制度とその代表者等に對して、勇猛にして果斷なる行動によつて反對してゐたにも拘らず、反動政府の倒壞は革命的闘爭の終りでなく最初であつたと云ふこと――即ち其れはプロレタリアートとブルジョアジーとの眞の階級闘爭のための道を開くものであると云ふことを、明つきりとは示さなかつた。それは一八四八年の巴里の七月叛亂を明確に援助した。しかし「それは是くして其の株主を殆んど總て失つてしまつた。」數度の計畫の後ち、プロシア政府は、遂にライン新聞の發刊以來一ケ年の後ち（一八四九年五月十九日）、發行停止の命を下した。かくてマルクスは再び追放された。彼は民主主義革命中央委員會からの委任を受けて巴里に行つた。そして叛亂が、佛國及び獨逸の兩方に對して、民主黨によつて計畫された。然し此の叛亂は、主として急進的中等階級の仕事であつて、一八四九年六月十三日に行はれたが、失敗した。かくてマルクスは、フランスを去らねばならなくなつた。そこで彼は家族を伴つて倫敦に行き、そこで彼はその生涯の餘りの部分を止住した。（未完）。

失敗の自由大學

最近、粗製濫造の豫約出版が流行しつゝある折柄、東京に於て、無產者自由大學なる講義式の豫約出版が計畫された。然るに其の計畫者たるや、曩に神戸で『社會智識講習錄』なるものを出し、僅か一二冊出したのみで中絶せしめた者共である事だ。而も自由大學へは申込者少なく、果して講義錄が出せるか出せないか目下の處は當も付かないと、計畫者自身が別懇の者に對して言明してゐる事を見ても、此の計畫の失敗であることは明かだ。

植民政策裏面研究（六）

―かくして弱少民族は滅びる―

金熙明

第四章　植民地の諸問題

一、序說

一民族の集團（國家）が、他の異る民族の集團（國家）を侵略し、之を征服するためには、惡戰苦鬪を必要とする。即ち、征服者ならびに、被征服者の間には、如何なる條件と、妥協があるにせよそこに恒久終熄せざる暗鬪があるのは、資本主義社會に於ける階級存立の理由と異るものでない。資本家の利潤追求に基く擴張的生産に對して植民地はその存續の不可決なる條件を爲すものである。（共産黨宣言）は、この關係を『彼等の生産物に對して絕へず益々擴張さるべき販路に向つての欲求は、地球全體に亘つて有産階級をかりたてる。彼等は到る處に巣喰ひ、到る處に植民し、到る處に連絡を作らねばならぬ』と述べてゐる。かくの如く植民地は、資本家階級にとつて極めて大なる價値を與へるものである。

そこで被征服民族即ち植民地原住民族は、征服者のために經濟的搾取の對象となり、植民地は、征服者の軍事的活動の根據となる。聯邦制度の確保せざる原始社會に於て、民族の自由移住ならびに、無人荒野の開拓の如きその根本精神に侵略と、征服の必要を有せざる自由植民（移住）は、これを問題外とし、聯邦確保による領土擴張の必要と、之が滿足のためにする侵略的植民は、斷へず被征服民族の反逆を高潮し、民族的團結をもつてそれに反抗を試みるのは理の當然で、已に前章に於て述べたるが如くである。こゝに植民地經營の諸問題がある。歐洲大戰亂の結果、トルコの反亂よりを始めて、アイルランド、印度、朝鮮、フイリツピン其他の諸弱少被壓迫民族が、その統治權を有する國家に對し反逆し、一九二七年の三月ブラツセルに於ける世界弱少民族反抗大會の如きは、植民地原住民族の、死活の運命を左右すべき重大な問題である。

一度強國の植民的侵略を蒙れば、あらゆる社會的現象は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自民族にとつて極めて不利に、滅亡の途程に變化を來たすのである。そこには、自民族にとつて意義ある文化も、藝術も、教育も、宗教も、産業も、法律もなく無意味な制度に强制される。それは壞滅の挽歌である。農村は、荒廢し（原住民族の生活として）、都市に於ては追放が行はれる。土地は奪はれ、職業は奪はれて仕舞ふ。やがて彼等は、その國土を明渡して驅逐の破目に遭はねばならない。之が植民地の眞相である。之が人類の重大な問題でなくて何んであらう。その眞相に就て詳論するであらう。

二、産業と經濟

植民政策が、强者の弱者に對する支配と、搾取のそれである以上政治上に於て、本島民と、植民地原住民の間に差別制度の設けられるはもとより、産業と經濟上に於ても獨裁が行はれ、搾取が敢行される。即ち植民地は本國のための生産品原料採取の栽植地に利用せられ、なほ本國に於ける生産品販賣の販路として有意な役割りを演じる，それ故に植民地原住民は、征服者の資本のため企業、利權、商業權を剝奪せられ、植民地に於ける經濟界は總て之が征服者の掌中に集中し、企業は彼等の獨占となる。

植民地に於ては、銀行、會社其他の商事權が總て征服者側にあるもので、原住民の自給的生産は之か、本國生産品の販路に影響するを以て法權で之が禁止せられてゐる。即ち朝鮮の如き、往年國産品（朝鮮をいふ）奬勵を當局は之を阻止して、日本より移出する需用品を購入せしめるやう强制するのである。英國に於ても同じく印度に於て採取せるコーヒは、再び印度人に賣捌くといふ工合になつて居り、印度人は全く彼等のために剩餘價値を搾取せられてゐる。往年印度に勃興したガンヂのスワラジ運動は、經濟上に於ても必然的に起らねばならぬ問題であつた即ち一英國と印度とは、その地理的風土的條件に於て遥に相違がある。故に印度には、印度の經濟が起らなければならないといふのである。かくして彼が印度のための經濟、眞に印度的なる經濟政策として立案の採用したのは、即ち農業と手紡ぎの奬勵とであつた。そして一方外貨のボイコットに依りスワデシ（國産綿布使用）を確立し、漸次に全くの物資の自給自足を計らんとするのである。その根本基調となるものは村落生活を讃美し、工業主義の排斥絶滅其者に外ならないのである（鹿子木員信氏、饒平名智太郎氏共著「ガンヂと眞理の把持」P一二六）これは、英國の印度にとつた搾取政策を客觀的に證明するものである。かくして植民地は、征服者側の海外市場となり、利權となる。從つて植民地原住民は、征服者側の資本に壓倒され一大階級制御を確守することになるが、原住民族の無産化、奴隷化は、即ち征服者の利潤と、搾取に比例する。故に植民地に於ける經濟産業狀態は、凡て之が獨占され、被搾取側にとつては、常に恐慌であらねばならない。

朝鮮について見ても朝鮮民族は、その生活根據を農業に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

求め、朝鮮は農業國である。朝鮮に於ける農民は、全人口の約八割を占め、農業生產品は全生產額の約八割に該當し、農產物ならびにその加工品の輸出高は、總額の約七割を算してゐる。而して農業上の組織は、主に耕作農業であつて、耕作面積は、約四百五十萬町步ある。その中主なる作物は米作で、米の產額は、總督府の統計によると、一九二一年產額が約一千四百萬石である。しかし事實上に於て、米作其他をするのは、鮮朝人であつて、利得を得るのは、東拓其他の日本人資本家階級で、いまや完全に朝鮮に於ける產業經濟ならびに諸利權は、日本人の掌中に把握されてゐると云つても好い。

三、開拓會社

植民地經營の經濟的搾取機關は、即ち開拓會社である。開拓會社は、已に前章近世植民史の項に於て述べた如く政府直營のものに係り、總督府と同一要務をなすものである、即ち開拓會社は、總督と內務大臣の命令に依り、植民地の產業及び經濟の主權を原住民族より奪ふべく活動する。

開拓會社は曾て英國が米國を開發せしとき始つたもので印度を領有にしたのもこの政策に基くものである。一時この制度は、世間より排斥せられたが最近三十年來この制度は、列國の競ふて採用するところとなり、目下は植民史上開拓會社復興期と云つても差支なからう。即ち一八八一年以來、左の如き植民會社があつてそれぞれ植民地の政權を享有した。

一八八一年—英國北部ボルネヲ會社
一八八六年—英領亞弗利加ロイヤル・ナイジヤア會社
一八八八年—イムペリアル・ブリチツシユ・エイスト・アフリカ會社
一八八九年—英領南亞弗利加會社
一八八五年—白耳曼ニウギンネヤ會社
一八八五年—白耳曼東亞弗利加會社
一八九四年—ポルチギース・モサンピーク會社
一八七九年—萬國コンゴー植民協會

日本は、一八九六年—臺灣を支那より占領し、一九〇七年樺太を露西亞より讓り受け、一九一一年朝鮮を併合して、右の政策に基いて植民政策に活動してゐる。即ち朝鮮に於ける東洋拓殖會社は、一九一一年以降朝鮮及滿洲に開拓に着手して、眼覺しき活動を爲しつゝある。現在朝鮮に於ける最大地主は、東洋拓殖會社であり、大金持ちは、朝鮮銀行並びに朝鮮殖產銀行である。之は何れも總督府と結托して朝鮮に於ける產業經濟界を綾釣り、搾取に吸々としてゐる一種の開拓會社である。東拓は、創立後僅か十幾年間に於て完全に朝鮮を蹂躙することに成功した。即ち一九二二年の東拓の所有地は、その面積が約八萬五千町步餘りであつたが、一九一〇年のその所有面積に比して約七倍の增加を見てゐる。この大面積を有してゐる東拓は、小作人の利害休戚を少しも顧みず、單に惡地主の模範となるべき計劃は

かりを企てゝゐる。移民計劃及び産業資金の貸付は最とも罪惡的標本といふべきで、朝鮮人は、東拓移民のため年々耕作地を奪はれなければならぬのである　またその産業資金運轉方法に於てみても、東拓は大體に於て朝鮮地主階級に消費資本として貸付け、産業問題は以ての外で、只擔保品の多寡のみに熱中するところは、高利貸と何等選ぶ餘地がない。大正十三年九月現在の調査に依ると、その移民戸數は三、八六七戸で、その人口は、約一六、五〇〇人を算してゐる。東拓の移民案内を左に掲げて彼等のとつてゐる計畫の内容を窺ふことにする。

朝鮮統治の要諦は其文化の促進と内鮮人の融和同化に在り、而して文化の促進と内鮮同化の方策は多數の内地人を移住せしむるを捷徑とす、然るに朝鮮の産業は農業を本位とし、其土地は利用開發の餘地に富み、人口の密度は優に現在人口の二、三割を增加し得る餘地あり、故に我が會社は拓地殖民の計を立て年々内地の堅實なる農業者を朝鮮に移植し、以て鮮人との親和接觸を保たしめ之によりて地方に農事改良の模範を示し地方開發の指導に當らしめつゝあり其招致せる戸口は必ずしも多しとせざるも現在朝鮮に於ける内地營農者の四割を占め其地方文化の促進に貢献し内鮮人の同化融和に寄與する所鮮からざるを信ず更に從來の經驗に鑑み今後は二町歩自作農たる第一種移住者の募集を中止し成るべく五町歩地主農たる第二種移住者を招致し從前よりも一層素質を精選しより以上の資力と智識經驗とを具備せる堅實なる人物を移植せんとす内地人の移植に對しては往々鮮人間に多少の誤解なきにあらざりしも近時漸く我が社移民の趣旨の理解されて内心其來往を歡迎するものあるに至れるは朝鮮拓殖上寔に慶ぶべきなり我が社の移住者たらんとするものは必ずや移住地方の先覺者として鮮人の指導誘掖に努め地方の産業開發と文化の促進とに貢献し以て殖民事業の達成に寄與せんとするの覺悟なかるべからず

右の如き東植の移民誘導は、遂ひに朝鮮人勞働者を海外に驅逐せずにはおられなかつた。その結果日本内地に漂浪してゐる朝鮮人勞働者のみでも十萬何千を以て算じ、滿洲露領方面に逐はれたものが二十萬二千人位いある。之によつても東拓移民の結果が、如何に末恐しきものかを察するであらう。

マルクスは、『英國東印度會社の巨利に就て左の如く記述してゐる。「英國東印度會社は人の知る如く東印度に於ける政治的權力の外に茶貿易並に支那貿易一般及び對歐羅巴貨物運送の獨占權を有した。然るに印度の沿岸及び島嶼間の航海、ならびに内地貿易は會社の高級役員の獨占となつた。鹽、阿片、キンマ、其他の商品は掘れども盡きぬ富の鑛山であつた。役員自ら價格を定め好むがまゝに不幸なる土人の利益を害した。總督も亦この個人的商賣に加はつた。その氣に入りの部下の得たる契約の條件は彼等をして錬金術よりも巧みに無より金を生ぜしめた。大財産は菌の如く一日にして生え出で富の原始的蓄積は一志の支拂も要せず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

して成就した。該會社及びその役員は、一七五七年より一七六六年に至る間に印度人より六百萬磅をたゞ取りにした」と。(Marx. K. Das Kapital. Bd. I. (Volksausgabe) S. 50. 註 41.)

右は正に植民地搾取の眞相を傳へたもので、日本の朝鮮に於けるそれと何等變るところを見ないのである。

四、マーカンテルシステム

マーカンテルシステム (Merchantile System) と、植民地の發達關係は密接にして、離すことの出來ない問題である。

アダムスミス (Adam Smith) その著、Wealth of Nations にマーカンテイルシステムと植民地を評して曰く、「ムンが (mun) その著書に題した一外國貿易に於ける英國の財貨」(England's Treasure by foreign Trade.) なる語は、單に英國のみならず總ての商業國の經濟政策上重要なる格言である」と。當時の政策は、只外國商品を消費するよりも、內國品を外國に輸出することの多額であることを望んだもので、政治家の常に頭腦を痛めたのは、即ち如何にして輸出を超過させるべきかの問題であつた。而してこの目的を達せんがためには、工業家の利益に注意し工業家を以て管國富の源泉であるが如く見做すと、同時に內國の消費者に對しては、何等の考慮を費さず全くその利害を無視したこれ蓋しアダムスミス等の反對を惹起し又現在に於て學者が之に反對する所以である。アダムスミスは、「植民地創設の動機、發達、原因及びその利益」を論じて曰く「輸出は、本國の商人及び商品に對し特別なる待遇を與へ、もしくは專賣權を附與せる植民地の創設と、マーカンテルシステムとに於て增加せられる」と唱導した。實にマーカンテルシステムは、植民地創設の根本原因と、その經濟組織に直接關聯を持つものである。

プハーリンは、その著「帝國主義經濟論」に於てマーカンテルシステムは、外國市場を侵略する民族的資本であることを唱へてゐる。

シュモラー (Schmoller) は、その著 The merchantile System に曰く「マーカンテルシステムの眼目は、貨幣を重んじ貿易の平衡を重ずることにあらず、保護税を課し、航海法を制定することにあらず、更に遙に深遠な所にある。乃ち社會と、その組織と、國家と、その制度を改革し地方的若くは國地的經濟政策に重きを置き國際競爭に對して國家的商業を基本として之を保護するには、むしろ自然的政策なりしが如し而かも當時に於て果して善良なる政策たりしや否やは攻究せざる所なり」と。

マーカンテイルシステムは、商業貿易の自由に次の如き制限を加ふるものである。即ち

一、貨物を植民地に輸入し、若くは植民地より輸出するには、只本國もしくは植民地に屬する船舶によるべきこと

二、植民地より本國の市場に對する輸出には制限を附す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ること。

三、本國の貨物は、植民地の市場に於て、專賣權を有すること（貨物により專賣權を附與して保護する上に於て厚薄あり）

四、植民地の生產物も、亦本國の市場に於て多少特別なる取扱を受くること。

五、植民地に於ては、本國の工業と競爭して、その發達を害する如き工業を興す可らざること。

右は主に英國に於ける制度であつたけれども、其他の國家に於ても之を實行したことは勿論、現在に於ても、日本（朝鮮に執れる產業經濟政策は、とりもなほさずこの主義に依るものである。

マーカンテイルシステムは、經濟思想の幼稚な植民地に桎梏を與へたことは云ふまでもないが、その反面被搾取階級の反抗と、民族的團結心を助長する最大原因となる。即ち印度に於けるガンヂのスワデシ運動ならびに、朝鮮に於ける內國產奬勵運動は、正にその好例であらう。

五、勞働問題

西班牙人が、西印度諸島に植民したる昔よりヨネスブルグの金鑛に就て、作亂のあつていまに至るまで絕へず植民地民族の頭腦を惱ましめたのは、勞働問題である。殊に現代の如く、階級鬪爭が旺盛となり、勞働階級の國際的團結が行はれる今日、植民地に於ける勞働問題は更に複雜性を有するものである。

白人は、植民地富源開拓に必要なる勞働力を、奴隸制度に於て之を遂行して、即ち一、五〇三年頃西印度に於て奴隸制度の萠芽を見、奴隸の賣買がアフリカと、アメリカとの間に行はるゝに至つたのは、稍降つてラカサスの請願がチヤールス五世に依て嘉納せられた頃にして、その制度を創設したのは西班牙人であつたけれども、それを完成に至らしめたのは葡萄牙人であつた。しかれども十六世紀十七世紀頃、白人の黑人に執りつゝある奴隸制度に反對思想が勃興し、これを人道問題上の最大罪惡であると罵るに至り後遂に奴隸の解放を見るに至つた。これは、單に植民地問題のみにあらずして、眞に人類の問題として歷史的罪惡でなければならぬ。

ロードストーエルの云へし如く「奴隸は、實に商業上の利益の源泉にして、植民地の富力は全く奴隸使役の結果である」

亞細亞に於ては、勞働上に於て奴隸と同じき苦力階級を發生せしめるに至つた。即ち苦力は植民政策のため自國に棲住權を奪はれた勞働者階級で主に支那人及び印度人に多いのは、支那印度が歷史上古く植民政策に惱んでゐることを證明するものである。この意味に於て、朝鮮は稍々淺き歷史を有するものであるが、苦力階級と何等變りのない朝鮮人勞働者階級が、日本內地の到る處ならびに、滿洲支那諸方に漂浪してゐるのは、植民政策の必然的歸結とみて好

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いのである。

更に近世資本主義の制度に基く國內的勞働問題即ち朝鮮の例に依つてみても、東洋拓殖會社移民は、朝鮮農民の生活に一大脅威を與へ、勞働者を農村より追放せしめるのは、已に前項に述べた通りで、都會工場勞働にしても、優先權が日本人勞働者に賦與してある以上日本勞働者就職の朝鮮勞働者の（朝鮮內地に於て）間に葛藤の生じるのは必然的な結論としなければならぬ。假りに朝鮮に於ても之は、如何なる產業政策及び勞働者救護策が講ぜられたにしても日本勞働者（移民）への便宜でありその擁護手段に過ぎぬ。何故なら若しその勞働者救護策が果して朝鮮人のための政策であり、救護であつたら、彼等の取りつゝある植民地政策の根本問題に違反する理由のものでなければならぬから

かくして植民地に於ける勞働階級は、[illegible]され、[illegible]される。しかし我等は、その反面に於ける無產階級の階級的結成と、政治的反抗の助長を見、更に國際無產階級の責務を大成すべき前衛分子であることを植民地原住勞働者階級に認めるものである。

六、文化と思想問題

（イ）教育

教育は、植民政策中最とも重要なる位置を占むる要件で、同化主義に基ける場合に於ては、殊に之が前提的重要性を有するものである。即ち植民地に於ける教育は、植民地經營に妨げなきやう原住民を服從させる最大武器である。教育方針として、征服者は、被征服者に向て同一國語を強ひ原住民族の文化、思想、歷史を抹殺して、植民者のそれを強制する。即ち植民地に於ける教育の一般は、植民地原住民族の精神的侵略である。

いま朝鮮に於ける一例をもつてしても、朝鮮に於ける教育の現狀は、精神上の侵略であるといふモットが、露骨に現はれてゐるのである。即ち朝鮮に於ける學生は、日本語を主とし、日本歷史、日本文化を主として授けられ、朝鮮民族としての傳統的文化、藝術、國文、歷史、風俗、習慣は、暫時姿を秘め日本の文化諸現象が、朝鮮の地上に築かれつゝあるのである。從つて言論集會の自由ならびに、政治、行政上の參與權は、更に拒否されてゐる。

「朝鮮歷史朝鮮地理を主とする教科目を存しないのである。私は朝鮮普通學校の授業を參觀し朝鮮人の兒童に對し日本語を以て日本歷史を教授するのを見、心中落涙を禁じ得なかつた」（矢內原忠雄氏「前揭書」P四〇二）

試みに朝鮮に於ける日本人及び朝鮮人の兩者間に於ける教育上の差別を、左に揭げて參考に供するであらう。（大正十三年現在）

日本人四十萬のためには、中學校の數が七校、學級が六九、教員數が一七二人で、高等女學校の數が十三校、學級數が八二、教員數が一八四人であり、（六十五頁へ續く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸の勞働運動

淺野研眞

第一節 序説

英國や佛蘭西に比しては、獨逸は比較的遲れて、近世的舞臺に現れた新參ものである。即ち思想的には、フランス革命の思想的影響、及びフランスの初期の社會思想に、多くの影響を受けた。また經濟的には、英國の產業革命の影響と、その植民政策とに多くの影響を與へられた。然し此の後進國たりし獨逸も、その國民性の着實、謹勉なるのと、ビスマーク時代の極端なる帝國主義的富國策とによつて、次第に歐洲の一大强國となり、資本主義の飛躍的なる發展を來した。而して其の歸結は、歐洲大戰であつたことは云ふまでもなからう。

かく獨逸に於ける資本主義の發展は、必然的に其處に近世的プロレタリア運動を發生、發展せしめた。而して其間、多くの理論家、實際家を生み、以て世界のプロレタリア解放運動に向つて、多くの暗示と指導とを與へた。ラッサール、マルクス、エンゲルス、リープクネヒト父子、ベーベル、ベルンシュタイン、カウツキイ、等々は、多かれ少かれ、全世界のプロレタリア運動に向つて、影響を持つたものであつた。そして彼等の母國たる獨逸における運動が、國外に相當の流れ、及ぼしたことも否定し得ない。然し大戰の終末に於ては、却つて逆輸入的に、ロシア革命の影響を受けて、甚だしく地味ではあつたが、一つの革命を成遂した。

以下、吾々は、簡單に此の國に於ける勞働運動の主流を眺めて行かう。

第二節 初期の勞働運動

獨逸に於ける初期の勞働運動は、他の諸國の其れと同じやうに、少數の社會思想家によつて行はれたものであつた。この先驅者の運動は、主として一八四〇年代に初まる。即ち當時は主として、ヴァイトリング（一八〇八——七一）による宣傳運動があり、又次いでヘッスや、グルュンなどの運動もあつた。然し此等の人々の宣傳運動は、主としてフランス流の「手工業者的社會主義」であつたと云はれてゐる。

　また古くはフイヒテや、後にはロードベルッスの如き、優れたる理論家も輩出してゐる。然し此等の人々は、所謂「書齋派」の人々で、實際運動には殆んど交渉がなかつた。

第三節　歐洲大戰まで

一、ラッサールの運動

　獨逸に於ける勞働運動は、具體的な事象としては、ラッサールの運動に初まると云はれてゐる。少くとも實際運動の上に、最初の大きな足跡を印したものは、彼れフェルジナンド・ラッサールであつた。即ちラッサールは、一八六三年五月二十三日を以て、ライプチヒに大會を開き、全獨逸勞働者同盟（All-gemeiner deutcher Arbeiteroelein）を創設した。この團體こそは、獨逸に於ける最初の有力なる勞働運動の主體であつた。然し此の同盟は、その「綱領」も極めて簡單で、普通選擧の實施の如きを目的とせるものであつた。即ち曰く、

「全勞働者同盟の名の下に、獨逸聯邦内に於て、一つの同盟を創立する。そして平等、直接、普通選擧を通じてのみ、獨逸勞働者階級　社會的利益の充分な代表と、社會に於ける階級對立の眞の撤廢とが實現され得るとの信仰から出發して、本同盟は平和的にして合法的なる方法によつて、殊に輿論を說服することによつて、平等、直接、普通選擧の確立に努力せんとする。」

　然し此の同盟は、創立の次年、即ち一八六四年に、不時の死によつて指導者ラッサール其人を失つた。此の時、會員は四、八一〇人の僅かな數であつた。次いで此の同盟は、困難で、不安な幾年かを經驗した。そして其の指導的人物は、ラッサール——ベルンハルド・ベッカー——フォン・シュバイツエルの傳承を辿つた。そして最後にゴータ大會（一八七五年五月）に於て、マルクス派と合同して、社會民主主義黨を形成したが、そのことは後に述べやう。

二、アイゼナハ大會

　やがて獨逸の勞働運動には、新しき生命が吹き込まれて來た。それは故國を追はれて英京ロンドンに詫び住ひをして居たマルクスの思想的影響が、獨逸の勞働運動の實際の上に具現され初めたことであつた。そして其の結果として、アイゼナハに於ける一八六九年八月七日——九日の大會に於て、社會民主勞働黨が創立された。

　此の黨は、勿論、マルクス主義を採用した。即ち此のアイゼナハ大會に於て採擇されたる所謂「アイゼナハ綱領」

一八六九年）は、次の如きものであつた。

社會民主勞働黨綱領

一、社會民主勞働黨は自由民衆國家の建設を以て目的とする。

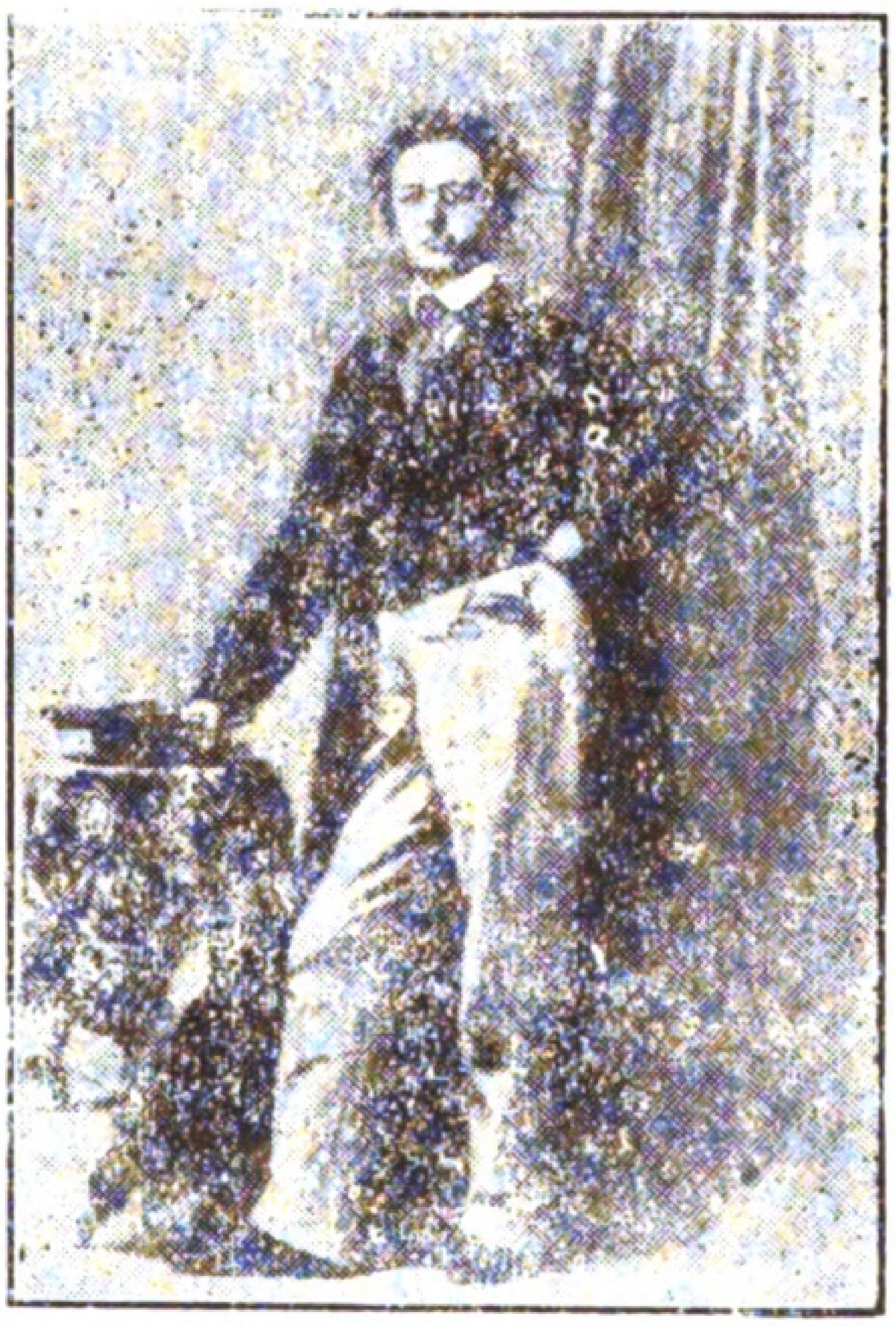
二、苟も本黨の黨員たるものは、全力を盡して以下の諸原則に對して責任を負はねばならぬ――

（一）今日の政治的及び社會的狀態は、不當極まるものなるが故に、全力を擧げて之と戰ふこと。

（二）勞働階級解放の戰は、階級的特權や優先權のための戰ではなく平等なる權利と平等なる義務のための戰であり、一切の階級支配撤廢のための戰であること。

（三）勞働者が經濟上、資本家に賴つてゐることが、種々の形態に於ける隷屬の根本であるから、社會民主黨は相互協力して現今の生産方法（賃金勞働制）を撤廢し、以て勞働全收の目的を達すること。

（四）政治的自由は勞働階級を經濟的に解放するが爲には、到底缺くべからざる先行條件である。故に社會問題と政治問題とを切り離すことが出來ない。社會問題の解決は、此の問題の解決を條件とし、從つて民主的國家に於て始めて可能であること。



ラッサール

（五）惟ふに、勞働階級の政治的及び經濟的解放は、勞働階級が協力一致して戰つて始めて達せられるのであるから、社會民主勞働黨は、一の統一的組織に服すること。但しそれは又、各人をして全體の福祉のために銘々充分に貢獻するを得しむるが如き組織であること。

（六）惟ふに、勞働の解放は、地方的問題でも、又國民的問題でもなく、それは全く凡ての近代文明國家を包括する一の社會的問題であるからして、社會民主勞働黨は、組合法の許す限り、國際勞働者協會に協力して、その一部門たることを承認すること。

三、以下の諸項は、社會民主勞働黨の運動に於て、最も緊急なる要求として主張すること。

（一）帝國議會、各部議會、州縣會、市町村代表、その他一切の代表機關の選擧のために、二十歳以上の凡ての人に對して、普通、平等、直接、及び秘密の選擧權を賦與すること。

（二）人民による直接なる立法（卽ち提案及び否認の權利の創設）。

（三）身分、財產、門閥、及び宗派の一切の特權を撤廢すること。

（四）常備軍に代ふるに國民軍を以てすること。

（五）教會を國家から分離し、學校を教會から分離せしむること。

(六)小學校に於ける義務教育及び一切の公立學校に於ける無償教育。

(七)裁判所の獨立、陪審裁判所及び特許產業裁判所の開設、公開にして口頭の裁判手續の制定、及び無料の司法。

(八)一切の新聞法結社法、及び集會法の廢止、標準勞働時間の創定、婦人勞働の制限及び幼年勞働の禁止。

(九)一切の間接稅を廢止して、唯一つの直接にし、累進的なる所得稅及び相續稅を起すこと。

(十)消費組合制度の國家的獎勵及び民主的擔保の下に自由生產組合に對する國家的貸附け。

以上、アイゼナハ綱領の全文である。而して此の政黨運動の首唱者は、かのヴイルヘルム・リープクネヒト(一八二六—一九〇〇年)、及びアウグスト・ベーベル(一八四〇—一九一三年)の兩者であつた。そして此の黨は、今や獨逸に於ける中心的な勢力たらんとしつゝあつた。またインタナショナル(第一)にも加盟し、そのバーゼル會議(第四回大會)にも代表者を送つた。

× × ×

然るに此の間に於て、獨逸の資本主義は極度の發達を來し、英佛との資本戰に於て有力なる地位を得て來た。これ主としてビスマルク等の帝國主義政策によるものであつた。卽ち彼は獨逸聯邦を結成し、產業政策と社會政策とを併用した。そして普通選擧も行はれた。然し初めの間は選擧に於ける社會黨の勢力は、甚だ微弱なものであつた。一八七四年の選擧に於ては、漸次的に強大な勢力を得つゝある事を示し、三十四萬の投票を得て、九名の議員を選出することを得た。

マルクス

三、ゴータ大會

此のマルクス派たるアイゼナハ派は、當時シュバイツエルを主盟とするラッサール派との間に、實際的な運動の差異が極めて僅かであつたのと、所謂共同戰線を張ることのより有利にして必要なるために、兩派の合同が劃策された。

そして、一八七五年五月廿二—廿七日のゴータ大會に於て、終に兩派は合併され、玆に新たに「獨逸社會主義勞働黨」なる名の下に結成された。これ後ちに「獨逸社會民主黨」となるものである。

而して此の時に採用された黨の綱領こそは、有名なる所謂

謂「ゴータ綱領」であつた。繁を厭はずその全文を玆に引かう。

獨逸社會主義勞働者黨綱領

ゴータ、一八七五年八月

一、勞働は總ての富、總ての文化の源である。そして一般に有益な勞働は、社會によつてのみ可能であるのだから、勞働の生産物は社會に、即ち社會の全員に屬し、その全員は、一般的勞働義務を負ひ、各自相當の慾求を充たすべき平等の權利を持つ。

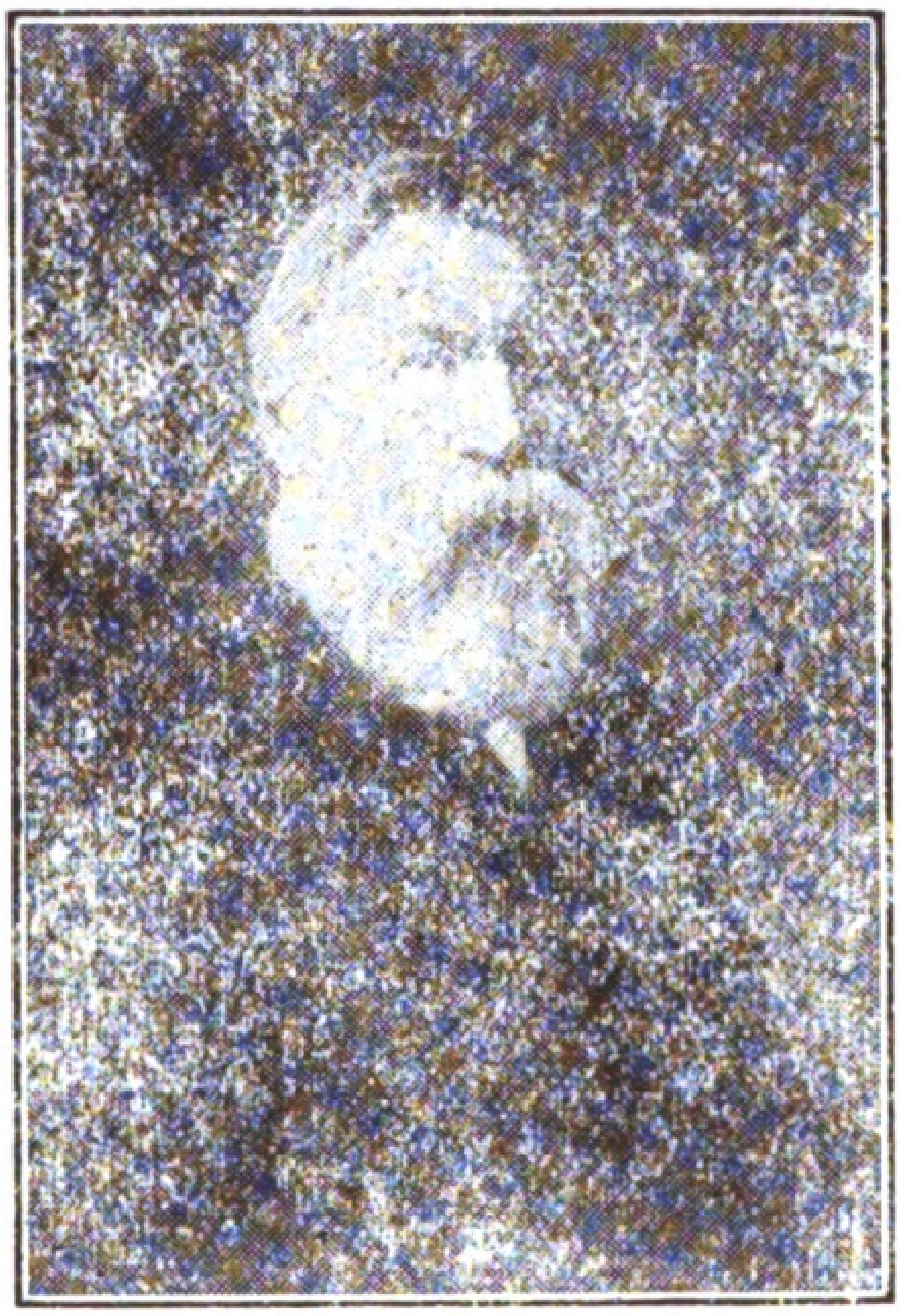
今日の社會に於ては、勞働機關は資本家階級の獨占である。その結果として生じた勞働階級の從屬が、あらゆる形式に於ける貧困と屈從との原因である。

勞働階級の解放のためには、勞働機關を社會の共有財産に轉換すること、及び社會の全勞働が組合的に處理し、その勞働收得を共同の利益のために使用し、及び正當に分配することが肝要である。

勞働の解放は、勞働階級の事業でなければならぬ。之に對立する總ての他の諸階級は、只だ一個の反動群である。

二、これらの原理から出發して、獨逸社會主義勞働者黨は、あらゆる合法的手段によつて、自由國家及び社會主義社會の建設、賃金勞働制度の廢止による賃金鐵則の破壞、あらゆる社會的及び政治的不平等の禁絶に努力する。

獨逸社會主義勞働黨は、先づ國家の域内に働くけれども、勞働運動の國際的性質に就ては、充分に自覺してゐる。そして其のために勞働者に課せられたる總ての任務を大膽に遂行して、人類同胞の實を擧げることを期する。



エンゲルス

獨逸社會主義勞働黨は、社會問題の解決の道を開くため、國家の補助による、そして勞働民衆の民主的管理に屬する、生産組合の設立を要求する。この生産組合の中からして總合勞働の社會主義的組織が發生するほど、それほど盛んに此の組合を、工業及び農業の間に設立さすべきである。

獨逸社會主義勞働黨は、國家の基礎として、次の如きものを要求する。

一、國家及び地方團體に於ける總べての選擧並に投票に對する二十歳以上の總ての國民の、無記名にして義務的なる投票をもつてする所の、一般的、平等的、直接的の選擧及び投票權。選擧又は投票の日は、日曜又は休日たるべきこと。

二、國民による直接立法。國民による戰爭及び講和の問題の決定。

三、一般的兵役義務。常備軍に代へるに國民軍を以てすること。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、あらゆる特別法、特に言論、結社、集會に關する法律、及び一般に思想と研究との自由を制限する總ての法律の廢止。

五、國民による裁判の監督。無料裁判。

六、國民による一般平等の國民教育。あらゆる公立學校に於ける無料教育。宗教は個人の私事たるべきこと。

獨逸社會主義勞働黨は、現存社會の埒内に於て、次のことを要求する。

一、前記の諸要求の意味に於て政治上の權利と自由とを最高限まで擴張すること。

二、國家及び地方團體の費用のためには、單一累進所得税を以てあらゆる現今の租税、殊に國民の重荷となる間接税に代へること。

三、無制限の團結權。

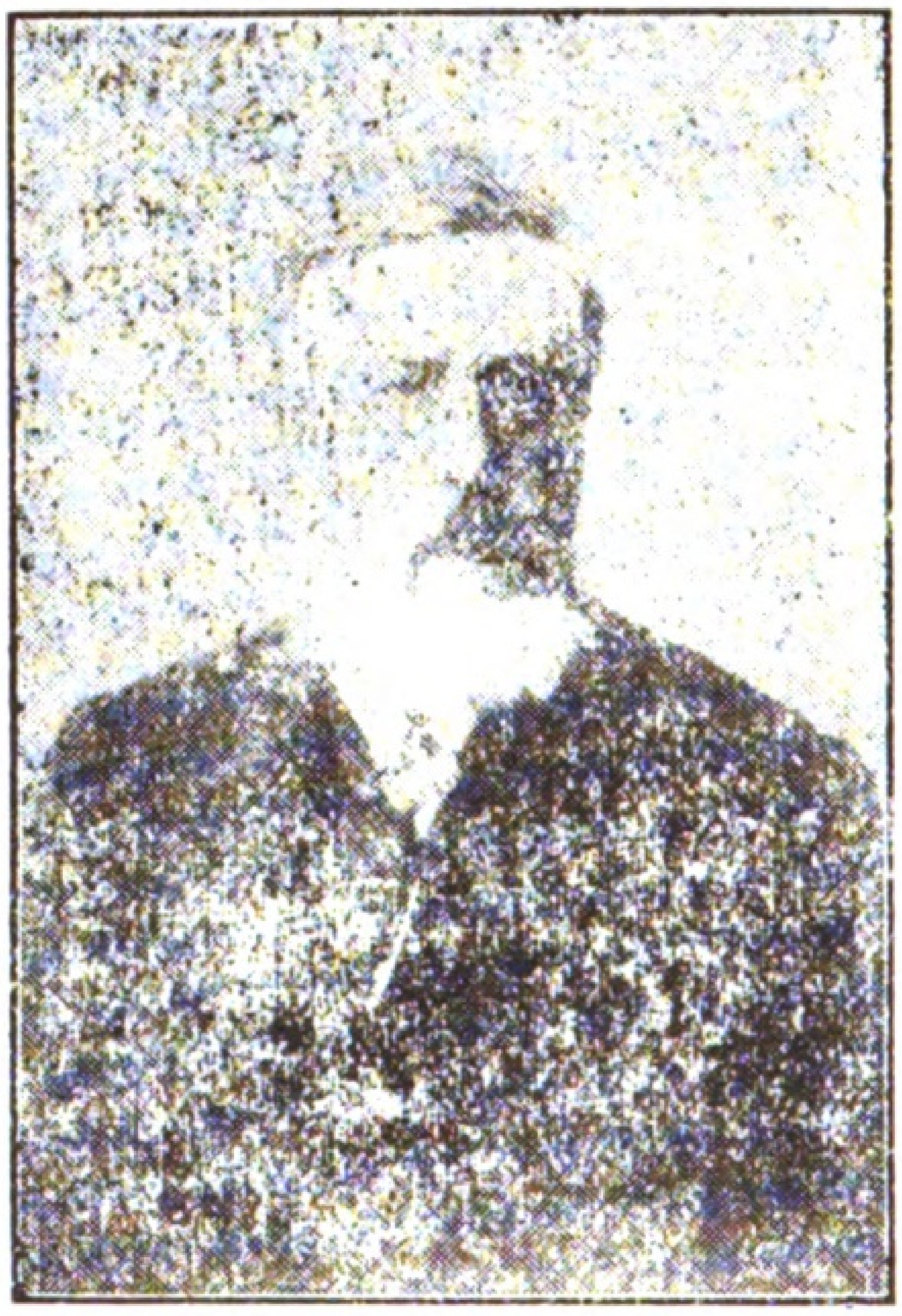
四、社會の需要に相應する標準勞働時間制。日曜日勞働の禁止。

五、幼年勞働及び健康と道徳とに有害なる婦人勞働の禁止。

六、勞働者の生命と健康とを保護するための法律。勞働者住宅の衛生上の取締。勞働者が選擧したる官吏による鑛山、工場、職場及び家内工業の監督。有効なる雇傭者責任法。

七、監獄勞働の規定。

八、あらゆる勞働者扶助及び扶養基金の完全なる自治的管理。



父リープクネヒト

以上がゴータ綱領の全文である。此の綱領の草案を見て當時、ロンドンに亡命してゐたマルクスは、彼の一派が、此の大會に於て甚だしくラッサール派に妥協したことを、痛く不快に思つた。そして之に對して手ひどき攻撃を加へた。その文書は數年の後ちに至るまで發表されないでゐた。と云ふのは、折角の合同を破るであらうことを恐れてであつた。即ち、かの「ゴータ綱領批判」が其れだ。當時ヴイルヘルム・リープクネヒトは、「マルクスも貴いが、黨は一層貴い」と云つて、その苦衷を物語つてゐる。

さて、一八七七年の總選擧には、この聯合黨の投票數は、實に五十萬に上つた。この成功は彼等に精力と大膽とを加へ、その宣傳を促進せしめ、全獨逸を振駭せしめた。

次年、一八七八年には、カイゼルに危害を加へんとしたものが二名も出た。然し此等の者は何等社會黨には關係なきものではあつた。然し支配階級は之を絶好の口實として、ビスマルクをして所謂『社會黨鎭壓令』(Sozialistengesetz 1878－1880)なるものを通過せしめた。その内容の一班を示すならば、次の如きものであつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義者法（抄錄）

第一條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的計畫を以て、國家又は社會の現存秩序の破壞を目的とする結社は、之を禁ず。

斯る計畫の下に、平和、殊に階級間の調和を害する如き結社は又これに準ず。

第九條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的傾向を有し國家又は社會の現存秩序を破壞する所の集會は、解散せられる。

（中略）

祭禮並に行列にして、此の傾向あるもの亦之に準ずる。

第十一條　社會民主主義的、社會主義的、又は共產主義的傾向を有し、國家又は社會の現存秩序を破壞し、平和、殊に階級間の調和を害する所の印刷物の發行を禁す。

定期刊行物なる場合には、一度び此の法律の下に禁ぜられたる際には、その後の發行をも禁ずることを得。

第十六條　社會民主主義的、社會主義的又は共產主義的計畫にして、國家又は社會の現存秩序を破壞せんとする計畫を更に進むるための金品給與、並に斯る金品給與を進んで一般に慫慂することは、當局により禁止せらる。

かくして此の惡法は、一八七八年から、一八九〇年までの十二年の間、獨逸のプロレタリア解放運動に、可なりな打擊を加へた。そして外見的には、少くとも一時は、勞働運動は不振であつた。然し其れは、文字通りに外見的なる不振であつたに過ぎなかつた。即ち僅かの間に投票數は再び增加した。一八九〇年の投票數の如きは、四十二萬七千に達した。而して此年、黨名は改稱せられて「獨逸社會民主黨」(Sozialdem · ratischen Partei Deutschland)となつた。そして黨は次第に發達し、歐洲大戰までの數字は、次表の如くに示されてゐる。（カーカップ「社會主義史」三一〇頁より引用）。

年次	社會民主黨投票數（第一投票）	總投票數に對する百分率	社會民主黨選出議員數
一八七一	一二四、六五五	三・〇	二
一八七四	三五一、九五二	六・八	一〇
一八七七	四九三、二八八	九・一	一二
一八七八	四三七、一五八	七・六	九
一八八一	三一一、九六一	六・一	一二
一八八四	五四九、九九〇	九・七	二四
一八八七	七六三 一二八	一〇・一	一一
一八九〇	一、四二七、二九八	一九・七	三五
一八九三	一、七八六、七三八	二三・三	四四
一八九八	二、一〇七、〇七六	二七・二	五六
一九〇三	三、〇一〇、七七一	三一・七	八一
一九〇七	三、二五九、〇二〇	二八・九	四三
一九一二	四、二五〇、三二九	三四・八	(1) 一一〇

(1) 一九一三年七月の補缺選擧で今一人が選出されたから合計一一一名となつた。

尙ほ此の間、一八九一年には、エルフルトに於て大會を開き、明解なる綱領を發表してゐるが、其に就ては次に述べるであらう。（未完）。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現實を打破せよ

赤木龍

現代社會は云はず共産黨の世で有り×××××有り難い天下である。又一方から言へば、初から終りまでが法律の法文にて作られて支配されてる恥ずべき社會の現狀である。故に、人間の個性を生かす事も出來なければ本能を發揮させる事も出來ない不可思議なる社會だ人間の生きんとする本能と及び個性は根本から彼等支配者とは到底一致し妥協し調和して行けるものでは無いのだ。かりに出來たとしたらそれは强制されて已む無く盲從したに過ぎぬ。如斯き社會に有りては如何程時代が變っても尊い政治（國民を瞞着して懷をこやす）が行はれても無産大衆の生活上や又は自由とか幸福と云ふものは少なくて大部分は奴等の犧牲に成るのみだ。

現今の俺達の自由は支配者の搾取と××とによくするの自由であり、又俺達の幸福は困苦と貧窮な現實の生活に當面する事の出來た幸福であるのみで過去三千年來續けられてゐる搾取は俺達兄弟を如何ばかり困苦に陷入れしことか。其の爲めに今までに幾多の犧牲者を此の世から葬り去りし事か又悲慘な幾多の慘劇と幾多の悲劇とを犯して種々の罪名のもとに罰せられて暗い牢獄に送られた事だらうか。景氣に成ればなる程、人々が增加すればする程、一般無産者の生活は困苦に犯罪は日增し增加する日々發行される新聞の記事よ之れらの犯罪に滿たされヒニクにも犯す者の大部分は貧困者である、又は現代社會の無情なる差別（前科者）とに合って生存するにヤムなく再び犯す者等である。然し乍ら高位高官の輩の如く、ガスとかジャリとか又は三十萬圓の百萬圓のと大それた國民の心血をそゝいだ公金を自働車に乗り廻して白晝公然と强奪する樣な者は一人も無い。

如斯く有りと有らゆる犯罪者に重刑をカセ人間の苦しむを酒香の變りにする奴等は誰ぞ。又同胞の中に兄弟らしい顏して潛入して仲間が犯した罪を嗅ぎ出して社會に發表し罪に落す犬は誰だ。又之等の種々の事件が特種だと色々に附け加へて社會に惡聲を宣傳し、犯罪の手段方法を密から密にへと教授するは何奴ぞ。右の奴等を一々と指名せず共誰でも能く解る事であるから諸君にまかす。又最近では種々雜多な雜誌が非常な努力で出版されてる當局としては頭痛の種として非常に警戒して居る。毎月數　冊のものが配本や發行を禁止されて居る樣な有樣だ。俺達の個人の思想なり行動なり宣傳は、之れは萬人に有利な事だから一日も早く萬人に其の思想なり實行方法を傳へんと日夜考へ出され總べてのものは忽にして奴等の爲めに暗から暗へと葬られてしまふ。それも無理なからん爲めに最後まで鬪ひそして彼等の存在を否定し、又一切の俺達の生存上に不用なものは排擊して、無産大衆が自由に何の迫害服從命令や搾取と强制の下に貧困をしなくても好い社會各人が相互扶助の精神の下に何等の支配も無き幸福な、自由の天地を一刻も早く樹立せなければ成らぬ。そして各自が自由合意の上で萬善をつくして强固な意志を以て過去の歴史を再び地上に表現させぬ樣に實行なせれば成らぬ。

メーデーは最後の目標を凝視て祝へ

吉田源藏

メーデーが來た。資本制度に對する定期的抗議の日、ブルジョアージーの戰慄する日、プロレタリアートの祝福する日、正義の××[illegible]へも日、反動と××を蹴散らす日、正義の爲め、自由の爲めに骨を碎く日、肉を裂く日、血汝の造る日、世界の敵の[illegible]に喰ひ付く日、全國の勞働者、全國の小作人、萬國のプロレタリアートの日メーデーが來た。

萬國のプロレタリアート兄弟姉妹等今日だけはハッキリと最後の目標を凝視て呉れ。「八時間勞働制」「團結權の確立」「小作權の確立」「惡法の撤廢」「失業反對」凡んなくど／＼しい長たらしい布切なんか擔いで歩く事は止めようではないか。タッタ二十四時間だ。

鍬を持つもの、ハンマーを持つもの、ペンを持つもの、[illegible]を持つもの、ハンドルを持つもの、[illegible]を持つもの、[illegible]持つもの、[illegible]を持つもの[illegible]が[illegible]を[illegible]出す：[illegible]り出すのではない、それを[illegible]にすればよいのだ。それ一[illegible]よいのが[illegible]の目標あがけて、[illegible]するものに、それがなんであらうと、ざへた[illegible]があらうと敵を蹴散らし[illegible]の屍を投げ、[illegible]み取り、前進することだ。

心配するな、各自が後は味方だ。同志だ、敵は前方資本主義だ、此奴を狩り取る秘訣は只進む一途あるのみだ。

メーデーはブルジョアーの五月節句ではない、幟なんかどうでもよい、吾等には××がある筈だ。××はブルジョアジーの[illegible]式、メーデーは[illegible]門[illegible]に[illegible]ない[illegible]だ。だからメーデーはプロレタリアートの[illegible]の[illegible]た。そこで[illegible]の[illegible]する日なのだ、[illegible]の[illegible]する日だ。[illegible]口も、[illegible]も、[illegible]。[illegible]も、[illegible]る日だ。

布切なんか拾くり廻してヒョロ／＼して居ると、バーソン、スパイス、フイッシャー、エンゲル、ブロンドー、ジロッドー等の先驅者が笑つて居るぞ……笑ふどころか泣くぞ。

メーデーを祝ふ俺達は、彼のデカンの言つた『神をやめよ、主人をやめよ、萬人の爲めに自由あれ』と、これで澤山だ、これだけを銘記してメーデーを祝ふんだ。

メーデーは吾等の鬪ひの決算だ、總勘定だ、タッタ二十四時間で一年中の店卸しが出來るのだ。地球の自轉一回の其の間に吾々のお互が胸三寸で、今川燒の飴コロ程の腦味噌の働きよう次

進め

第で、綺麗薩つ張りと、大平洋で尻を洗つたような世界になるのではないか。

全世界のプロレタリアート兄弟姉妹よ、吾等の日、メーデーは來た、今日だけは最後の目標目掛けて進まうではないか。お互に腹も減つて居るだらう、疲勞困憊ても居るだらう、だがメーデーは國際的の階級戰だ。メーデーの當日だけは資本主義撤廢以下の運動は止めて呉れ、彼の米國の『四萬人の罷業』に於て、其の導火線に點火した大功勞者、トライアングル襯衣ウエースト製造會社の一女工であつた、クララレムリッチと云ふ少女が、其の大罷業の敢行される前夜、勞働者の大會に於てゼネラルストライキの動議を提出した其の時の言句こそ、實にメーデーを祝ふものゝ銘記す可き金言である。彼女は最も簡單にハツキリと言つた。

「私は先刻から皆樣のお話を伺ひました、然し皆樣の仰言る事なんかはモウ澤山です。私達は此の上凝つとして居られませぬ。私達は現に皆樣が仰言れた事柄の爲めに苦んで、そしてそれを感じて居りますのです。私は此の際私達が爲す可き唯一ツの手段、總同盟罷業の動議を提出致します」と、萬餘の女工等が此の會場に集つたのは實に此の爲めであつたのだ。

吾等は現實に饑へて居る、病んで居る、疲れ切つて居る、資本家の横暴を感じて居る、今始つた事ではない、唯もが先刻承知の助なのだ。メーデーは泣き事を繰り返す日ではない、苦しんで居ればこそ、感じて居ればこそメーデーを祝ふんだ。メーデーは萬國のプロレタリアートの力で行るんだ、メーデーはブルジョアーの罪業の審判さるゝ日なのだ、搾取犯人を判決するの日だ、そして處刑する日だ。判官は吾等プロレタリアーで、法律は社會の正義の第一條だ、經濟組織に關す可きだ。

吾等はメーデーの當日を期して彼等ブルジョアーと倶に天を戴かざる事を宣言せねばならない、彼等と倶に天を戴くことはそれは平和を永遠に宇宙から驅逐することであるからだ。メーデーは亞米利加の勞働者が、ブルジョアーに御相談申上る事の馬鹿らしさを悟り、他力本願を排して專ら自力本願に依つて自己の目的を果たさうとした事が起元となつて居る。だからメーデーはプロレタリアート大衆の團結から、眞に迸り湧き出た力で行らねばならぬ。メーデーを祝ふのに、搾取委員等に十日も二十日も前から交渉したり、諒解を得たり、認可とか許可とか云ふところの宛然、藝娼妓や、酌婦の鑑札のようなものを頂戴してから、イヤ秩序だ、蜂の頭だと官製青年團が招魂祭に參列するような氣分で行つて居る内は駄目だ。

米國の吾等の先輩は、一八八六年五月一日に第一回メーデーを行るに先き立つて、其の鼻息だけで多くのブルジョアーに兜を脫がせて居るではないか日本のメーデーが年中行事の餘興になつて居るのは歷史が新しいからではないのだ、メーデーにプロレタリアー魂が這入て居ないからだ。骨が碎けないからだ×××××からだ。觀よ歐米兩大陸のメーデーの歷史を、[illegible]が

[illegible]であつた、[illegible]ほど大犧牲があつたではないか。吾等の先輩であるメーデーの殊勳者、デカンは檢事から死刑を求刑せられたときに、「何ッ俺の首が欲しいのか、欲しけりやア呉れて遣らア！スッパリと取りやがれッ」と叫んだ。此の意氣だ、此の意氣でメーデーを行らう、まつしぐらに驀進するのだ。緊褌一番二十四時間の階級戰に眞實のプロレタリアー魂もて臨まうではないか。

”吾等の桎梏賃銀鐵鎖を打ち切る爲めに萬國の無產者階級よ團結せよ”

メーデーは來た！

吾等の威力を示せ!!

長濱說

大都會の空を毒々しい煙を吐いて暗くする工場の煙突からも一筋の煙すら立昇らない、休業だ。パン屋も休業だ、食料品屋も休業だ。朝から水も飲まず、飯も食へず空腹を辛棒して元氣の無い顏で、夜になつたが電燈がつかない。電氣の從業員がメーデーを祝つてゐるのだ。眞暗闇の中で彼等ブルジョアジーは原始時代の民族のやうに蠢動してゐるのだ。美衣美食淫荒に何千圓？何十萬と云ふ莫大の金（我々勞働者より搾り取つた血の結晶！）をオーピラに白晝公然とフリマキ、遊びまわるブルジョア階級は、日頃、吾等を猿のように鐵鎖につなぎ踊らせ、××××××××××××。吾等はいつまでも彼等ブルジョアジーに搾取されてはならない。ブルジョアジーの打つ太鼓にいつまでも踊る猿ではない。吾等は三百六十五日搾取に搾取を重ねられて餓死の淵に落ちこんでゐるのである。吾等は斯くの如き××無道なる彼等を一擊のもとに挫じかんとするメーデーのデモンストレーションこそ吾等の××××××××××である。

その行進の歩武の堂々たるを見よ！その進歌の喊聲を聽け！汝が部署を放棄せよ！汝の價値に目覺むべし！全二十四時間の休業は社會の虛僞を擊つものぞ。これ吾等が資本の牙城へ肉薄する行進歌であり、未來社會の建設をメーデー旗の下に誓ふ二十四時間休業の行進曲である。

インターナショナルの前に全世界のブルジョアジーをして戰慄せしめよ。然し、メーデーは斷じて吾等無產階級の馬鹿騷をする祭ではなく嚴肅な祭でなければならぬ。この五月一日こそ×××なる資本家階級及特權階級に對する定期の警告であり吾等の威力を示す日である。勝利を迎へんとする者は敵を倒さねばならぬ。地主をして吾等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

が自由の土地の上に狂死せしめよ。全勞働者の二十四時間の生産停止こそ資本家をして戰慄せしめ、而して資本家利潤の黑ヴェールをはぎ取つてこそ眞に吾等の無産階級の團結した價値がある。全無産階級よデモンストレーションこそ吾等の階級力を示す武器である。吾等が行進歌を高らかに高樓朱閣の前を××××で進む時ブルジョアジーは吾等の威力の前に震へるであらう。五月一日二十四時間こそ吾等が、仇敵ブルジョアジーに宣戰を布告するの日である。全無産階級は團結して暴虐非道なるブルジョアジーの陣營に迫まつて、搾取と横暴に對し猛烈なる抗議をするの日である。

メーデーは我々勞働者が一切の不合理を一切の惡を驅逐し吾等の社會建設の目的に猛進すべき日である。右傾も左傾も五月一日メーデーに同一行動をとつて勇敢に行進せよ。而して空中高く××××××××××××生産を奪還すべく資本の牙城に突進せよ。五月一日メーデーをして、仇敵ブルジョアジーに吾等の威力を充分に示せ！

地球上の總ての勞働者は一齊に休業せよ、都會に、農村に、鑛山に同じ標語を掲げ、資本の鐵鎖を打切るべく、突進する時、彼等は必らずや吾等の××の前に戰慄するであらう。農民は鋤鍬を棄てよ、勞働者は鐵槌を棄てよ、娘子軍も階級意識に目覺たる男性と共にメーデーのデモンストレーションを以て、全世界のブルジョアジーに吾等の威力を知らしめよ。メーデーは來た！萬國の無産者よメーデー旗の下に集まれ！

メーデーを祝へ！

鄭　重

メーデーが來た！勞働者の日が來た

メーデーが來た！勞働者の日が來た！勞働者の世が來た！定期警告日たる五月一日が來た！壓伏階級、搾取階級を戰慄させる日が來た！勞働者よ！此の日を祝賀せよ！此の日を祝へ！此の日の大示威運動の威力にて彼の征服階級と搾取階級を戰慄させると共に彼等の横暴、彼等の殘虐、非人間的たるあらゆる行爲に對し×××××××を宣告する時機が來たのだ。

マルクスの絶叫した「萬國の勞働者は團結せよ！」と云ふ標語は每年此の五月一日に、全世界無産階級の胸中に尤も深刻に沁み込むのである。あらゆる無産階級は奮起してメーデーを祝福せよ。新歴史を創造する新元氣を振作せよ！

此の日を祝賀せよ！横暴なる資本家に警告せよ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣二林騷擾事件と蔗作問題

布施辰治

私は、去る三月十四日出發、四月二日歸着、二十日間の日程で臺灣へ行つて參りました。主要の任務は、臺灣の農民運動に、劃期的の刺激を與へた蔗農組合對林本源製糖會社の二林騷擾事件辯護の爲めでありました。

同事件の事實內容に關する批判は、しばらく別として、其の動機に就て云ふと、臺灣全島の蔗作農民が一樣に苦しめられて居る、所謂製糖王國への抗議的要求が、却て會社側の逆襲に引き掛けられた樣な事件であります。故に、同事件の有罪か無罪か、又假りに或る者は有罪だとしても、同事件發生の原因動機に關する裁判が、蔗農組合側の主張を認むるか、認めないか、所謂製糖王國從來の橫暴を看過するか、看過しないか、と云ふ事は、臺灣に於ける農民運動今後の方針に至重至大な關係があるのであります。

事件記錄に依りて、二林騷擾事件發生の動機を要約すると、從來尤も會社側の橫暴に苦しめられて居た、(1)肥料の强制賣付け、(2)買上價格未協定甘蔗刈取收納、(3)收納甘蔗秤量立會拒絕に對する三ケ條の抗議に其の原因を發して居るのであります。以上三點の抗議內容は、單に題目を見た丈けでは一寸想像の出來ない程非道いもので、(1)肥料の强制賣付けと云ふのは、未だ臺灣には肥料法の實施せられて居ないのを奇貨とした會社は、勝手な調合肥料を特製し、敢て其の效力があらうと無からうとを問題とせず、苟くも、會社所屬區域蔗作民には强制的に之を賣付けて置いて、最後の甘蔗收納買上代金と差引せられる爲に蔗作農民は、折角自作した甘蔗を事實上只取りせらるるのに對する抗議として、(1)肥料の自由購買を要求したのであります。(2)の買上價格未協定甘蔗刈取收納と云ふのは、蔗作農民の自作甘蔗は、何處から何處迄の分を何會社に買上けて貰ふと云ふ事に官憲からの指定があり、萬一之れに違反した時は、罰金に處せらるる事に爲つて居るので、蔗作農民自作の甘蔗は、豫め何會社に買上げらるる事に定つて居ると云ふ理由の下に會社側では、未だ買上價格協定の無い中に、會社の都合次第で勝手に之を刈取收納し、然る後ち蔗作農民へ今年度の甘蔗はイクラと云ふ價格を發表し、(1)の强制的

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に實付けた肥料代も差引けば、會社で勝手に刈取つた甘蔗刈取苦力賃までも、農民持ちに計算せらるゝ爲、之れ亦賣上けの計算は付けられても事實上蔗作農民の手に金が這入らない事に爲るのに對する抗議として、(2)の甘蔗刈取收納前價格協定を要求したのであります、(3)の甘蔗收納秤量立會拒絶と云ふのは、會社側と刈取收納した蔗作農民自作の甘蔗が、何萬何千斤あつたかを秤量する時に立會はして呉れと云ふても、會社側では、賣主たる蔗作農民に立會はしめず、買主たる會社側のみで勝手にこの畑からは何千斤此の畑からは何千斤と刈取つたと云ふ事を決定するのは、あまりに非道過ぎるのに對する抗議として、(3)の秤量立會を要求したのであります。

如何です、何人と云へども、只上三點蔗作農民組合から抗議した要求の、あまりにも當然にして、會社側從來の横暴さに驚かないものは無いでせう。にも拘らず、會社側か斯ふした蔗作農民側からの要求を一蹴し拒絶せられた爲に起つた事件なのだから、二林騒擾事件被告同様、製糖王國の横暴に苦しめられて居る臺灣全島の蔗作農民は、當面の被告として法廷に拉致せられた蔗作農民のみが裁判を受けて居るのではなく、全島の蔗作農民一同は、今後の蔗作問題がどう爲るかといふ事を今度の二林騒擾事件で裁判せられるもの〻如き注目と、懸念、利害とを一致して居るのであります。

左様した二林騒擾事件辯護の任務を帶びて渡臺した私は單に法廷に拉致せられた被告の爲に被告事件のみを辯護するばかりで無く、臺灣全島蔗作農民の爲めにも法廷外の辯護をする必要を痛感して居たので、私の渡臺を機會に、無産階級解放運動促進の講演會を開催すると云ふ議があり、私も勢力の續く限り時間の許す限り其の希望に應ずる考へで渡臺したのだから、滯在の日程は誠に短かつたけれども寸時の無駄も無い左記の如き日程で、

二十日	基隆市	聖公廟
	斗六街	新興宮
	斗南庄	順安宮
二十一日	土庫庄	媽祖廟
	斗南床	斗南青敎社
	北斗街	奠安宮
	二林庄	仁和宮
二十二日	彰化街	彰代座
	大肚庄	永和宮
	豐原街	慈濟宮
	臺中市	醉月樓
	臺中市	樂舞臺
二十三日	新竹街	公會堂
二十四日	臺北市	文協支部
	臺北市	機械工會
	臺北市	逢來閣
	汐止街	濟德宮

二十五日	臺北市	文化講座
	臺北市	文協支部
	桃園街	街役場
二十六日	桃園街	公會堂
	嘉義街	公會堂
二十七日	麻豆街	郭氏邸
	麻豆街	本部
	臺南市	靜仙閣
	臺南市	公會堂
二十八日	潮州庄	天主宮
	屏東街	武廟
	鳳山街	雙慈亭
	高雄市	高雄劇場

法廷辯論の三日間と共に二十一ヶ所三十回の講演をして歸りました。

此の間示された臺灣無產大衆の熱意は、實に凄じいもので到る所の講演會を埋めた大衆の氣勢は、夫れ自らなる蔗作問題に關するデモンストレーションであつたと思ふ。

此處に眞の裁判と云ふものがあり得るとしたら、其の問題に最も直接の利害と感情とを共通する臺灣無產大衆は、二林騷擾事件を社會的に審くと共に、二林騷擾事件を裁判した裁判官の裁判をも社會的に審いて、甚だ公正且つ嚴峻なものであつた事を喜ばしめた。

歸京早々新潟にも行き極めて多忙故之れ丈で擱筆する。

技術的間隔に對する
鬪力赤沸問題

共同理想への戒飭

戶谷白羽

組合運動の發達が終に政治運動への方向轉換期に到達した。此時に當つて殊に重視せなければならない事は、云ふ迄もなく無產大衆に對する「指導精神」の確立である。

勿論無產階級解放運動の根本基調は、無產階級專制時代を通過した後に於ける理想世界である事に異議を挾む者は居ないであらうけれども、斯く云ふ理想世界への道程に於ける技術に對する態度の如何が、理想世界に進出の豫想を幻滅する樣な危險を育んで居はしないかと云ふ事を考察する事が最も大切な問題である。

其考察の結果が、無產階級の諸相に對する知識の程度と傳統的因習から受けたイデオロギーを離脫してゐる程度との差から、或は左傾支持となり中間擁護となり右傾鼓吹となりつゝある。

元來無產階級解放運動の根本基調たる理想世界の欣求を間じうして居る者の間に、斯かる進出態度の距離を止揚する事が出來ないと云ふ事は、無產階級解放運動上に於ける

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

至大な損失である點から、之等の分裂を抑止せんとした戰一無産政黨の幻花を追想せざるを得ない。

けれども現在の事情を迫出したからには、斯かる縱線的進出に依る事は今の處全く其望みを絶たれて居るのであるから、如何なる曲折を經やうとも斷じて進まなければならない、無産階級運動が横線的分裂の陣形に依りつゝありとは云へ、夫れが無産階級運動の現實であるからには、其何れかを支持する事に依る以外には、空想的談理は別として依據す可き何物も無いのである。唯茲に愼重な熟慮を要する事は、各自の執りつゝ有る態度が眞に無産階級解放運動の根本理想を實現するに最善の技術なるや否やに就て常に周到な顧慮を拂はねばならないと云ふ事を痛切に感ぜしめられつゝある。

左翼小兒病と嘲り、右翼老衰病と誹り、中間分裂を笑ふのは、勿論斯くならねばならなかつた複雜な事情が伏在したのに外ならなかつたであらうし、又世界各國の無産階級解放運動史が、常に分裂を繰り返して來て居た事などから考察しても止むを得ない事であつたであらうが、同一階級内の爭鬪の爲めに理想の實現を紛亂せしめる樣な事の無い樣にする事は、我國の樣な初期の道程にある解放運動の上から、殊に注意す可き大切な問題である。

我國勞働者數一千數百萬、内組織勞働者及組織可能勞働者總數約五百萬、又全國農家戶數五百五十萬、內純小作戶數百五十萬と稱せられ、組合參加者は僅かに卅萬人、而かも其内には協調的のものも混在して居ると云ふ狀態である。爾餘の無産大衆は、資本家又は地主と云ふ特權階級の周密な搾取の鐵鎖に繫縛せられつゝ而かも抗爭意識迄も麻痺せしめられつゝあるではないか。斯かる無限の曠野に突擊して、一城一塞を奪略せなければならない階級戰陣を張りつゝ而かも其共同陣營の內部に於て步武の整調を缺ぐ事に依つて、無産大衆進出の大勢を鈍ぶからしめてはならないではないか。要は現在の樣な横線的分裂の陣形に依りつゝも、尙ほ共同理想への大道に進出する迄の止み難い技術的間隔なる事を互に相戒飾しなければならない事を力說せざるを得ないのである。

何故に斯くも此事を痛感しつゝあるかと云ふに、例へば吾々の日々當面しつゝある農村に於ける、特權專制の組織的陣形のみに就て云つて見ても、一日たりとも堪へ難い程の欺瞞欺畧が縱横に綯い合はせられ宣傳鼓吹せられ、其生活の上に『正義』が全く度外視せられて、而かも多くの無産大衆が、其欺瞞欺畧に陶酔し盡くして居る悲惨な現實を、マザ〳〵と見せ付けられて居なくてはならないと云ふ事のみからでも、無産階級解放運動の熱力が、更らに更らに赤沸せなければならないと云ふ事を極度に感銘せしめられつゝあるのである。

解放運動途上に於ける技術上の間隙は止むを得ない事とするも、其事が、現在及將來の戰蹟の上に幻滅を見なければならない樣な事の無い樣にしなければならない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働教育運動の轉化

小森善逸

無産階級解放戰に於ける四大分野の一たる勞働教育運動は、今や轉化の道程に入らんとしつゝある。而して其は、今日までの勞働教育運動の目的、方針に行詰りを來したことを意味するものであり、ブルヂョアの手に依る第一期勞働教育運動の弔鐘を意味するものである。何故そうした結果に到來したか？

初期の勞働教育運動――勞働組合の教育機關に依らざる――は、多く公民教育的であり、成人教育的であり、ブルヂョアイデオロギーの濃厚なものであつた。勞働教育運動に何故ブルヂョアイデオロギーが侵透して來たのであらうか？其はブルヂョア社會組織の崩期に於ける必然的傾向である。如何なる生物と雖ども生に執着がある如く、最早や既に死の宣告を受けたブルヂョアも、彼等の若かりし日の淫逸の虚榮を思ふ時、其處に限りなき未戀を止めるは果たむべなる哉である。されば彼等は意識的に、無意識的に、實に本能的に最後のもがきの手に何物かを摑み、今生の生血を吸はんとする。こうして彼等は、一瞬のより長き生命の爲に、無産階級解放戰の凡ゆる分野にその魔手をさしのべて來る。

顧つて我が解放戰の戰野を眺むる時、其所には數年來の内に、實に目まぐるしい展開があつた。逐年化した組合數の増加、それに從がふ組織勞働者の増加、その結果經濟鬪爭の分野は著るしく擴大した。斯くてストライキは恐るべき脅威力を以て、益々増大しつゝある。第五十一議會に於ける普通選擧法の通過の結果、無産階級解放戰の政治戰線への展開は、亦實に眩惑的なものである。こうした無産階級解放戰の全面への展開は、從つて後陣の充實が急務である。勞働教育運動、消費組合運動はこの必要に應じて、愈々眞實の任務を意識して來なければならぬ。無産階級解放戰に於ける經濟鬪爭、政治鬪爭の前面的鬪爭に加ふるに、勞働教育運動、消費組合運動の裏面的鬪爭がある。この後者の戰線に於ける敵陣も要害堅固なものである。消費組合

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運動の戰線の分野の敵陣の偵察は、その方面の戰士の任務である。此所には主として、勞働教育運動の戰線の分野に於ける敵の爆發に努めやう。

窮鼠ハ狀態にあるブルヂョアは教育運動の分野に於ても最後の手段を盡して、解放戰に送られ行く戰士の意氣をそいうせんとしてゐる。ブルヂョアは勞働教育運動を經濟的に援助することに依つて、その教育機關の管理權を奪取して終つた。而して、勞働者教育の名に於て、成人教育、公民教育の欺瞞的なプチ・ブルヂョア教育を爲した。成人教育、公民教育がプチ・ブルヂョア意識鼓吹の教育であることは事實であるが、其は如何なる內容を持つが故にそうであるか。

このブルヂョア勞働教育は、まづ宗教、哲學を課す。それを規定課目としないまでも、講師が宗教家、哲學者まがひの僞善者の徒輩であるが故に、彼等が如何なる他の課目の講義を爲すと雖ども、其の中には宗教的要素が多分に含まれてゐる。宗教が階級意識を麻痺する阿片であることは今更云ふを俟たない。この阿片に依つて如何に多くの今日の無產者が深い無智の眠に眠らしめられ、己れの××××ブルヂョアの搾取を知らざることとか！

次に經濟學、法律、社會學、自然科學を課す。吾々にはこうした基礎科學が必要であるか、然り、絕對に必要である。併し乍ら、それはブルヂョアの經濟學、法律、社會學、自然科學であつてはならない。自然科學と雖ども吾々は、其處に階級性を認める。ブルヂョア主觀自然科學は、プロレタリア主觀自然科學――從つて之は自然科學の客觀性と一致するものである――とは、各々異なれる方法を持つのである。ブルヂョア勞働學校は、そうしたブルヂョア一般科學を課す。そして其の講師がこと〳〵く意識的、無意識的に依らず御用學者である。彼等は總て勞働學校の講師たる資格は絕對にない。

要するに今日までの勞働學校の目的は、「人生の爲の教育」であり、「成人勞働者の求智心を充す爲の成人教育」であり、又「勞働者としての人格の修養と常識の養成」とを根本として必要なる科學を授け給ふ教育である。

吾々が斯樣なプチ・ブルヂョア教育を受けつゝある間は、永遠に、絕對に吾々の現在のこの無智と、貧困の窮地を脫却することは出來ないであらう。否益々その深みに陷つて行くであらう。吾々にはブルヂョアの科學を學んでゐる暇は與へられてない。否學ぶ必要はない。吾々には吾々の科學がある。而して、吾々は吾々の學を創造する爲に、まず其の爲の理論を把握しなければならない。

經濟的に、絕對的に利害關係の相反するブルヂョアとプロレタリアートとの兩階級は、マルクスの所謂上層建築に於ても、各々絕對的に相反する意識形態を持つのである。かくて吾々は意識形態の一つである科學の內にも反對要素を見る。併し乍ら資本主義の發展は必然的に、經濟的階級鬪爭を導いて來ると共に、科學に於ても無產階級は、自か

らの科學を創造すべく、支配階級と階級鬪爭を開始するに至る。

而して、組合運動、政治運動、消費組合運動に於ける今日の一般狀勢を眺むる時、其所には敎育運動の切實な要求を示してゐる。過去の煽動的な、暴動的な經濟鬪爭は、今日は科學的な鬪爭となり、そして舊式な經濟鬪爭の指導者等は、その地位に耐へられなくなり、必然的に沒落して行き、そして新たな戰術家をそこに要求してゐる。無產階級解放戰が政治鬪爭の分野にまで展開された時、一般勞働階級が政治知識に無智であつたならば、自分の選出せる代議士の行動を監視し得ず、その結果彼等を腐落せしめ、政治運動の失敗へ斷崖を導びかれた先徹を徒らに踏むものであらう。消費組合運動はそれ自體、その組織內容を知るに多くの知識を必要とする。

如斯く、今日に於ける眞の無產階級敎育の重要性は、最早や其は、單なる解放理論上の問題でなく、無產階級の必然的な發展段階が、今日に於て、その絕對的必要にまで到達して來たのである。而して之が、第一期勞働敎育運動の轉化、即ちブルヂョア勞働敎育の行詰りを餘儀なくせしめたのである。

勞働敎育運動が轉化の段階に到達したことを、現實の社會の中に見極めることを得せしむるものは、唯物史觀の法則である。さればいやしくもマルキシズムを信奉する者にして、而して勞働敎育運動に精進せんとする者として、勞働敎育運動の現勢を默視することは、其は明かに無產階級解放戰に於ける自己逃避であり、階級意識の存在を疑がはしむるものである。マルクスは「人類の意識が彼等の存在を決定するのでなくて、寧ろ之に反し、彼等の社會的存在が、彼等の意識を決定するのである」と云つた。斯樣に吾々の社會的存在に依つて決定された意識は、其が積極的な、實踐的行動に現はれることに依つて、初めて證證法的な進行を辿ることが出來るのである。

されば勞働敎育運動者は、敎育運動の必然的轉化を順調に進展せしむる爲めに、プロレタリア科學の創造の爲に、勞働學校の管理權をブルヂョアの手より奪還し、自治確立の鬪爭を開始すべきだ。其は勞働敎育運動者に宣告せられた運命であり、歷史の進化の法則に順應するものであり、而してその勝利は、來るべき×××の前衛戰の勝利である。

感想

戴天仇氏が支那浪人や、官邊の人々とのみ會合してゐるのは少し絕望です。支那浪人や官人達は、之れまでの支那觀なるものから變へてかゝらなければ駄目であり、國民黨（支那人）の諸君、蔡君等も政治觀念の基礎的變革をやつて行かなければ駄目です。

—本莊可宗—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

駁彈

◇……『政治批判』の三月號に載つた林二郎クンの宗教法案批判は、全くナツチヨラン。

何んと云ふ頭惱の混亂せることよ!!

彼れは云ふ、

『我々は、それ故に、(何故にだ! あはれなる文章的氣どり屋よ)、理論的には、絶對的に無神論者であり、あらゆる宗教に對して決定的に敵對する徹底的な唯物論者である。……』(三頁)

論理は飛躍する、否な混線する!

『かくて(いかにも、かくて)、我々は、×、、×に對して、宗教の自由を、信仰の自由を敢然として要求する』(一二頁)。

アーメン!

ナムアミダブ!

何んとプロレタリアは善男善女であることよ! 信仰の自由だ、汝等、信ぜよ。

然し其は民衆のための阿片だ!

これでは吾々プロレタリアは迷惑千萬だ!

口吻的マルキシスト、林二郎君の本體はかくて曝露された。呵々!!

◇……三月の『改造』で山田清三郎クンは『紙幣束』と云ふ小說を書いてゐる。

なんと云ふ愚作だらう。

正にプロレタリアをブ辱するものだ。こんなものを書いて原稿料をせしめてゐるプロ文士どもは、××のアカツキには、皆んな×殺してくれるぞ!

◇……と云へば、は山か樹クンは、渡邊賞とか貰つたそうだが、その金を何に使つたか白狀しろ!

それから、なんのかのと云つたつて、キサマ等のやることは皆んな賣名だ! 成り上りたいのだらう! 今に片づけてやるから用心しろ!

◇藤森クンにしたとこで、四の五の云つても、春秋に寄稿したり、キングにまで書いて、ドエライ『馬の足』を出したでないか?

圖に乘ると×骨だ!

學生運動に於いても『文藝派』はコツピドクやられてゐる。御所、林房雄コト、後藤壽夫クン、以て如何となす!

げに此頃は元氣がなさそうだね! 失戀でもしたのかい?

◇……この頃、金融資本の集中は猛烈だ。中小銀行はバタバタ倒れる。東京渡邊、中井、中澤、八十四、村井、左右田などが其れだ。

左右田銀行と云へば、その當主は喜一郎サンだ。ベルンシュタイン式な日和見主義的社會問題研究者であり、經濟哲學の代表的學者だそうだが、自分の手近の銀行さへ運營し得ないやうでは心細い。學者迂愚のそしり、正に然りだ。

◇……左翼文藝家意識は如何にして飛び、、、、、、、、、、とるべきかとか云ふ迷理論を吐いて、一廉の革命的氣取りに陶醉してゐる田口憲一クンは謂ふ。左翼文藝家意識を把握するには先づ第一に戰鬪的藝術理論を確立するにあるとノタマワれてゐる。

敢えて借問す。戰鬪的藝術理論とは如何なるものか。實際に於て而も神經衰弱の青白い顏をしてセンチメンタルな××理論をデッチ上げることであるか。又は太いズボンを穿いて銀座の街をウロツキ、モダン・ガールを相手に無產階級の悲痛なる生活狀態を云爲することであるか。

由來、文士等と云ふ者は、少し甘く見せると、直ぐに增長する弊がある。吾が田口憲一クン、幸ひに其の仲間でなからんことを祈る。

無産青年運動の意義及目的

澤井龍之助

一、無産青年の革命的意義

社會運動がそれ自身、現在の資本主義的諸制度に向つて徹底的の破壞運動であるとしたならば、必然に吾等は既成の上層建築たる所の總らゆる權力に其の力を集注しなければならぬ。何故なら、假令、下層建築たる所の生産關係が—即ち資本主義的經濟組織が—將に崩壞の過程を辿りつゝあるとしても、其の上部構造を爲す所の權力の支配が强固であるなれば如何に自然律的に×××の到來を待つともプルジョア權力下に於て吾々は呻吟しなければならないであらう。

故に社會運動は現在の資本主義制度を支持しつゝある既成の總らゆる××に對して戰ひ奪還しなければならない。而してそれに必須的條件たるは吾々の持つ「力」でなければならぬ。而して、此の力は吾々無産階級の組織的團結力に俟つものである事は云ふ迄もない。然れ共、最も此の組織的團結力を有する者は他ではない。即ち農村、都市無産階級陣營内に於ける無産青年であらねばならぬ。蓋し、青年は總て是れ情熱的であり、眞摯であり、正義觀念强く、加ふるに懷疑的であると共に眞理を探究する念固く、若し夫れ人生の眞理を發見して邁進する時に、何者をも燒き盡さんずの熱血の持主であるからである。

されば、無産階級戰線の陣頭に起つて先驅する所のものは是れ實に無産青年の他にはあり得ないのではないか。即ち云ふ。無産青年は現在プルジョア階級に對する××の中堅要素である。

二、官製青年團の正體

吾々は此處に於て、既に、自覺せる無産青年から、眼を一轉せしめなければならぬ。即ちそれは既成の支配階級的プルジョア的機構に據つて組織だてられた官製青年團である。此の青年團なるものは、概ね、農村、都市兩地方の無

產青年から成り立つてゐる事は云ふ迄もないが、而かも、是れを統率する所のものは、其の地方の資本家、地主の小倅か又は多少土地位ある所のブルジョアジーの手先である。而して笑止なのは、是等の支配に委ねられつゝある憐れむべき無智な青年は青年訓練所擬ひ、と云ふよりは幼稚なる軍服擬ひの團服を着せられ（而かもそれは搾られた剰餘の金でだ）得々として、御上役人的光榮の愉悦に浸つて居る事だ。而して多少幹部的地位を得させられると、忽ち大臣にでもなつた樣な氣持ちで任喜して居る事である。

而かして、彼等の信條は何であるかと云ふに、吾等の識れる俺國の青年團に於ける「敎養の精神」なるものは、献身、相愛、節實、奮勵、自重等の如きものであるが、何れを見てもブルジョア的臭味の香んばしからぬものはない。即ち、「献身」の如きは骨の髓迄シャブられて資本家支配階級の腹を肥やす以外の何者でもないではないか。又「相愛」に於て然り、資本家の小倅と「相愛」の仲になれば「定めて有難い御利厄があるであらう。「誠實」「奮勵」「自重」等、ブルジョア教育一流の「希望の光」を餌にして飽く無き惡魔的搾取の囮にするものに非ずして何ぞや。

殊に近來、注目すべき現象は、一般都市青年の左傾的傾向に鑑み、一方に青年訓練的軍國主義精神を吹込むと同時に、他方に於ては務めて娛樂的享樂的是れを極端に云へば反動的デカタンチックな去勢的心理傾向に投ぜしめんとしつゝある事實である。例へば、全國各青年團に於ける運動部の如き、毎一年一回の神宮競技を目當てに郷土の名譽を保持せんが爲と稱し、頻りに運動を奬勵して居る事である。かくて青年の特有の×××熱を抹殺しつゝあるのだ。況んや、青年團に於ける野球熱に於ては驚ろくばかり猛烈を極めて居る。此の反動的デカタンは支配階級の「體育」の奬勵――實は青年の××[illegible]の去勢――なる美名の下に暗に軍國主義的思想宣傳と相俟つて益々、都市、農村無產青年をばブルジョア意識化せしめんとの魂膽に他ならないのである。

三、無產青年の官製青年團に對する作戰

是等、官製青年團に於ける無自覺たる青年を覺醒せしむる任務は吾黨、無產青年の外に措いて無い。從つて吾等は如何にして彼等を覺醒せしめ、奪還すべきかを考究しなければならぬ。

思ふに官製青年團の一般青年は烏合の集に等しいものであるが、中には眞摯なる青年もないではない。而して其の中、最も進步的思想の抱持者は論說部、文藝部等に多くある。辯論員の中には都市地方新聞學校等に據る主催の辯論會に出場し、從つて新らしい空氣に觸れる機會が多い故必然に社會思想の問題にも關心をかける樣になるからである。又、文藝部員の如きは青年團の機關雜誌等を監輯しつゝあるものであるが、從つて文學、藝術、宗教、科學等の多方面の書物を讀む中、自づと人生に關する考究、社會に對

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する問題等、自然に哲學的社會科學的思想と信念が養なはれて來るのに據るものである。

それは、吾等の徒らに盲目滅法的に誰彼の容赦無く青年團員を赤化せしむる必要は無い。尤も總べての青年團ハ等を自覺せしむるに越した事はないが、然し斯くの如きは勞あつて益ない結果を招きはしないだらうか。

即ち最も進歩的にして且人生、社會に眞摯なる態度を以つて臨む所の青年的熱情の溢る、辯論、文藝兩部員を獲得する事である、吾等が接する某青年團は日本に於ける最も保守的、反動的――彼等に依ればH本青年團の中堅、模範青年團――色彩の濃厚な青年團であるが、此の「模範青年團」の中に於いてもやはり辯論、文藝兩部員の如きは侮り難き新思想者を有して居る事である。勿論彼等の資本主義攻擊演說は大學教授流の至極御目出度い半可通な若しくはブルジョアリベラリストの如き徹底さを缺いだものである事は云ふ迄もない。けれ共、共れは、最高幹部連――學校に於ては校長等――に對する遠慮の意味からであるかも知れない。然し乍ら、事實、青年團の權力を把握して居る者はやはり此の二部であると思つて宜い。何故なら眞に青年團を統轄する所のものは――他の青年團は果して然るや否やは知らないが――機關誌編輯、一般印刷、出版物の監修等の諸權力を握つて居る此の二部に據るからである。故に吾々は彼等と接近する事は既成青年團乘取りの最捷徑であると信ずる。而して西も東も判らない樣な一般青年團員は度外視して宜い。何故なら彼等は事大主義にカブレたる土偶人形に等しいから。而して此の青年團中に於ける思想的分子即ち心中勢力を獲得せる是れ等の分子を吾々は既成青年團に向つて鬪ひ獲らねばならない。

四、無産青年の細胞組織を造れ

無産青年運動が將來の社會的勢力を獲得する事は云ふ迄もない事である。カール・リープクネヒトが「未來は青年のもの！」と呼んで獨逸革命の悲壯なる最後を遂げ死んだ事は普く世人の知る所でなければならぬ。從つて今後に於ける無産階級運動に於いても此の無産青年の行動に對して深甚の注意が拂はれなければならない。殊に政治運動の熾なる今日、徒らに政治運動――代議士選擧運動――の聲に飲まれて政治運動の尻馬に乘るが如きは最も禁物である。それよりも地方々々に於ける思想的自覺せる無産青年分子を叫合して團結を圖る事が肝要である。かくて地方の思想的分子を集約して一つの細胞となし、漸次、村、郡、府縣等に及ぼし、此處に尨大なる一大無産青年聯盟を建設する事が其の理想である。但し、這は理想案であつて事實上は困難を俱ふ場合が多くある。さり乍ら、地方々々に於て細胞を成立する事は大して困難でない。かくて、總ゆる無産階級戰線の陣頭に起つて先驅し、奮鬪し、號令して支配階級をば戰慄せしめなければならぬ。況んや×××××おいてをや。

五、將來の無產青年運動の目的

從來の無產青年運動と云へば、等しく反軍國主義の合言葉に據つて爲されて來たものであるか、是れは今後に於いても其の基礎的要素たるを失はない。而かも現今の如き意識的反動化せる社會的事象の下に於ては尙更必要と云はなければならぬ。而して總らゆる反動的勢力に對抗して宣鬪する事は勿論、最も重心を置かねばならないのは政治的結成是れである。政治的結成と云へば直に政黨運動の手段の如き觀念を呼び起すがそうではない。即ち是れを換言せば「力の結合」を意味する。此の「力の結合」が據つて以つて將來か××××のキャスティング・ヴオートを握るものでなければならない。現在に於けるブルジョア階級が其の斷末魔的最後の立場に喘へ乍ら、其の地位を支持しつゝあるものは畢竟するに現在の軍隊があるからである。此の軍隊の態度に據つて將來の運命は決する。故に「力の結合」は政治運動—選擧運動—も其の一部門ではあるが、最も關心を措かなければならないのは「力の組織的集團」たる所の軍隊であらねばならない。既に、軍隊其れ自身は國家の內外兩面を防禦し、而して時に據つて、他國に迄侵略する所の軍國的機關である。それは現在のブルジョアジーを擁護し、外に向つては殖民的搾取となり、內に於いては、勞働者、農民に對する階級的搾取維持の道具となつて居る。而かも其の構成分子を成す所の者は無產階級の子弟であり乍ら、同じ階級的利害の共通要素を持てる同胞に對して常に或は公然或は陰然の脅威を抱かしめて居るのだ。かるが故に吾等は先づ是等の同胞に向つて彼等の蒙を啓いてやらなければならぬ。

翻つて見よ！支那に於ける國民革命軍のあの潑剌たる意氣を！何者をも擊破せずには措かぬ所の熱と力を。

吾等は今や、往年の明治維新に於ける革命的志士を支那に於て觀る。此の意氣、此の熱、此の力こそは吾等今後荆棘の道を辿るもの〻精神であり、亦、それが吾等の目的を指示するものでなくて何であらう。

（第四十一頁よりの續き）朝鮮人二千萬のためには、高等普通學校（中學校）の數が十一校、學級數八三、教員數一八〇人であり、女子高等普通學校（女學校）二校、學級數十六、教員數が四十人であり、專門學校、京城帝國大學等の如きも日本人學生の方がはるかに多く入學させてゐる方針を採つてゐる。右に依つても植民地に於ける教育の本質と、その狀態が窺はれるであらう。

（ロ）思想關係

植民地に於ける勞資對立は又往々同時に植民者及び原住者の民族的對立に競合する。若し原住者の中に資本家勞働者の兩階級が發達すれば、對勞働者の經濟的關係に於ては植民者及び原住者中の資本家は共同利害を有する。

メーデの景物、或場面、
天の生

我が國農民運動の考察

平野吉三郎

我が國に於ける農民運動の歴史を探ねるならば、遠く室町時代及び徳川時代に於ける土一揆、百姓一揆にまで、遡登り得、近世的な農民運動も既に、明治八九年はその濫觴を發見し得るのである。即ち、明治八年岐阜縣揖斐郡養基村大字杵井に、小作地の競爭防止を目的として小作組合の組織されたのは、我國の勞働運動の萌芽とも見らるゝ明治十六年に現れた「車界黨」の運動に先つこと、八年である。

然るに都市に於ける勞働運動が著しく目覺しい活動を露しつゝあるに、反し、斯く古い歴史を有し我國人口の七割を占める農民階級？運動の比較的振はないのは何に起因するであらう。もつとも最近に至つて農村問題が喧ましく論議せられ小作爭議調停法等農村關係法規の續々議會に提出せられ出したのは例へばそれが、ブルジョアジーの一時を糊塗する下心から出たものにせよ、農村プロレタリアの地主階級に對する鬪爭の反映と見ることが出來るのであるが此れを都市の勞働運動に比較する時は尚は未だ遜色あるを否定する譯けには行かない樣に思はれる。之は實際運動の方面にのみ限られては居らないその理論的方面に於いて尚ほ然りとするのである。

實際に於いて農村プロレタリアが都市の勞働者以上の苦難をなめつゝあるに拘らず、尚ほ斯く農民運動の意識的な目覺しい活動の見られぬ因は種々あるであらう例へば、農村の多くが文化の中心地たる都市より離れて居る結果は、農村プロレタリアの智的向上を遲滯させ、又、地理的に、分散して居住して居ると云ふ事實は、農民の團結的活動を常に妨げる。然し斯る地理的原因以外に農民階級の自覺即ち階級意識の把握を阻害するのは農業の性質そのものに負ふ所も相當多いではなからうか。

即ち、農業生產は工業生產に比較して、生產技術の進步迅速でなく殊に小作制度の下に有つては直接改良進步を計るものは小作人階級である。明日の米櫃の料にも差し支え勝ちの小作人が莫大な費用を拂つて新機械、新器具の購入、又は土地そのものゝ改良等は到底不可能の事と、言はねばならぬであらうし、又我國は水田を主として營み地勢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が傾斜が多いと云ふ樣な理由も亦生產技術上の進步を阻害する。而して斯如く生產方法の變化の少いと云ふことは、必然的に生產關係の進步を促し得ず又、斯る狀勢の下に置かれた農村プロレタリアの保守的であり、地主と小作人との關係を主從關係となす、封建的、思想を多分に持つと云ふことは、當然のことであらう。

然し乍ら此の樣な原因が常に農民運動の進步を阻害して居たにもしろ、農民運動が社會運動の指導的勢力たる都市のプロレタリア運動との提携に依つて開發さる可きであつたと、言ひ得るであらう、此の事は實際問題として、常に我々の遭遇するところであり又最近に於いては農民組合と都市の勞働組合の提携を見るに至つたが、過去に於いて、農民運動と都市のプロレタリア運動との圓滿な提携を見得なかつたのは、或る一つの迷信に囚れてゐた結果ではなかつたらうか。即ち農村のプロレタリアと、都市のプロレタリアは常に利害が一致せず、否寧ろ利害相反すると言ふ迷信であつた。例へば農民は米價の騰貴を喜ぶのに反し都市のプロレタリアは米價の下落を望で居る。斯る現象は明かに農民と都市勞働階級との利害の相反することを說明するものだと說くのである。此の說は一時は相當に目覺めた農民運動の指導者達さへをも迷はした。

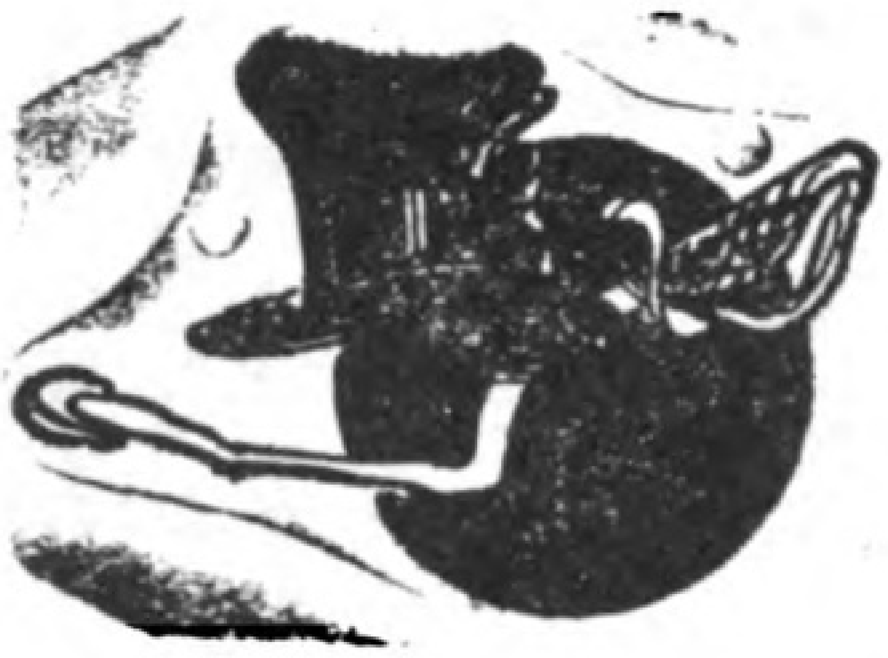
然しそれは農村プロレタリアも都市プロレタリアも何れも資本主義の搾取の下にあえぐ同胞だといふ觀念を忘れ、資本主義に依つてゆがめられた事物の外觀をのみ見、本質を把握することを得なかつた認識不足の愚論だつた。又、米價その他の農業產物の價格、昂騰はやがて、工業生產品たる農具、肥料、その他の生活必需品の昂騰を來すことをも忘れて居たのだ。前にも延べた如く、最近に至つて農民運動と都市のプロレタリア運動が追々く提携されるに至つて斯る迷信は一掃されるであらうが、それでも、未だ大多數の農民の頭に染め込み現に或る農民組合の指導原理の如きは斯る迷信に立脚しつゝある樣に見受けられる。

社會主義が斯る社會の根本的改革を目的とする以上、農業工業の有機的關係が了解せられずその完全な調和が遂げられなければ、經濟組織の根本は不徹底に終らざるを得ないことは言ふを要しないことである此の意味に於いても農村プロレタリアと都市のプロレタリアとの徹底的共同戰線の必要があらうと思ふ。

以上甚だ粗雜ではあるが、過去に於ける我國農民運動の著るしい進展を見得なかつた重なる原因を述べて來た。斯の如き種々なる農民運動特有の障害に加ふるに、ブルジョア階級の意識的彈壓政策は將來も尙農民運動に對し過去に於けるそれよりも更らに酷烈なる迫害と、種々なる壓迫干涉を加へて、其れが健全なる發達を益々困難に陷し入れるであらう。

然し乍ら過去に於いて斯る困難の下に鬪爭を續けて來た農民運動は益々勇敢に此の障害を突破し必ずやその歷史的使命を果すであらう。

（完）



「小作料の合理化」運動とは何か

神庭仲之介

一

人力をもつて變更するを許されざる自然的不利益に支配されつゝある我が國農村は、……例へば土地の高低、天候に支配さるゝ事等々……必然的に資本主義の技術的方面に適應する事が出來ない。即ち、土地の高低甚しき爲め機械を使用する事がむづかしいとか、農業が天候に支配さるゝ事は不可避的であるから收穫の結果を豫想し確固たる對策を立てるなどの事が出來得ない狀態にある。思ふに、資本主義の最も利益ある方面は技術を進歩せしめ、生産の增加を圖つた事であつた。この事は現在の大工場生産と封建時代の手工業とを對比して見れば瞭然たるものがある。かく、生産力を增進せしめ乍ら、現在の社會大衆は何故にその思想に與かゝ事が出來ないかと云へば、それは生産に必要なる生産機關が、一部ブルヂョアの所有する所となり、彼等の利己心によつてその生産の如何が左右されてゐるからである。資本主義が人類の共同生活を攪亂するといふ聲は、蓋し、前述の生産機關の私有から起つたものである。資本主義の庇護の下に發明改良されて來た技術的方面そのものは人類の福祉に絕對に必要なるものである。たゞ、それが現在においては搾取的社會組織の爲めに人類の福祉に貢獻し得られないのである。社會主義は搾取關係を撤廢し、技術的方面は完全に受けつぐものである。アナキストの人々は、大工場生産組織の如きを排斥せんとしつゝあるけれども恐らくこうした、主張は實現の可能性乏しいと云はざるを得ない。何故なら、生産力の發展は大量生産、大工場組織を、即ち秩序正しい分劵を前提とするであらうから。社會主義社會においては、需要は減少するものでない。物質に對する需要は文明の發展と共に增加するであらうから、

生産力を阻害する方法は極力阻止しなければならない。

私は論旨を本論へと引戻さねばならぬ。

で農業が極めて自然的制限を餘儀なくされ、資本主義の利益ある方面に適應出來ぬ事はすでにして述べた通りである。我國農村が如何に機械の代用に人力を多く勞せしめてゐるかは、いやしくも農村を一目でも見た人なら感ずるに違ひない。勿論、農業機械でも、稻扱機であるとかもみすり機であるとかを人力で否一歩進んで電力や石油で運轉して、この方面においては人力の節減されたのか見え、可なり昔日の觀がなくなりかけたが、一般的に見て未だに農村の機械化は幼稚であると云はざるを得ない。こうした技術を受け入る事か出來ない事情こそ、農村を衰微せしめた最大原因の一であると云はねばならぬ。農村は技術的に資本主義化する事が出來なかつた。

二

農村は以上の如く資本主義の長所は受け入れる事なくして、その弊害をのみ受け入れた。即ち、搾取關係は農村組織に君臨した。勿論、搾取關係は資本主義發生と共に初めて農村に君臨したのでは無い。明治維新以前の封建制度の下においても農民は搾取されてゐたのであつた。しかし、その搾取關係の形式は封建時代と資本主義時代とは一變してゐる。明治維新と共に除々として封建制度の搾取形式は變化したけれども、尚封建制度の遺物が農村組織の内部に今でも執拗に殘存してゐる。この點は恐ろく農村がかの工業の方面の村に革命的に生産力の飛躍がなかつたからでもあらうと思はれる。勿論農村においても、生産方面の進歩の跡は見えるけれども、それは極めて除々として漸進的であつた。到底、かの大工業への飛躍の様に花々しい目を驚かす様な狀態は見られなかつた。おそろく、工業の方面でも、もし現在の農業の樣に手工業的に除々として進歩してゐたなら、今尚封建時代の遺物が多分に殘つてゐたと思はれる、かういふ風に別に假定して見る必要はない。花々しい飛躍を遂けたと思はれる現在の工業の方面にも、尚封建時代の遺臭紛々たる工業に從事してゐる人を見る事が出來る。大阪の關西勞働組合(外に總同盟の脫退組と合同した)などには、そうした仕事に從事してゐる組合員もある樣に聞いた。工業方面にてもかくの如くであるから、ずるずるべつたりと資本主義制度へ後れてペンキを塗代へた農村に封建的遺臭の紛々とあるは盖し當然であると云はねばならぬ。

されば農村においては、如何なる方面に前記の封建的遺物が根を張つてゐるであらうか。吾人はこれを檢討して行かねばならぬ。盖しこの小論において企圖する所は、この農村資本主義に泥合する封建の流れを見究め、それと近時ほうはいたる農民運動との關係を見出す事である。

三

さて一瞥するに、吾々は農村内に多分に前記のおもかけがひそみ、それが今尚仲々の働きを爲して、その結果農民

は苦しみ引いては農業そのものゝ不振を生みつゝある事に氣づくのである。吾々はその城砦を小作料そのものに發見する。實に小作料制度こそは現下農村組織の中心根原を爲すものである。何故吾々がこの小作料をもつて封建制度時代から輸入したものであるかと云ふに、小作料の形式そのものが、封建時代のまゝに現在の資本主義的農村に受けつがれてゐるからである。封建時代において農民が負擔した額は、武士階級の納むべき年貢米と、地主の取得する小作料とを合計したものであつて非常に高率で、その爲め、如何に農民が苦心難澁したかは吾々のすでにして文書によつて知るところである。封建時代における年貢米は武斷的に決定されたものであつた。そして、その年貢米は耕作人の負擔する所であつた事は前記した通りである。勿論、それが一旦地主の手に入りてから上納さるゝ場合もあつたであらう。兎に角小作人は高率な上納米と小作料とを負擔せねばならなかつたから甚だ苦しい狀態であつた。彼等は全く武士階級の爲めに捨身になつて働く奴隷であつた。農地を捨てゝ逃亡する事は法の許さぬ所であつたから、彼等は米は武士や地主に納め、自らは屑米や麥を食べ、不作の場合には木の根や草の芽を食つてでも一生涯その土地に働かねばならなかつた。封建時代においては上納米が多額であつた爲めに地主はそう澤山の小作料を小作人から取得する事は出來なかつたのである。所が明治維新と共に事態は一變した。即ち武士階級は亡び、その結果當然年貢米も消滅した。そして、新しい租税制度が樹立されて來た。それは前者に比して比較にならぬ程輕いものだつた。一擧取得した者は地主であつた。今迄、年貢米の陰に少しづゝしか小作人から搾取出來なかつたのが、武士の滅亡と共に、年貢米と、從前の小作料とが共になつて地主の懐にころがり込んで來た。即ちかつて刀のつば元叩いて取立てた年貢米と、もう一つの地主への小作料とを合したものが、明治維新後の小作料となつた。大正十一年内務省の發表した統計を見れば、全國平均で地主五割五歩、小作人四割五歩と云ふ風に分配されてゐる。吾々は六割以上も小作料として取立てられてゐる地方も知つてゐる。

　されば、現在の小作料は小作人の意志など少しも省みられてゐない。頗る專制的な偏狹なものである。即ち自家の生活分の最小減だけ殘して、他を小作料として差出す式になつてゐる。

　現在の民法上では、小作關係を自由契約といふ形式にしてゐるが、それは結局名のみで、實は封建時代のそれをそのまゝ受けついでゐるのである。元來、契約なるものは相互の意志の合致してのみ結ばれるのにかゝはらず現在の小作關係の如きは小作人の意志は省みられてゐない。

四

　こうした封建的性質をもつた小作料を受けついだ事は、地主にとつては實に利益であつた。しかし、地主の如き不勞所得階級の利益の増加は決して農業の利益の増進ではな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い事を吾々は知らねばならない。果して、前記の封建的性質のまゝの小作料を徴收する事によつて、農村の疲弊は助れて來た。勿論、農村の疲弊は決してそれのみにはとゞまらないけれども、その最大原因の一つである事は否定出來ない事であらう。

農民は搾取されて貧困化して行つた。現在都會の増大して行くのは、農民の村から離れて行く證據である。元來、資本主義的生産の基調を爲すものは、利潤の獲得と、その蓄積によつて生産の擴大改良を圖るにある。然るに、農村においては普通一般から企業者とは做されてゐる農民に果して利潤を獲得する事が出來るか。吾々はすぐ絶して了ふ。現在の農民には利潤どころか、自ら投じた勞働の報酬すら納收出來得ない狀態である。甚だ心細い「企業者」といはざるを得ない。それは何故であらうか。即ち、農業そのものが甚だその生産が振はない所へ、高率の小作料を強要され、その上尚都市資本主義から搾取されるからである。尚、ブルジョアは自らの代表者である政府を通じて農民を搾取するのである。

かく農民の貧困、引いては農業の不振は四方八方からの搾取によつて深められつゝある。小作人は地主やブルジョアに、單に經濟的に搾取さるゝのみならず、亦政治的に頗る薄弱な地位にある。即ち、屢々問題とされる耕作權すら未だ確立されておらない。地主の所有權は横行して農民は苦しむ。されば、農民は何時引上られるか分らぬ土地を改良する爲めに盡力しようとしない。亦そうするだけの經濟的餘悠を、前述の如き搾取づめに合つてはないだらう。こうした狀況が如何に農業の不振を何時までも續けしめ、我々の利益を阻害するであらうかは、少なくとも心ある人は感づるに違ひない。私は、小作人が經濟的餘悠のない爲めに、肥料すらロクにやらない例を知つてゐる。肥料をやらない所に米

メー

友よ！
今日はメーデーだ
俺達はメーデーの先頭に立つて
進軍ラッパを勇ましく吹く
俺達のラッパの音調が解つたなら
俺達の行列に飛込んで來い
俺達は眞赤な情熱で
おゝ友よ！
お前達の參加を待つてゐるのだ！

時は來た！
森　行方に夏が待つてゐる
俺達にあ　夏　太陽のやうに
自由と正義と人類愛との情熱で
赫々と照り輝き
ブルジョア、イデオロギーを
雑草のやうに燒盡すのだ！
俺達の情熱の前には
ただ——
眞理の姿のみが殘るのだ！

友よ！
見よ今日のメーデーを
各國に行はれる示威運動を
フランスは北に向つての行列だ
ドイツは西に向つての行列だ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の出來る試はない。しかし、之をもつて小作人を責めるは愚である。罪は小作人にあらずして地主にある事を知るべきである。地主の極度なる小作料の徵收は當然の結果として小作人をして肥料なくして稻を作らんと考へしめるであらう。農民が經濟的に壓迫されつゝあると同時に、政治的に壓迫されつゝある。政治はブルジョアや地主によつて掌握されてゐるのであるから、必然的に農民の搾取と否一般プロレタリアの搾取と、消極的には現在の狀態を維持せんとする努力を中心としてゐる。されば、農民は單に經濟的に鬪爭するのみに止まらず政治的に行動して自らの結成を企圖しブルジョア制度の牙城を突破らねばならない。農民運動が政治運動をせねばならぬ理由は蓋しこゝにある。

五

商工業の事業において、その事業が時勢に影響されて非常に不利になつた場合、株主やなどが盛んに景氣のいゝ時と變らぬ樣に高い配當を分配し、亦それを貪つたなら、それはその事業そのものを滅亡せしめる結果を招來する。高橋龜吉氏であつたと思ふが、昨年か一昨年かの改造に「日本の資本主義は何故行詰つたかといふか」(もし間違つてゐたら許されたい)とか云ふ題の下に、資本主義の行詰りは、産業に巣喰ふ不生産的寄生蟲が利をむさぼり、それが奢侈の爲めに使用される爲めに招來されたといふ風に書かれてあつた樣に記憶するが、洵に日本の農業はその通りで、農業は今日の發展の爲めに資金を求めてゐるに關らず、不生産者たる寄生蟲によつて、經營者が餘悠ないまでも搾取さるゝ爲めに、農業は不振の日を何時迄も續けねばならない。

いやしくも、資本主義的社會における經營者たるものは、多かれ少なかれ今日の農業の發展に必要な利益を獲得するを正當だと信ずる。こゝにおいて、封建的小作料によつて

デー

イギリスは東へ向つての行列だ
ロシアは南に向つての行列だ
イタリア、アメリカ、シナ皆々は
おゝ
みんな異つた方向への行列だ！
が――
各國の示威運動が同じ方向に
頭と尾と、尾と頭と
鐵鎖のやうに連結して
地球を一週したその時
おゝ、そうだ！
俺達の望んだ時が來るのだ！

友よ！
俺達の進軍ラッパに歩調を揃へよ
勇々しく參加して戰へ
今日はメーデーだ！
俺達は死してもなほ
ラッパを吹く事を忘れないのだ！
萬國に散在する友よ
參加せよ、參加せよ
×××××に飛沫を浴びて
勇敢に戰へ！
今日のメーデーに。

田中政義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苦しめられつゝある小作人の境遇を引上げ、引いては農業の振作する爲めに、農民に垂れ下る封建的遺物を一掃し、資本主義的生産治下における經營者たらしめんと、即ち資本主義的小作人たらしめんとする聲が起つた。それは「小作料の合理化」とかいふ樣な聲である。之こそ農民運動を現實的問題として取扱ふ問題である。農民運動は手近い所の封建的遺物に惱みつゝある小作人を救濟して、小作料を合理化して少なくとも資本主義社會における耕地經營者たる小作人にまで引上げんとするのである。小作料の合理化とかいふ努力は、封建的狀態に支配さるゝ小作人をして、資本主義的小作人たらしめんとするものである。されば「小作料の合理化」などの聲は、それ自身農民運動の終局の目的ではなく、たゞその一過程における一手段なるに過ぎないのである。農民運動の終局の理想は社會主義を建設する事でなくてはならぬ。その爲めには、農民運動は全プロレタリア運動にまで進まねばならぬ。即ちプロレタリア階級運動の一翼として鬪爭する事を必要とする。農民と勞働者は握手しなければならぬ。それなくして解放は夢想だ。

六

吾々は何故に農村から資本主義を排除せねばならぬかは今更事新しく說きつくす必要はないが論旨の徹底を圖る上は記したいと思ふ。それには農村が何によつてかく疲弊してゐるかを再考すればいゝ。

農村の疲弊する根因を尋ねれば、一に、封建的臭味を多分に有する（それ故に非常に小作人が苦しむ）資本主義化した農村制度、二に技術的に農村が資本主義化し得ぬ爲め、三は都市資本主義よりの搾取、四に資本主義的政治による搾取等に、まあざつとこんなものであらう。資本主義の唯一の長所であつた科學の進步と、農村が適應しない限り農村は資本主義の爲めに常に苦しめられてゐたのである。

こうした疑問があるだらう。「君は技術の發展をもつて資本主義の長所であると云ふか、技術の進化は社會主義社會においてもあり得るのだらう。」と

この答へは明白だ。資本主義は技術の進步を促進した事は蔽ふ可からざる事實だ故に技術の進步をもつて資本主義の長所であるとするのだ。しかし、この長所は、當然資本主義の子供である社會主義が受けつぐに至る事は明白だ。社會主義社會においては恐ろく資本主義社會以上に技術は進步するだらう。

亦こうした疑問もある。

「農村は資本主義の利益ある方面に適應しないけれども、都會は完全に適應してゐる。されば都會においては資本主義は萬歳ではないか」と

この答へも明白である。もしこんな疑問をもつ人があるなら私は、その人に社會主義のＡＢＣからお初めなさいと云ふより外ない。都會は資本主義の利益ある方面に適應してゐるが、資本主義社會組織はその上にブルジョアの獨裁權を振はしめプロレタリアは貧困化して行くのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合同盟全國大會の記

利根榮

日本勞働組合同盟創立後六ケ月間の總決算は、何を組合同盟の上に印したであらうか、又何を今後の組合同盟の活動に約束したであらうか?。

只そこには所謂中間派として立場を鮮然として固執し、將來にも現在及過去の運動方針を反映させやうとしての努力を、そしてそうさすべく自己の運動の上に約束したに過ぎない。

我々の期待は完全に裏切られてしまつた。將して我々の運動に、即ち勞働と資本の對立抗爭の過程に所謂中間派と稱し、中間的運動の存在を意識し得るであらうか。

我々は否と答へざるを得ない。最早階級的內的對立の効用性は、既に一應規定され、認識された筈である。認識されたと云ふ事は既にそれ等の對立の闘爭が一段階の過程を經た事を意味し得るものではなからうか。

我々は斯く信ず。

斯くして認識された上に來る段階は如何にしてそれ等の對立を同一線上に結成すべきか?。尙結成される處に在る。

この意味に於て我々が日本勞働組合同盟の全國大會に現れた一切を批判し觀察を下す時それは現在の日本勞働運動の飛躍點を、意識的に否定し、意識的に矛盾の上にたたき着けやうとして居る事を識る。

先ず發表されたる宣言に於て然り。

宣言を一貫して流れる處の主張は、戰線の統一と、左右兩翼に對する闘爭の必然性に在るが、然しその主張を前後して論及なさしめてゐる處の文字は、それは眞の統一のための統一にあるのでなく、又統一への段階としてその左右兩翼への闘爭でなくその一切は、所謂組合主義的利已主義に依る欺瞞的なそれである。

尙議事日程二日間に於ける、議案の討議に於て見る中央の態度に於ても又然り。

最も重要視されたる全國勞農組合會議の提唱、日本勞農總聯合積極的擴充に際する決議案。これ等は何れを討議するも階級的共同戰線への、即ち統一を他にして論じ得る事は出來ない問題であり、殊に、組合同盟が、且つて總同盟から分裂する當つて掲げたるスローガンの『我等は階級的正道を確立する』のそれが組合同盟指導精神の一切であるとするならば、この問題は、現在の日本の運動の大勢から言論され討議されなければならない。

然るにこれ等に對しては組合主義的であり、又は政治的見解の異なるの名目に隱れて、自己の結成より一歩も出なかつた事を以つて組合同盟の運動方針に指導精神を意識的に日本の勞働運動の飛躍點を否定し得ると云ひ得るであらう。

又支那南方政府承認の件に至つては、全く言論封鎖に等しき態度を示し、太平洋勞働組合會議積極的支持の件が動議として提案されるや議案として成立を拒み更に建議案委員會に握りつぶし運動を劃策するに至り斯くして國際的運動も闇に葬り去られ一切は自己の矛盾を意識的に醸成しつゝあるこれ等が組合同盟第一回大會の大體である。

然し日本勞働組合同盟の構成の全部を擧げて斯くしたものであると云ふ事は出來ない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

正義の闘ひだ

眠れる我が町民を欺き、その生血を吸はんとする恐るべき毒牙は四角八面より迫つてきた。吾が進め社膳所支局は、惡辣極まるブルジョアと××共の行動を監視し、時あらば天に代つて制裁の一擊を加えんと待ち構えてる。

一、彦根共産黨事件に對する警察の不法行動。一、東洋レーヨン會社(三井系)滋賀工場の不法極まる人員採用行動。一、旭絹織會社膳所工場の違反事件。一、膳所町長問題に關する野心家共の策動。

一、滋賀縣代議士のからくり。等。

差當り此の數件を片付けて行く心算だ。一擊の下にやつつけて了はなければ駄目だ。正義の前には何者も無いのだ。吾等に勝利の與へらるゝ事は決定的だ。

勇敢なる我が兄弟姉妹よ！自己の居住せる所のブルジョアと、それを擁護する××共に速かに××せよ！正義の前に躊躇するな。正義は絶對だ。【滋賀縣 木下正】

恐るべき搾取

「進め」四月號見た。勇躍だ！躍進だ！潑溂たる内容は、物凄い風雲を捲き起こしそうだ。編輯の鮮やかなる事、正に一流雜誌の編輯者である。誇張する譯ではないが、實に「進め」發刊以來の名編輯である。殊に、素人に氣の付かない點に迄實に容易ならざる苦心の織り込まれてゐる事には、吾々敬服の外ない。僕は今日迄、社會主義雜誌で「進め」四月號程の、名編輯をした雜誌を見たことがない。全紙面を通じて一點の非の打ち所もないのには驚異せざるを得ません。極く近まで東京で或る婦人雜誌の編輯をしてゐた經驗のある僕は、遙か岸和田の一隅より「進め」編輯子の恐るべき手腕に對し、滿腔の敬意を表します。

我が岸和田に於ける岸和田紡績の横暴なる搾取振りは、既に今日迄凡ゆる方面から非難攻撃の刄を受けてゐますが、最近に至つては實に言語に絶する状態であります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

工場法の蹂躙、人道の無視今や殆んど其の極に達してゐます。

佐野、高石等の田舎から出て来て働いてゐる可憐な少女達の頭上には、如何に怖るべき搾取の手の延ばされてゐる事よ！

【岸和田 岡村俊明】

共同戦線へ

春光がキラ／＼と照り初めるにつれて山々谷々の残雪が消える。すると其の下から若草の芽が萌え出づる。

一度普選が通過すると森羅萬象の雑草が、我れ先きにと巧名を争つて、恰も餓犬の屍を得た如く、無産者の為め、無産者に同情するものなりと、喇叭を吹き鳴らして曰く何党、曰く何々党と無産階級を標榜する旗幟を薫風に翻へして居る。其の誠意の有無を問はず誠に結構であるが、既成政党の様に我党の福利増進にのみ没頭し、其の機関紙の全面が皆同志喧嘩の記事のみで埋められてゐる。資本家は喜んでゐるであらう。實に憫然の至りである。

雨後の筍の様に生へ出づる無産政党の幹部諸君よ、起つた時の目的たる資本家と戦ふと云ふ事に思ひを致して、鉾先を資本家に何故向けぬ。道草を喰ふ事を止めて早く目的の彼岸に達し、理想の社会を建設すると云ふ事を忘れてはならぬ。敵は大軍である。味方を整へよ。

【大牟田 小松道俊】

憎むべき専売局

官憲の横暴、資本家の冷酷それは今更ら事新らしく云ふ迄もないことだが、最近我が茨城県に起つた一事件がある。

我が茨城県は煙草の名産地として古くから世に知られてゐるが近年耕作者は、年一年と減少して行く。そして煙草耕作地は桑園と化して行く。一方水戸専売局では、必死となつて喰止め策を講じてゐるが、農民は煙草耕作を省みない様になつた。其の理由はこうである。

煙草を耕作するには、二月頃種まきをして苗床から畑に移植するのは、六月初旬であるが、此の間毎日何回となく、手入れをしなければならないのである。而して移植してからは、より一層の手数を要するのである。専売局へ売るのは翌年の一月頃になるのであるが、此の間、自ら耕作した葉煙草を一葉でも吸はふものなら、それこそ大変である。五十圓以上の罰金、三年間耕作禁止と云ふ事になるのである。

兄弟！少し考へて呉れ！農民で無くとも一年間、心魂を打ち込んで耕作した物が出来上がつた時は誰でも、試食、否試吸したいのは人情の然らしむる所ではないか？それのみではない。此の葉煙草を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

納付する日は、彼等官憲の嚴重なる檢査の下に納付するのである。而して不良の物ありし際は、其場で燒却して了ふのである。農民が一年間血と汗を注いで漸く造り上げた煙草の、如何に多く燒却されるであらうか？其の結果、農民の取得する金は、極めて僅かなものである。諸君！此の葉煙草程、肥料に適したものはないのである。若し不良で買上げる事の出來無かつた時は、何故其れを肥料にさせないのであるか？其れを耕作者に返付するのが當然ではないか！何たる冷酷であらう何たる不經濟であらう。

諸君！未だそれのみに止まらない一般の農民は煙草を耕作するに當り肥料を求めねばならぬ。然るに肥料代を現金で拂へる樣な農民は殆んどない。此の弱點を知つてゐる專賣局では、肥料商と結托して、肥料代を納付日に支拂ふと云ふ契約を強制的にさす。納付日になつて、農民には假令明日食ふ米が無くとも、そんな事にはお構ひなく、專賣局の會計で差引いて商人に支拂ふのである。此の重なる横暴と冷酷に憤慨した農民は、煙草耕作の愚を知つて年一年と、耕作するのを止める者が增へるのである。

【茨城縣　川田紅葉】

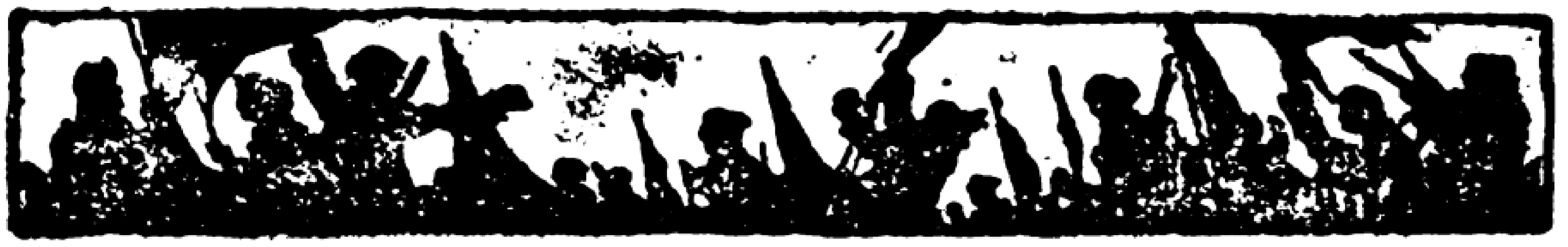
農村の現狀

食へなくなつちやいくら百姓樣でもボカンとして居られない。離村轉職する。農を卑んで忌避するものではない。共存共榮相互扶助に依つて立つ農村は今や純然たる資本主義化し、二十世紀の文化都會中心の誘惑は、農村を破壞した。我等は如何なる勞力も惜しまない耕し、蒔き、刈る。全身のエネルギーを絞る。夫れに比例して都會は、農村を搾取する。もうチットして居られなくなる。

山を漁り獸を捉へて木の實を食つたのは祖先人類の自然生活である。我等はそれを憧憬するものではない。否大いに憧れる。が現代では單に憧れに止まるのみ。

種の播殖の增大と共に二十世紀文明は、山間の僻地の片田舍に製絲の煙突が一つ立ち、洋服、眼鏡が頻りと出入し、村役場はコンクリートに改築され、カーキ色の青年が跳ね返り、老人の口にも、若人の口にも憲政會とか政友會とか云ふ語が上せらるゝに至つた。彼等は云ふ。國家の發展と。我等は此の發展によつて苦痛を增すのである。租税が高まり、負債が出來、祖傳來の所謂美田も賣らなければならなくなるのである。此れが食へなくなつた果の處置である。勞働は神聖だが食へなくなつちや我慢は出來ない。農は國の基だ、なんて氣取る餘裕はなくなる。都會へ、鑛山へと走るのである。況んや小作農民に於いては、一層その度合が激烈だ。地主の息子は藝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



者買ひから縣會議員と出しやばる毎に地代加持子米は上る。我が子の義務教育處か、子守徒弟に追ひ遣つて一家の經濟を救はんとするのだ。

これ要するに資本主義は農村を疲弊さしたのだ。都會搾取が酷烈な爲だ。吉凶禍福を共に味つた村人達の美しい傳統は、今やその影すら見えない有樣だ、隣家はどうでもよいのだ。自分が食へなくなつた。

階級が生れ、權力がのさばり、生産の器械化、商業化の環境の中に獨り農村のみ平和な生活が續けられ樣筈がない。

帝國主義が行詰り崩壞せんとする秋、轉職して安身立命を求めんとする農村青年の頭腦は、思へば餘り幼稚だ。無自覺だ。この無自覺が又一層、農村を荒癈さす所以である。試みに農村に一度足を入れよ。熟視せよ。町には商店が簇出し、米を作くる百姓が食糧を買入れる事を。百姓では食へないから農村は疲弊するのだ。

二十世紀の腐爛せる都會文明よ汝は何處に行く。農村を置いて都會を中心とせる文明よ、而して資本主義よ。疲弊せる農村を汝は如何に解決せんとするか？

【高知縣　佐根泰郎】

農民黨を撲滅せよ

前號の『進め』全土戰報欄、村山銀次郎氏の記事は適切だ。俺も何日か無産者の敵、萩原正清をやッつけ樣と思つてゐたのだ。

昨年、俺は萩原を訪問した際の彼の話には驚いた。これが日本農民黨富山縣顧問かと思つて少々情けなくなつた。其後、仲間の一人である健名喜一郎なる低腦兒も農民黨に關係してゐるのを見て、成程、日本農民黨には、ドエライ者許り揃つてゐると思つた。

彼等は無産農民の味方であるらしく粧へるも其の實、資本の協力者であることを曝露してゐる――前號村山銀次郎氏の稿參照――彼等は富山縣には、我々がゐると云ふ事に氣付かないのであらう。

彼等の運動費の出所は我々には判つてゐる。それは無産者の血を搾取した資本家の金庫から出てゐるんだ。

低腦兒健名が常にスパイの家へ遊びに行つてゐる事は世間周知の事實だ。そして農民黨のやる事が凡べて、官憲公許の下にやつてゐる事も否定すべからざる事實だ。

俺は昨年、戸出の××（廣瀬）の爲めに、六ケ月の別莊生活をして來た。そして其の爲めに母親と一人の弟とを捨てた。出獄以來、及ばず乍ら奮戰してゐる。縣下の無産者を×××へ導くべく死を賭して戰つてゐる。そして無産者を僞はる日本農民黨撲滅の爲め身命を抛つもりだ。

彼の吸血兒萩原や、低腦兒健名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を我が富山縣下より放逐し、日本農民黨をして再び富山を語らしめない様にしなければならぬ。【富山縣　吉田一郎】

闘ふ女工

私達女工は、牢獄に等しい宿舎に押し込まれ、犬猫にも劣る飲食物を供せられて毎日々々資本家の惨虐なる搾取振りに憤慨しない事はありません。

職工長、監督等の顔を見ると鬼の様に見えます。朝早くから叩き起こされて、夜の十時迄夜業をさせられるのには、如何に無智な私達と雖、默つてゐる譯には參りません。私達女工二百餘名は、現支配人小倉の傲慢に憤然と起つて四月一日同盟罷業を敢行しました。私達の工場は碧海郡矢作町、合資會社丸一製糸場です。

處が會社の顧客先である加藤、中野の兩名は、調停すると云ふ美名に隠れて、私達を欺き、罷業女工の切崩しに狂奔してゐるのであります。然し、私達女工の結束は牢固たるものです。斷じて裏切り者は出ません。

警察の奴等も干渉してゐるが、決して其んな威嚇に脅える様な者は一人もゐません。壓迫すれば、する程、より團結が强固になるばかりです。私達は飽迄も闘ひます支配人小倉排斥及び待遇改善を要求して。【愛知縣　田澤逸子】

搾取と支配

人間が人間を搾取し、人間が人間を支配し人間が人間を冒瀆することは戰慄すべき罪惡である。それは個人的たると、社會的たると國家的たるとを問はず斷じて許容すべからざる罪惡である。

然らば此の罪惡を、此の社會から芟除するには如何にすれば良いか。それは現資本主義制度××××××××に依つて果される。即ちブルジョア本位の現社會を×××××することに依つて解決されるのである。

此れを説くのが社會主義である。然るに、我が無産階級中に、社會主義は國を滅ぼすものであるとか、社會主義は×××××××××××××するものであるとか、日本をロシアに賣らんとするものであるとかの下らない事を、知つたか振りして、世を警めてゐる者がある。社會主義は××××××××××××して其の目的を達したものとするものではない。實に、××××××××にある。今日の民衆は前記の様な分沒漢の言を輕卒に信じて、日本の社會主義は恐るべきものだ、日本の敵である等と實に笑止に値する觀念を抱いてゐるのには些か悲觀せざるを得ない。

然し、どうした處で、先覺者の言は、初めは嘲笑されたり、排斥されたりするものであるから、根強く、氣長く、而も大地を踏みし

めて運動をしなければならぬ。そして人間が人間を支配し、人間が人間を搾取する様な不合理な社會を××××××すべく勇敢に突進しなければならぬ。【佐賀縣 栗原生】

罪人は悪徒か?

三月號の全士戰報で中山學堂君の「咄!罪人製造」を讀んで、痛切に感じたことは、日本全土に此の種の事件が、どれ程多いか知れたものでないと思ふことだ。早い話が一昨年、金澤九師團管下に起つた一兵卒の共産主義の軍隊宣傳事件の軍法會議にしたつて、矢張りその通りの罪人製造であつた。高岡市に於ける沸尿社の事件にしても矢張りそれである。その他此の種の犯罪製造は至る處の新興思想青年の上へ加へられて來てゐる。

俺達は當局の誤裁を正し、飽迄賠償の道を講じ得るやうに運動しなければならぬ。そして前科者となるのは良いとしても、一生を通じて受刑者の受ける損害は恐らく當人以外の者に分るまい。あの人達は皆正當な人達なのだ。弱肉強食の世の中には相違ないとしても國民の血税や租税で生意氣に、ふんぞり返つてゐる連中には解るまいと思ふのだ。弱肉強食が本當なら、その様に最初から教育したらいゝではないか。南市長の様に金の力で地位を得、學位をとつて、妾の七八人も飯米と小遣錢で養つてゐる人で、始めて法律の保護も受けることが出來るなれば世の中は眞暗だ。私は恐ろしい裁判の現實を曝露した中西伊之助著の「人生記錄」と云ふ本を進め讀者諸君に讀んで頂きたいと思ふ。滿更嘘は本には書けぬものだ。發賣禁止と云ふ奥の手も官憲にはあるのだから。俺は世の中からこうした不合理を全く無くしたいと思ふ。市長などゝ云ふ様な者もいゝ加減なもので前の上野市長にした處で、政界へ這入つて此の方、碌な事はしない。南市長だつて色々な風評がある。【高岡市 K・O生】

大衆の友社會主義

近來、社會と云ふ文字は新聞雜誌其の他各方面において、非常に多く使用されてゐる。而して其の社會と云ふ二字には危險性を帶びてゐるかの如く解せられてゐる。然しそれが如何なる意味で危險視されてゐるのか判らないが、多分社會主義なる文字より來る先入的危險觀が其の因をなすのであるらしい。然らば何故、社會主義は危險視さるゝのであらうか?世人の多くは社會主義を危險思想とし、危險思想と云へば直ちに社會主義を連想する様な誤まつた觀念を持つてゐる。誤解も亦甚だしい。而して社會主義を危險思想なりと說いてゐる者の凡べては、果して社

會主義の眞の目的とする所を知悉してゐるであらうか？否！其の意義すら判つてゐない。

然し又一面より云へば社會主義の危險視さるゝのも無理ではない何となれば社會主義は、現社會を××して新らしき社會を創造せんとするものであるからである。社會の支配者にとつては實に危險なものであるに相違ない。然し資本家と其れに附隨する權力階級とを除いた以外の國民即ち、無產階級にとつては、此の社會主義以上の良いものはないのである。資本家には危險思想であるが、無產者には歡迎すべき良いものである。

諸君！考へてみよ。人間は生まれ落ちる時、お前は支配者たれ、お前は被支配者たれと宣言されてゐる譯ではない。即ち、平等に生れてきたのである。然るに生長するに從つて段々と人間と人間との間に階級づけられて、吾々プロレタリアはブルジョアに支配され、搾取され、××されてゐるではないか。人間は凡べて平等に生きねばならないにも係はらず、非道なる支配と壓迫とを受けてゐるのである。平等の生存を蹂躙され、人間としての權利を剝奪されてゐるのである。

人間は地上に生きてゐる間は、社會の文化、文明の開發を企圖しなければならぬ。社會主義は實に社會の文明を、より向上せしめんとするものに外ならない。凡べての人間に自由を與へ、平等に生活せしめんとするものである。貧富の懸隔は人間を階級づけるものであるから其の貧富の懸隔を排除しようとするものである。斯くの如く社會を平和に、人類を平等に仕様とする社會主義の何處が危險であるか？何人と雖も、熟思三考すれば判る所である。

然るに日本魂とか、建國の精神とかを有してゐると云ふ自稱國士連中は社會主義を撲滅せよの、社會主義者を國外へ追放せよのと盛んに迷論を並べてゐる。彼等はゴロツキである。資本家より金を貰つて社會主義を敵とするものである。若し社會主義者が彼等に金をやれば、彼等は直ちに社會主義の味方をするであらう事は確實である。彼等は要するに、生活せんが爲め、社會主義反對を口にしてゐるのである。

亦、政府も、資本家の味方をして國民を度外視し、治安維持法とか、勞働組合法とか、健康保險法とかを作つて無產者を壓迫し、無產者の生活をして、より逼迫せしめつゝあるのである。

彼等と我々は敵である。彼等と[illegible]は實に戰爭である。國民は、政府、資本家の様に國民の利害を無視するものと、社會主義の何れが是であるかを遂に悟らざるを得ないであらう。勝利は我等にある。社會主義の掲ぐる×××集れ！【大阪　三木田善太郎】

山陰の戰陣

■吾等は山陰の中心地米子に支局を維持する事茲に五年、同志手をつなぐ僅か六百、少數なれども自ら無產階級の精鋭を以て任じてゐる。裏山陰の農民勞働者を警醒せしむるにいさゝか力を致せしものである。

■政治運動は少しも振はない。吾等は政治運動は都會においても無產階級の團結を破つて了つたを遺憾とし、何れの政黨にも參加しない事を宣明してゐるので、從つて組合員中にも政治運動には熱がない。勞農黨は山陰に確たる地盤を有してゐると無產者新聞などが書き立てゝゐたが、あれは例の通りの虛報で、たつた十人計りの代議士病にかゝつてゐる者の宣傳に過ぎない。去る三月下旬大山勞農黨總裁らしく山陰に巡閲され講演會を開かれしも多數の傍聽者たる組合員は大山氏の演說半にして堂々と退場して了つた。

■しかし眞の無產政黨が生れた時は、山陰に於いて優に十萬の黨員を集める事は決して難事ではあるまい。勞農黨は獨よがりの排他的既製政黨であるから批判力に富んだ山陰の無產者は受入れる事が出來ない。實に山陰人は聰明である。政黨でなくとも政治運動は出來る事は知つてる。內訌多き政治運動を避けて戰線を強固にすべく努力してゐる。都會から來た某氏は云つた。「山陰は政治運動が分らぬ程幼稚である」と、私は答へた。「決して都會の野心家の御先棒はしない喰物にはならない、山陰を攪拌に來る奴には命を取る」と云つてやつた。實に山陰は山間僻地であるが健實性を多分に有してゐる。

■農民運動は實に盛んである。恐らく全國で最大強の所であらう。去月元の山陰聯合會の創立者であつて、一年の入獄中に泥幹一派の爲めに乘取られ、敢て騷かず去つた湯原彥三君は組合員の懇請によつて歸郷した。日本農民組合を脫して集まる者一萬人、島根縣の山崎、安達、山根の諸君全員を擧げて參加す。實に總數二萬人、他に未組織農民の馳せ加らんとする者又多し。半歳の後、三萬有餘人とならん。實に前途洋々たるものである。同組合は杉山氏等の全日本農民組合に屬してゐる。

■前本和夫の郷里、東伯郡北條村も全員殘らず全日本農民組合に加盟した。泥幹の哲學製造者も大衆の聰明なる限り一蹴されて了ふのである。

■松江市に平民新聞社と稱する男あり。桑原洋次郎なる地主の後援によつて島根縣聯合會を攻擊してゐるが何等勢ひが無い。大衆の笑ひ者である。元政治研究會支部の會員をごまかした男である。これが勞農島根支部長であるから、各地の勞農黨も大低うなづかれて

了ふ。米子に於いては安田刑事の情婦を母にもつ坂本一郎あり。京都評議會にて國領吾一郎に妻を奪はれ煩悶の結果自殺せんとしたところを、湯原氏に救はれて山陰に來たりしも湯原の入獄中湯原の追出策を企てし佐々木隆太郎も例にもれず泥幹である。その爲めにかゝる輩を山陰に存在せしむる事は百害あつて一利なしと云ふ聲が山陰の農民勞働者の中に叫ばれてゐる。

殺人會社を屠れ

【鳥取縣　服部芳象】

彦根共産黨以來、暴壓と失業とが一度に襲つてきた私は、一日も無駄にせず運動してゐる。

此處に、ブルジョアが露骨に、平然と、大規模に殺人を行つてゐるのを目撃した太田兄と私の全身の血はほとばしつた。私は太田兄と共に食はんが爲め、殺人會社の職工募集に應じたのだ。殺人會社

それは旭人絹である。工場の外は近江八景で名高い粟津ヶ原、名ある所丈けにブルジョアの群が酒汲み交はし談笑してゐる。片方、工場の内では幾百の同胞が貴重なる自己の身體を傷けながら食はんが爲め、死の淵へ一歩〱と陷りつゝあるのだ。何と云ふ對照だ。私も太田兄も共に此の紡糸科と云ふ處へ入つた。強烈な硫酸を使用する關係上、手ははれ上がり、眼は針で突く樣に病む、實に焦熱地獄だ。

文明は人を殺す。之れ皆ブルジョアに依つて露骨に行はれてゐるんだ。文明は直接に人を殺さないが、その文明を利用せるブルジョアが吾々プロレタリアを殺してゐるのは確だ。

排氣設備不完全な爲め、毒瓦斯は室内に充滿し、中途退出者續出し、殘りの者は晝食を取る暇もない位にこき使はれるのだ。初日給八拾錢、八時間勞働は一片の紙屑に書いたホグに過ぎない。十二時間程の勞働をさゝれてゐる。會社側では八時間勞働八十錢では生活出來ぬであらうから十二時間働かしてゐると涼しい顏をしてゐる、八時間でなければ衞生上惡いと云ふから八時間制度になつたが食へないと云ふ事を知つたから十二時間働かしてゐるのだ。衞生上惡いと知りながらも食ふことの出來ない爲めに職工も十二時間働いて、漸く其の日〱の口を糊してゐるのだ。而して死の淵へ陷つて行きつゝあるのだ。

壓迫と屈辱に忍從してゐた職工も遂に起つた。が堀井寅次郎なる裏切者の爲め見事失敗した。そして二人の犧牲者を獄屋へ送らねばならなくなつた。吸血鬼は凱歌をあげた。殘念だ！畜生！生きる權利を主張すれば失業し、戰へば獄に入れらる。何たる慘虐だ！暴虐だ！畜生！覺えてろッ！

私は病氣の爲退社した。太田兄

も解雇された。汝ツ！屈服するものか。我々は何處々々迄も戰ふんだ。正義を翳して生きる權利を主張するんだ。

旭人絹のみではない。全國に散在する幾多の人造絹糸製造職工は皆、斯くの如くにして殺されつゝあるのだ。人造絹糸製造職工ばかりではない。凡ゆる生産に從つてゐる吾々の兄弟無産者は、ブルジョアの爲めに全部殺されかけてゐるんだ。

全國の無産の兄弟姉妹よ！起てそして旭人絹の如き横暴極まりなき殺人會社を階級戰の××として槍玉に上げよ。無暗に彼等に殺されるな。【滋賀縣　伊藤誠一】

鑛毒問題

北見の一角に住友の弗箱たる鴻ノ舞鑛山がある。そこからはブルジョア・閥を賣るとも何惜しからずとなす黄金が堀り出されつゝある。

然り！幾百の我等の兄弟は彼等の虐使に色青ざめつゝ鶴嘴を朝夕振りつゝあるのだ。

それのみならず、鑛毒の爲め極度の生活に脅かされつゝあるのは鑛山より俺の村を通つて流れる紋別川の下流にある漁民である。鑛山よりの流出する鑛毒は、美しき河水を泥色に染め、而して一匹の魚だに棲むことを許さない程猛烈だ。故にその下流に漁業を以つて生活の資料となす紋別の漁民は必然的に食を奪はれる。鑛毒の猛烈さは從來の何回にも亙る分析試驗によつて決定されてゐる。

此の鑛毒問題は新聞紙上に報導されるや、狡猾なる住友は、十二萬圓を以つて漁業區の一、二を買收し、そして責任を免れんとした。然し問題は一、二漁業區の買收に依つて解決される樣な簡單なものではない。何となれば、食を奪はれたのは買收された一、二の漁業區の漁民だけではないのだ。附近一帶の漁民全部は食を絶たれてゐるのだ。而して彼れ住友は此等の漁民に一言の挨拶もないのは冷酷と云はずして何である。

住友は殺人行爲をやつてゐるんだ。而かも此の殺人行爲を默許してゐる紋別警察署の御用振りには驚くの外ない。吾々は貴樣達の手に依つて救はれたくはない。吾々には日本全國の無産階級があるんだ。【北海道　北村陽之助】

タイムスに與ふ

北陸タイムス紙は第六千五百七十九號の第三面へ二段抜き見出しを以つて

赤く危險な奴等
縣下各地に分布（以上初號）
縣外から流れ〳〵て入り込む（二號）
浮草の如く居所定らず（二號）

なる題下に十五字詰二十行の記事を載せてある。それに依ると近時學生、青年などの思想が惡化に傾かんとするの風ありとて當局は憂へてゐるそうである。そして富山

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

縣下に於ける危險人物、要視察人等を調べて見ると云々。[illegible]川、高岡、東礪波の福野町附近の某村には赤い奴がゐる云々の俗に云ふ惡口記事が書かれてある。

由來、北陸タイムスは本縣下に於て他の如何なる新聞よりも多數の讀者を有し、主筆の內藤隆氏の健筆よく時事を論じ、公正中平なる國家民人の木鐸として一般人士から貴ばれてる社會の公器である故に新聞と云へば縣下では小兒と雖、直ちに北陸タイムスを想像し得る程の勢力を有するのである。

敢て論ずる迄もなく、批判なき煽動記事を掲げて他を中傷するは、公人の恥とするところ、罪惡でもあり、タイムス紙が常に云ふ惡德でもあるのである。

然るに何ぞや、北陸タイムス紙は、赤く危險な奴輩とは何ぞ、浮草とは何ぞ、福野附近某村とは何ぞ、赤のやつとは如何なるやつぞ。吾人は敢えて主筆內藤隆氏の釋明を必要とす。而して近時の公人及び其の機關が、口を開けば惡化、筆をとれば危險、進んでは北陸一帶に拔く可からざる宗教的勢力を有する本願寺の布教師諸君までも是に雷同さるに於いては吾人亦、禿筆を柯してその依つて來たる處を明かにしなければならぬ。赤、危險、奴輩、思想、惡化、やつ、浮草、斯うした活字は一般人に如何なる印象を與ふるか、批判力なき多數の國民が、その信賴する言論機關及び指導者の、嫌惡すべき文字文句の羅列を如何に聞き如何なる事を思惟するか。これ等の文句は論理なき決定であり、偏惡觀念徵發の意識的暗示である斯くの如の日常の宣傳は無意識的に或ひは意識的に對者の頭腦に注入蓄積されて潛在意識化し、一朝事變の際に於て、人間社會のソリダリテーの上に大打撃を與へるものであることを忘れてはならぬ。十二年九月一日の關東大震災が如實にこれを立證したではないか。

北陸タイムス紙よ、礪波は否、富山は未だ封建の夢の温もり全く去れる所ではなく、プチ・ブル今や漸く普選に乘じて擡頭せんとする傾向しか持つてゐない。大資本と全勞働、そうしたもの、具體的對立は構成されてはゐない。如是言をなすが故に早計にも吾人を赤と危險と奴輩と思想惡化と浮草とやつで葬らんとするか、パイブルの言葉を引用する迄もなく他人の眼の上にある塵よりも自己の梁、先づその立場に自覺せられたい。批判力なき國民を誤れる方向に指導することを愼まれたい。貴紙の謂ふ「お目出度い程度の」記事は避けられたい。三面記事に要視察人の惡口を書いて兒戲に類する快を味ふことを捨てられたい。思想と現實の理論鬪爭ならば吾人は何時でも論戰に應ずる。また縣廳の要視察人のことに就いても吾人は多く書く可きことを略す

る。憶病なる危險呼ばゝり、女々しい惡口を愼まれたい。而して貴紙の日電攻撃をして意義あらしめたい。

北陸タイムス紙の名譽の爲めに吾人はこれ以上多くを書くを欲しない。只事實報道ならば正確に、論說ならば公平に、奇激な論調を止めて當局の惡化とは内容を解剖せらゝことをこそ、吾人は希望する。そして此の問題に對する第一回の筆を擱く。（三、三一）【富山縣　中島安太郎】

農民は戰へ！

金澤市會は水道敷設案を容易に纏める事は出來ず、最後の手段として、相良市長は、市民大多數の意見を無視して、而も斯くの如き重大問題を投票法により、僅か一票の差にて無理矢理に水道案を通過さした。而して其の水源地を經濟の關係上、犀川に求むることに決議した。其處で犀川附近の農民は犀川の水は毎年渇水期に於て、灌漑水の不足を生ずることは毎年の例によつて明かな處で、一滴も市民に分與する事は出來ないと云ふ所から、水道水源地反對期成同盟會を結び、今尚、金澤市と戰つてゐる。

同志の農民諸君！　堂々と戰へ!!

農民の生活を壟斷した彼等の不法!!

行爲に對し、飽迄も反對せよ。

金澤市の經濟關係上、農民の田畑が枯死しても犀川の水を取らねばならぬと云ふ理屈はない。彼等と戰つて最後の勝利を得るか。彼等に服從して死を待つか。此の二ツに一ツの道しか無いのである。農民は倒れる迄戰へ！最後迄戰へ勝利の聲を聽く迄斷じて戰の手を止めるな。【石川縣　北野秋鳥】

市電値上反對

名古屋では近く市電の値上げが豫想されてゐるが、この値上げに由つて直接間接に甚大な影響を見るのは無產階級であつて、いづれも昨年來各處に演說會及び署名贊助を募るなどして、大々的に反對の氣勢を揚げてゐる。四錢均一制を七錢均一制にして暴利をムサボらんとする市電の値上げはイカなる理由があるにせよ、徹頭徹尾反對しなければならぬのだ。田坂市長は最近東上して、政府筋ではすべて同情ある了解を得たから市電値上げも安心とコッソリ會心の笑みを側近者に洩らしたサウだが、ドツコイさうは問屋卸さないぞである。川崎内務次官の子分である田坂市長が今後ドンナ腹藝をするかミモノであるが、既に各勞働團體及び新聞聯盟では昨年以來引續いて市電値上の反對の演說會を連日連夜開催を目論でゐるから、市民は大々的に之れを應援して最後の勝利を期すべきである。【名古屋　加藤一郎】

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室より

□　□　□

全世界無産階級の勢揃日であり、ブルジョアジーに對する、定期の警告日であるメーデーは來た。我等は此の日を、資本主義×××××たらしむべく、偉大なる團結の力を示さなければならぬ。此の日、日本全國の無産階級は、街頭に於ける××××たるメーデーの示威行列を最も盛大に、且つ、最も有意義に行はねばならぬ。

□　□　□

破天荒の勢を以て、敵、資本主義を×××××、××××××××、×××行進よ！彼等をしてメーデーの前に××××××せしむべく、更らに全世界のブルジョアジーをしてメーデーの前に××××××××、プロレタリアインターナショナルによる牢固、斷じて動かざる鐵石の團結力を以て彼等と闘爭せよ！我等の喊聲をして全日本を震撼せしむべく、我等の行進曲をして全世界のブルジョアジーの耳を聾すべく、××××××××擬して勇敢に前進せよ！

□　□　□

世は春日、長閑なる太陽を受けつゝある時各地に銀行の取付騒ぎが頻々と演じられてゐる。其の結果、遂ひに全國の銀行は一齊に休業した爲め、金融は停止されたのでブルジョアは國を擧げて之れが安定策に腐心しつゝある。これ即ち、資本主義が、最後の沒落に臨まんとせる、過渡期に於ける苦悶焦燥の具現化でなければならぬ。

□　□　□

帝國主義下にある資本主義の、沒落に瀕せる苦悶の現はれは、今や明かに我々の眼前に曝露された。マルクスの言つた『資本主義は自ら有してゐる内部的矛盾に依つて自滅の道を急ぐであらう』の言は、正に此の場合に適用され得る。斯くて資本主義は、歩一歩と自滅の道を辿りつゝある。

社告

誌代十ケ月分拂込讀者に、マルクス大寫眞を無代で贈呈する。

定價

一部	拾錢	郵税一錢
五部	五拾錢	郵税五錢
拾部	一圓	郵税拾錢

無産階級戰鬪雜誌　進め　毎月一回一日發行

□誌代は總て前金拂込の事
□成る可く振替で送金の事
□郵券代用必ず一割增の事
□住所姓名は明瞭に書く事
□支局は十日迄に拂込む事

東京市外大井町鈴ケ森海岸一八九〇
發行所　進め社本部　振替東京六九八五三番

發行兼編輯兼印刷人　福田狂二

大阪市北區茶屋町四一
大阪營業所

廣告料

一等　三百圓	二等　二百圓
三等　百五十圓	四等　百圓

大賣捌

東京堂　東海堂　北隆館
大東館　[illegible]文社　大盛社

館林まで電車が開通しました

四月一日より、四十分毎發車、二時間にて達す。

本線は兩毛地方への近道、東上線は秩父への近道。

佐野、足利、桐生、伊勢崎、足尾、川越、秩父長瀞へ。

淺草驛——墨田三一〇——三一四

東武鐵道

池袋驛——大塚四四〇——四四一

西新井大師
太田金山
唐澤山
秩父長瀞

諸君の書齋・組合の壁間を飾れ！

本社編纂
第二十版

社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無産階級の永久に記念すべきものである。

拾三枚 一組五拾錢 送料四錢

本社編纂
第二十版

マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗たり。

拾一枚 一組五拾錢 送料四錢

本社藏版
第三十版

マルクス大寫眞

飾れ！

カール・マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして、無産階級永遠の大恩人である。我社は之れを永遠に記念すべく、獨逸より原版を取り寄せ複寫して廣く頒布してゐる。丈一尺五寸、巾九寸、コロタイプ版にて實に美麗た大寫眞である。苟も無産階級たる者は、此れを掲げてマルクスに親め！

コロタイプ版 一枚三拾錢 送料二錢

東京市外大井町鈴ケ森一八九〇　**進め社本部**　振替東京六九八五三

見よ！社會主義入門のパンフレツト

淺野研眞述

第拾版

日本勞働運動小史

讀め！

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大洩らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレツトである。尚ほ卷末に附せられたる統計、文獻、年表は用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

百三十頁　定價五拾錢　送料四錢

吉田源藏著

再版

生きる權利と儲ける權利

讀め！

生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある、然るに資本主義は平等に與へられたる無産階級の權利を剝奪してゐる、本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無産者の進路を示せる絶好の社會主義入門書である、眞理を掴まんとする無産青年は讀め！

四十二頁　定價拾錢　送料二錢

神庭仲之介著

再版

農民諸君に與ふ

讀め！

橫暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激置く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？　農民諸君は擧つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！

三十三頁　定價拾錢　送料二錢

東京市外大井町鈴ヶ森一八九〇　進め社本部　振替東京六九八五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

借家人同盟機關紙

月刊 **生活運動**

一部 五錢　一年六拾錢

發行所
東京市外雜司ケ谷八一五
生活運動社
振替東京三六四五五番

植民地解放運動

月刊 **新朝鮮**

一部 拾錢　一年 一圓

發行所
東京市麴町區麴町九ノ九
新朝鮮社
振替東京四五五九九番

島根縣小作聯合機關紙

月刊 全山陰 **大衆新聞**

一部 五錢　一年六拾錢

發行所
島根縣安來町
全山陰大衆新聞社
振替大阪七六九九二番

中國無產階級言論機關

週刊 **中國評論**

一部 五錢　一ケ月二拾錢

發行所
吳市外天應
中國評論社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

プロレタリア文藝雜誌

月刊
人間苦

一部拾錢
一年一圓

發行所
大阪市東淀川區十三南之町七四七
社會問題研究所
振替大阪七九三九四番

左翼文藝思想雜誌

月刊
文藝鬪爭

一部二十錢
送料二錢

發行所
東京市麹町區麹町九ノ九
文藝鬪爭社

水平運動前衛機關紙

月刊
水平月報

一部五錢
一年六拾錢

發行所
福岡縣嘉穗郡二瀬村
水平月報社
振替福岡二〇四三七番

無產階級政治新聞

月刊
春秋新報

一部十錢
一年一圓

發行所
愛知縣半田町荒古二〇五
春秋新報社
振替名古屋一二二二三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

慶大教授 向軍治先生著　定價壹圓

前編

ローマ字書き 國を亡ぼす敎育

著者は多年漢字使用に依る誤れる敎育は國を亡ぼす因なりとして之れが廢止を叫び、ローマ字の普及宣傳に努力せらる。漢字制限の聲漸く天下に滿つ今日、何人と雖、一讀せざるべからざる書である。

後編

慶大教授 向軍治先生著　近刊

ローマ字書き 國を亡ぼす敎育

東京府下下澁谷一四五六

發行所　三土社

振替東京四八九五八番

社會問題パンフレットを備へよ！

マルクス 哲學の貧困

定價送料共　一部三拾錢

マルクスの初期の名著「哲學の貧困」の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

社會文獻 何を讀むべきか

定價送料共　一部三拾錢

社會問題に關する主要な日本の文獻を網羅したもので、初學者に極めて必要なもの。

東京市麴町九ノ九

發行所　社會問題研究會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪日本橋……實用百貨……名古屋

松坂屋呉服店

東京銀座……良品廉賣……上野

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衞門

電話京橋 五五番 五六番

蝙蝠印

揮發油

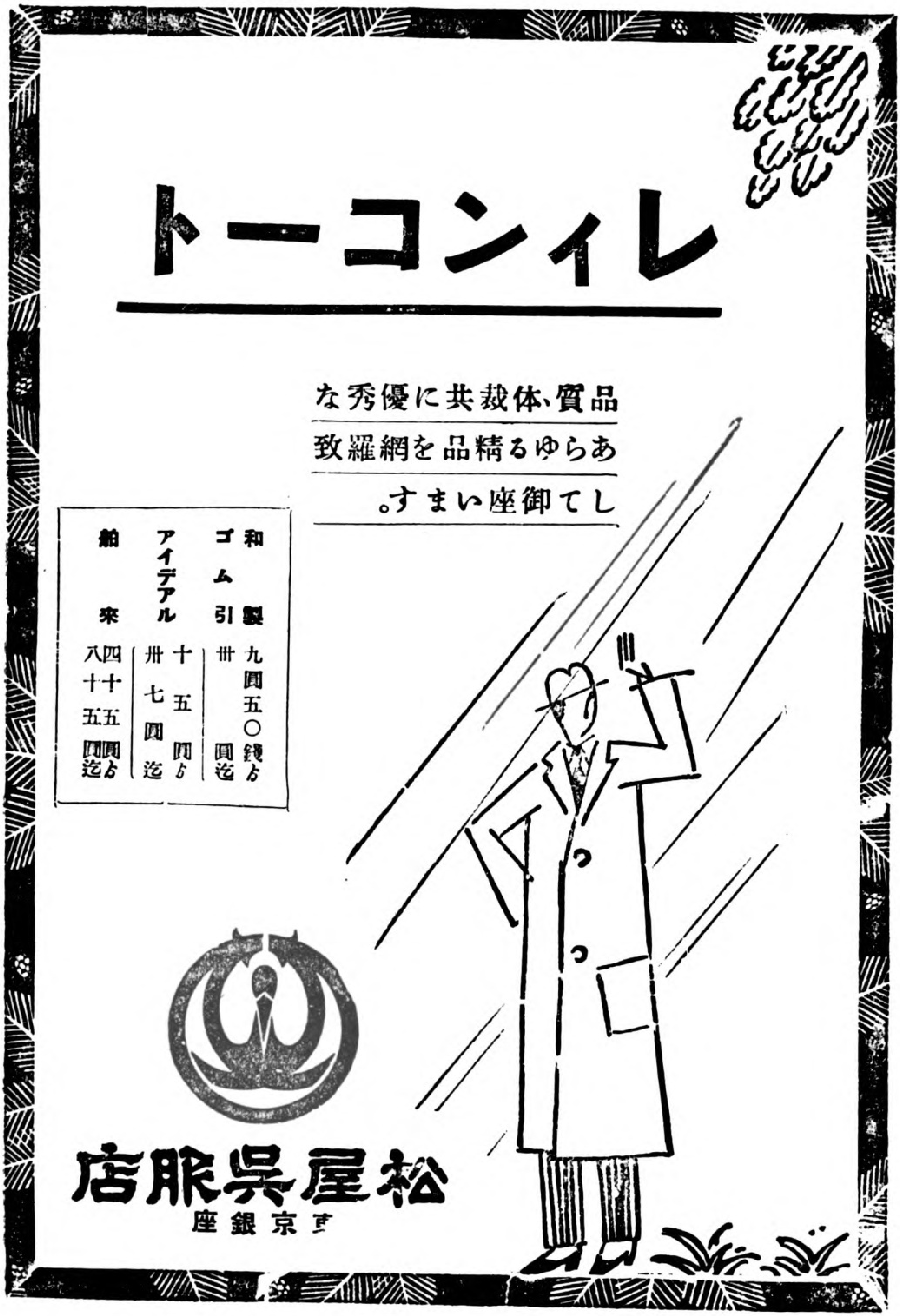
日本石油株式會社

金銀

白金

東京市神田區松田町

德力本店


レインコート
品質、体裁共に優秀な
あらゆる精品を網羅致
して御座います。
和製 九圓五〇錢より
ゴム引 卅圓迄
アイデアル 十五圓より 卅七圓迄
舶來 四十五圓より 八十五圓迄
松屋呉服店
東京銀座

Head office: Su-su-me-Sha The Su-su-me Vol. V No. 5
1890, Oimachi near Tokyo, Japan (The Socialist Monthly) May 1927

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和二年五月一日發行　昭和二年四月二十七日印刷納本

第五年第五號

精工舎製腕時計

SEIKO

歐米各種時計
裝身具ヒスイ
サンゴ鼈甲類
貴金屬美術品
精工舎各種時計
金銀盃洋食器
ダイヤ寶石類
寫眞器双眼鏡
測量器製圖器

東京銀座二丁目

服部時計店

大阪博勞町心齋橋筋角

大阪支店

定價拾錢